

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。
本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社（小橋工業株式会社）が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。
但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面に基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。
弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

小橋工業株式会社

ハイパーロータリ

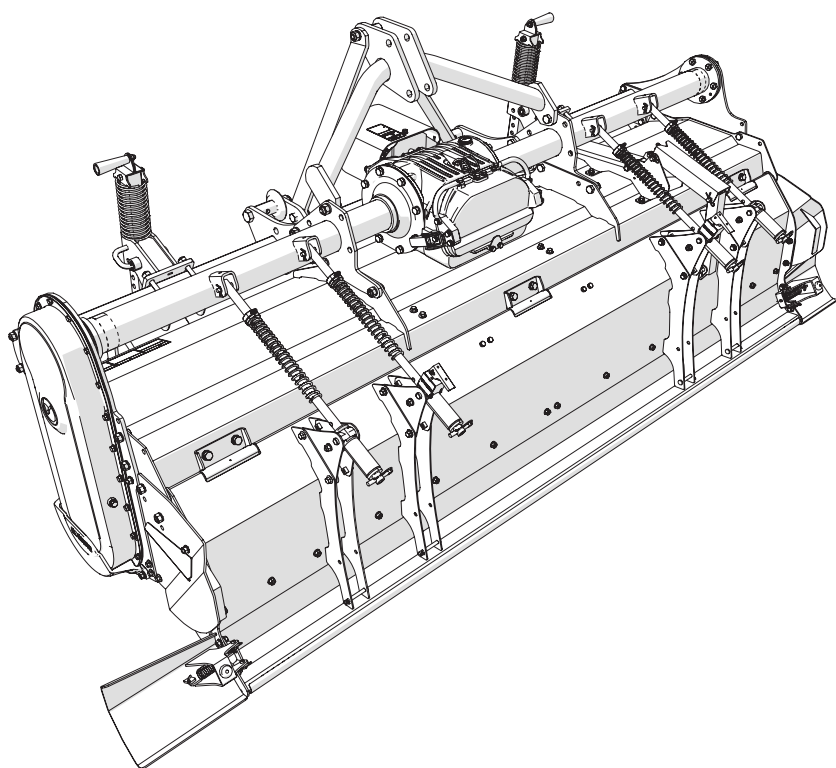
SRV-1・SRZ-1 シリーズ取扱説明書

お役立ちガイド

このたびは作業機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 特に、「安全について」(→ p.4) は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになった後も、必ず作業機の近くに保管し、いつでも読むことができるようにしてください。



HYPER

KOBASHI

目次

必ず読む▼

はじめに ▶ p.2

詳細目次 ▶ p.3

安全について ▶ p.4

使いかた▼

各部の名称 ▶ p.13

開梱・組付け ▶ p.15

ジョイントの取付け準備 ▶ p.16

トラクタへの装着 0L、3L、4L 仕様 (JIS 規格) ▶ p.17

トラクタへの装着 2L ▶ p.27

移動・圃場への出入り ▶ p.36

作業のしかた ▶ p.37

クイックアシストの操作方法 ▶ p.46

耕うん爪の取付け ▶ p.50

保守・点検 ▶ p.61

消耗品一覧 ▶ p.74

アタッチメント・オプション一覧 ▶ p.77

格納・運搬・保管 ▶ p.80

必要に応じて▼

主要諸元 ▶ p.81

トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格) ▶ p.93

トラクタ別装着表 2L ▶ p.98

フロントウエイト装着表 ▶ p.109

異常診断一覧表 ▶ p.127

廃棄について ▶ p.129

用語解説 ▶ p.130

はじめに

作業機を操作する前にこの取扱説明書をよく読み、正しい取扱方法を理解してください。この取扱説明書は、作業機の近くに保管して、操作手順に不安が生じたときにはいつでも読み返せるようにしてください。

使用目的・使用範囲

この作業機は水田・畑の耕うん・碎土整地用です。使用目的以外の作業や作業機・部品の改造などは、決してしないでください。故障した場合は、保証の対象になりません。

取扱上の注意

- 当社は、以下のことを守らないで生じた損害または傷害に対しては一切責任を負うことができませんので厳守してください。
 - ・取扱説明書記載の指示事項を守ってください。
 - ・必ず適応トラクタで作業してください。
 - ・作業機・部品を改造しないでください。
 - ・操作・保守作業は、通常必要とされる注意をして作業してください。
- 危険性に関する警告は、作業機の本体に貼付けた警告表示ラベル、およびこの取扱説明書に記載してあります。
- この取扱説明書には、知り得る限りの危険性を記載しています。この取扱説明書に記載した警告や指示を守ってください。
また、これら以外にも事故防止対策に関して、十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象に作成されています。日本語を母国語としない人がこの作業機を取扱う場合は、必ずお使いになる方に安全指導を行ってください。

貸出時および譲渡時の注意

- 作業機を譲渡または貸与する場合は、この取扱説明書を十分理解してから作業するように指導してください。また、この取扱説明書を作業機に添付してお渡しください。
- この作業機は国内での使用を前提としています。したがって、海外諸国の規格への適用は保証できません。また、海外諸国では使用言語が異なるため、国外への持ち出し・転売はしないでください。

取扱説明書について

- この取扱説明書は、作業機の組み立て、操作、および保守の方法を説明するものです。
- この取扱説明書の内容は作業機の改良のため、予告なく変更する場合があります。最新の情報については、当社 Web サイトからもご確認いただけます。
当社ホームページアドレス
<https://www.kobashiindustries.com/>
- この作業機とこの取扱説明書の図とは異なることがあります。
また、作業機内部の説明を容易にするため、図の一部を省略していることがあります。あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は著作権を当社が有します。当社の事前の文書による同意なしに、この取扱説明書の全体もしくは部分的にも複写、翻訳しないでください。また、読み取り可能な、どのような電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めの販売店にご注文ください。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- さらに詳しい情報が必要となる場合や、ご質問などがある場合、または内容につき不明な点がありましたらお買い求めの販売店へお問い合わせください。

詳細目次

はじめに	2
詳細目次	3
安全について	4
警告表示について	4
安全に作業するために	4
道路走行時の注意	10
警告表示ラベルと機番プレート	11
サービスと保証について	12
各部の名称	13
0L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)	13
2L 仕様	14
開梱・組付け	15
ジョイントの取付け準備	16
注意事項	16
切断方法	16
トラクタへの装着 0L、3L、4L (JIS 規格)	17
注意事項	17
装着前の準備	17
トラクタへの装着	21
装着後のトラクタとの調整	24
トラクタからの取外し	25
トラクタへの装着 2L	27
注意事項	27
装着前の準備	27
トラクタへの装着	30
装着後のトラクタとの調整	32
トラクタからの取外し	34
移動・圃場への出入り	36
注意事項	36
作業のしかた	37
注意事項	37
作業機姿勢の確認	37
作業速度と耕うん軸回転速度	38
作業深さの調整	40
エプロンの調整	42
圃場の回りかた	45

クイックアシストの操作方法	46
注意事項	46
使用方法	47
耕うん爪の取付け	50
注意事項	50
耕うん爪の種類と用途	50
耕うん爪について	51
保守・点検	61
注意事項	61
保守・点検の準備	61
保守・点検一覧表	62
作業内容	63
消耗品一覧	74
アタッチメント・オプション一覧	77
格納・運搬・保管	80
注意事項	80
主要諸元	81
トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)	93
SRV・SRZ T-4L/3L 仕様	93
トラクタ別装着表 2L	98
SRV-2L 仕様	98
SRZ-2L 仕様	104
フロントウエイト装着表	109
SRV T-0L/3L/4L	109
SRV-2L	115
SRZ T-0L/3L/4L	122
SRZ-2L	124
異常診断一覧表	127
廃棄について	129
注意事項	129
ガスプリングの廃棄方法	129
用語解説	130

安全について

ここに示した注意事項は、作業機を安全に正しく使用していただき、使用者や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

警告表示について

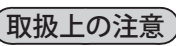
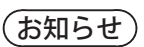
警告レベルの定義

誤った取扱いをすると、生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して記載しています。

 危険	誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害の可能性が高いことを意味します。
 警告	誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害を負う恐れがあることを意味します。
 注意	誤った取扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。

その他の表示

上記以外の表示は、次のとおりです。

 取扱上の注意	誤った取扱いをしたときは、作業機が故障する可能性があることを意味します。
 お知らせ	作業機本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。

絵表示

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（すること）を示します。
	注意を示します。

安全に作業するために

全般

 危険	
 禁止	使用目的以外の作業や作業機・部品の改造をしないでください。 * 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。 
 必ず実行	取扱説明書はいつでも読むことができるように、作業機と一緒に大切に保管してください。 * 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。 
 必ず実行	取扱説明書をよく読み、作業機・部品の使いかたを理解してから使用してください。 トラクタの『取扱説明書』も併せてよく読んでください。 * 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。 
 必ず実行	操作、作動しているときは周りの人はもちろん、本人も作業機から離れ、かつ周囲との距離が十分ある状態で行ってください。 * 作業機に挟まれ、事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。 
 必ず実行	故障・異常に気付いたら、直ちに作業を中止し、修理してから使用してください。 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。 

⚠ 警告



禁止

適応トラクタ以外には装着しないでください。

主要諸元表を熟読の上、適応馬力内のトラクタに装着してください。

- * 特にトラクタ馬力が小さい場合、トラクタとの重量バランスが悪くなり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



禁止

次のような状態では、運転しないでください。

- ・ 飲酒運転
- ・ いねむり運転
- ・ 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ・ 若年者
- ・ 妊娠中の方

作業機の操作に熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機を他人に貸出す場合は、取扱説明書も添付し正しい取扱いを指導してください。

- * 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。

ボタンもキチンととめてください。

- * 回転部分に巻込まれ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

共同作業がある場合は、動作ごとに合図を徹底してください。

- * 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



作業前点検

⚠ 注意



必ず実行

各部のボルト、ナットなどの緩みや、ピンの脱落がないか確認してください。

- * 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



トラクタへの着脱

⚠ 警告



必ず実行

トラクタと作業機の着脱の際は、いつでも逃げられる安全な体勢で操作し、トラクタは必ずブレーキで止めてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機の着脱・調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。特に夜間の作業機の着脱は、適切な照明を用いてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

取付け各部のトメピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

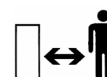
- * 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

作業機の着脱は、基本的に1人で作業を行ってください。

- * 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。

- * 事故・ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

2人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

* 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

ジョイントのノックピンが確実に PTO 軸溝、または作業機入力軸溝にはまったか確認してください。

* ジョイントが抜け、事故・ケガにつながる恐れがあります。



カバーの取付け

⚠ 危険



必ず実行

ジョイントなど、作業機のカバー類は必ず取付けてください。

* 巻き込まれて、死亡事故・大ケガにつながる恐れがあります。



トラクタへの装着

⚠ 危険



必ず実行

作業機とトラクタとの重量バランスを確認してください。

・トラクタの前輪に最低限 20 % 以上のウエイトがかかるように、フロントウエイトを取付けてください。

・作業機に泥が付着して重くなる場合があるため、泥を取除いてください。

・アタッチメントなどを取付けて使用する場合も、バランスを確認しフロントウエイトを取付けてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
作業機を装着すると、重量バランスが変わります。



⚠ 注意



必ず実行

作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの『取扱説明書』をよく読んでください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



トラックへの積み・降ろし

⚠ 危険



禁止

途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしたりしないでください。

低速で積み・降ろししてください。

* 転倒などで事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの場所は、平坦で安全な場所で行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

アユミ板は、滑り止めの付いている丈夫なものを使用してください。

確実に固定し、傾斜角度、平行度を確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの際は、トラックが移動しないようしっかりとサイドブレーキをかけてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪しないようにしてください。

* ブレーキが片効きをし、転倒などし事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 危険



注意

作業機を装着しての積み・降ろしは、泥の付着などがあるため注意してください。

トラクタの重量バランスが変わります。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

積み・降ろしの際、折りたためる作業機は折りたたみ、EX エプロンも折りたたみ、トラックの荷台からはみ出さないように注意してください。

強度が十分あるロープで確実に固定してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



一般走行

⚠ 危険



禁止

高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

周囲の人やものに注意して旋回してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告



禁止

トラクタ・作業機には、運転者以外の人を乗せないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告



必ず実行

走行するときは次のことを守ってください。

- ・ 左右のブレーキペダルを連結すること
- ・ 作業機の回転を止めること
- ・ 作業機の落下速度調節レバーを締めて、必ず油圧ロックをすること

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

坂道での走行は次のことを守ってください。

- ・ クラッチを切ったり、変速を中立にしたりしないこと
- ・ スピードを落とし、低速で走行すること
- ・ エンジンブレーキを使用し、急ブレーキをかけないこと

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

作業機は左右がトラクタの機体幅より広い場合、走行時は注意してください。

移動時は、作業機の折りたたみ箇所は折りたたみ走行してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



注意

路肩に草が茂っている場所を走行するときは、路肩の強度に注意してください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



圃場への出入り

⚠ 警告



必ず実行

圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げて、うねや段差に対して直角に進んでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

圃場の出口が傾斜している場合は、バックして上がるか、または丈夫なアユミ板を使用してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

うねや段差に対しては、作業機を低くして重心を下げ、直角に進んでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



作業中

⚠ 危険



必ず実行

いねむり運転、わき見運転をしないようにあらかじめ体調を整えてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告



禁止

作業機の下にもぐったり、足をふみこんだりしないください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



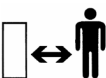
禁止

作業中は、周りに人を近寄らせないでください。

・特に子供には十分注意すること。

・補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわすこと。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告



禁止

回転部分など、動くところには触れないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



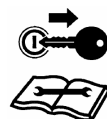
必ず実行

次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO シフトレバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。

・運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき

・爪軸などへの草やワラのからみ付きを取除くとき

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



禁止

作業機のカバーは、取外さないでください。

* 土礫が飛散するため、ケガにつながる恐れがあります。



取扱上の注意

・ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さないでください。

牽引点を低くし、他の車に引き上げてもらってください。

故障につながる恐れがあります。

作業中の点検

⚠ 警告



必ず実行

作業機の点検を行うときは以下のことを確認してから作業してください。

- ・トラクタの駐車ブレーキをかけている
 - ・PTO シフトレバーが中立になっている
 - ・エンジンが停止している
 - ・トラクタのキーを抜いている
 - ・油圧ロックを行っている
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

点検のために外したカバー類は、必ず元どおりに取付けてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



禁止

ラジエータやマフラには触れないでください。

- * 火傷をする恐れがあります。



必ず実行

点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い、正しく使用してください。

- * 整備不良で事故につながる恐れがあります。



トラクタ停車

⚠ 警告



必ず実行

傾斜に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



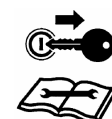
⚠ 注意



必ず実行

平らな場所に止め、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

- * 事故・ケガにつながる恐れがあります。



その他

⚠ 警告



必ず実行

作業機指定の PTO 回転速度を守ってください。

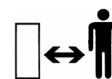
- * 低速回転用の作業機を高速回転で使用すると、作業機が異常作動し事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタのエンジン始動時は、周りに人がいないか、作業機が下がっているか確認してください。

- * 作業機が不意に下がり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



道路走行時の注意

運転免許について

特定小型特殊自動車（全幅 1.7m 以下、全高 2.0m 以下、全長 4.7m 以下、かつ最高速度 15km/h 以下のトラクタ）であっても、作業機を装着した場合に何れかの寸法を超えるときは、大型特殊自動車の運転免許（『農耕用に限る』を含む）を取得している必要があります。

作業機について

トラクタに作業機を装着して道路走行する場合は、道路運送車両法の保安基準を満たしていなければなりません。

トラクタと作業機の組合せで保安基準を満たす処置を行うことで道路走行できるようになります。

詳細内容については一般社団法人日本農業機械工業会ホームページに掲載の『作業機付きトラクタの公道走行ガイドブック』を参照してください。

※ 一般社団法人

日本農業機械工業会ホームページアドレス

<http://www.jfmma.or.jp/>

より詳しい情報を必要とする場合や、ご質問がある場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。特に反射ラベルなどの法律で表示義務のあるものは道路走行する前に運行前点検を行い、汚損や破損していれば必ず表示内容が他の車両や歩行者から確認できるように処置してください。

トラックでの運搬

⚠ 危険



必ず実行

作業機をトラックで運搬する際は折りたたむ箇所は折りたたんでください。また、作業機が動かないように強度が十分あるロープで確実に固定してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの際、落下防止措置を行ってください。

* トラックのあおりを不用意に開けると作業機が滑り落ち、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



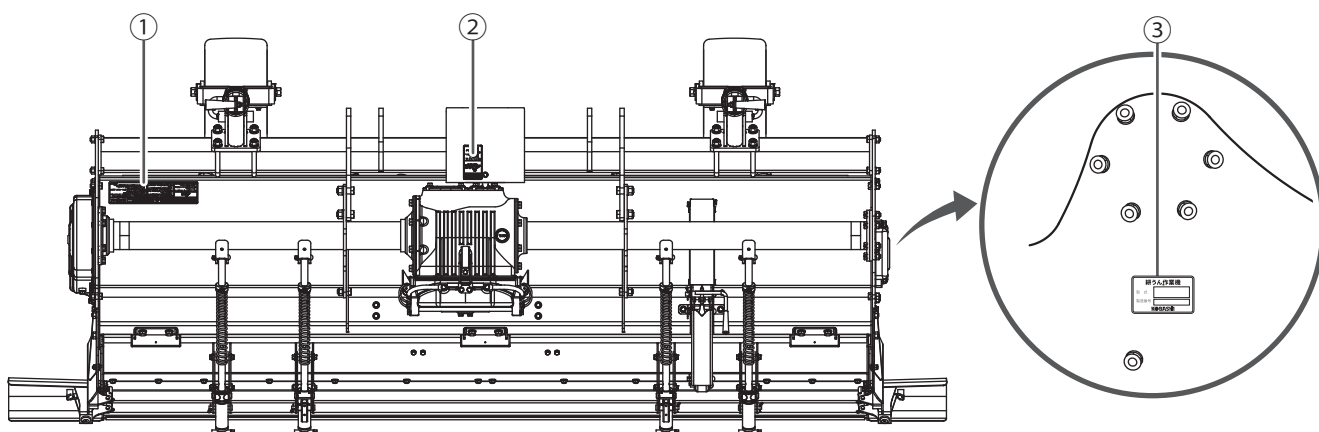
警告表示ラベルと機番プレート

この作業機には、警告表示ラベルを貼って注意喚起しています。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

- いつも汚れや泥をとり警告表示ラベルがハッキリと見えるようにしてください。
- 警告表示ラベルが損傷や破損したときは、新しいものと交換してください。
- 警告表示ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に警告表示ラベルを貼ってください。

必ず読む

安全について



① コードNo. 9994463

危険	警告	注意
●セーフティカバーは、常に装着して使用してください。 ●エンジンまたはジョイントが回転中は、体を近づけないでください。 ●巻き込まれて死傷するおそれがあります。	●転落事故を防ぐためには、発進や登坂時にトラクタの前輪が浮き上がらないように充分な前部ウエイトを取り付けてください。 ●作業機にアタッチメントを装着する時には、特にバランスを注意するとともに、アタッチメントの取扱説明書をよく読んで、適切な如置や調整を行ってください。 ●ロータリの回転部に接触すると、ケガをするおそれがありますので、回転部に近づかないでください。	●作業機を着脱するときは、トラクタと作業機の間に立たないでください。 ●エンジン始動時や作業中は、周囲の安全を確認し、人がいないか、特に子供には注意し、近づけないようにしてください。 ●作業機の上に人を乗せないでください。 ●点検整備時には、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用ストップバルブを締めてください。 また、絶対に作業機の下にはいって作業をしないでください。 ●ジョイントのノックピンが確実にロックされていることを確認してください。

9994463

② コードNo. 9992126

危険

●セーフティカバーは、常に装着して使用してください。

●巻き込まれて、死傷するおそれがあります。

9992126

③ 機番プレート

耕うん作業機

型 式

製造番号

KOBASHI

サービスと保証について

保証書

この作業機には保証書を添付しています。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービス

作業機の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店まで連絡してください。

- ・ お客様名
- ・ 作業機の型式と製造番号
（「警告表示ラベルと機番プレート」(→ p.11)）
- ・ ご使用状況（作業速度、回転速度はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- ・ どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用後）
- ・ 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。

補修用部品の供給年限

この作業機の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後 9 年といたします。

したがって、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。

市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や作業機の寿命を短くする原因になります。

また、部品の改造はしないでください。

型式について

この取扱説明書では、同じシリーズの型式の作業機について併記しています。

お買い上げいただいた作業機の型式名を保証書および型式ラベルで確認し、該当箇所をお読みください。

各部の名称

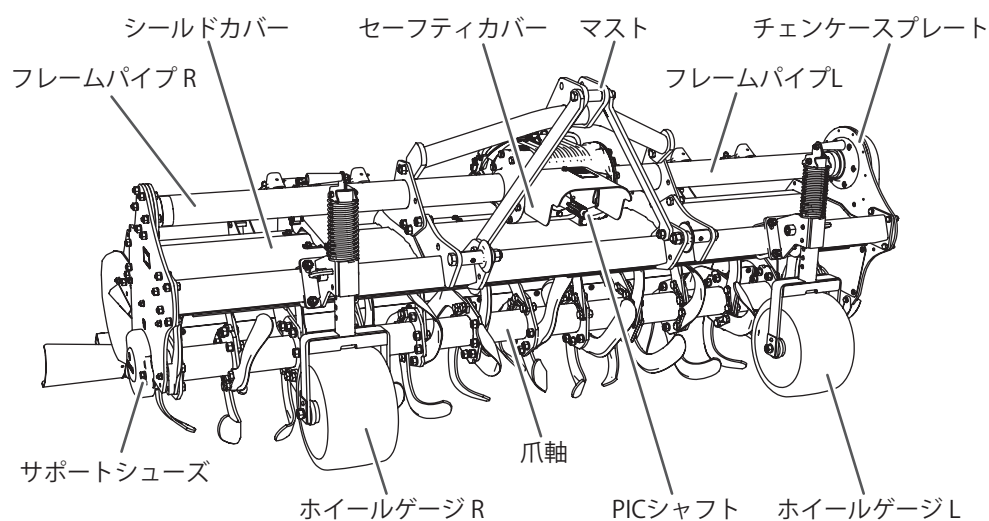
この取扱説明書では、0L, 3L, 4L 仕様と 2L 仕様を併記しています。お客様が購入された作業機の型式を確認し、該当箇所をお読みください。

作業機本体の各部の名称と前後左右の定義を記載しています。

0L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)

■前面 (トラクタとの接続側)

図は SRV を示します。SRZ の場合も名称は同様です。

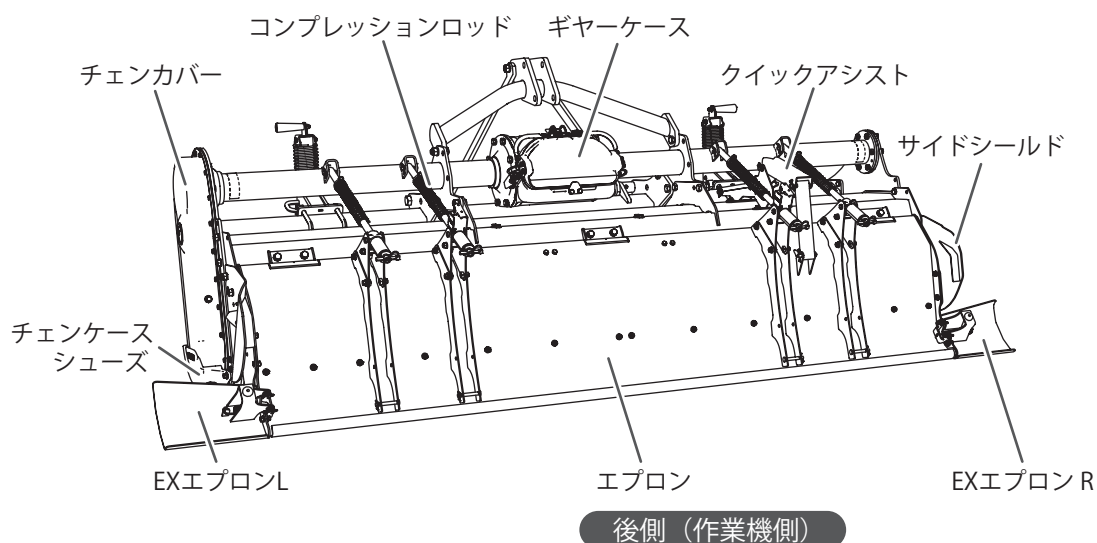


使
い
か
た

各
部
の
名
称

■背面

前側 (トラクタ側)

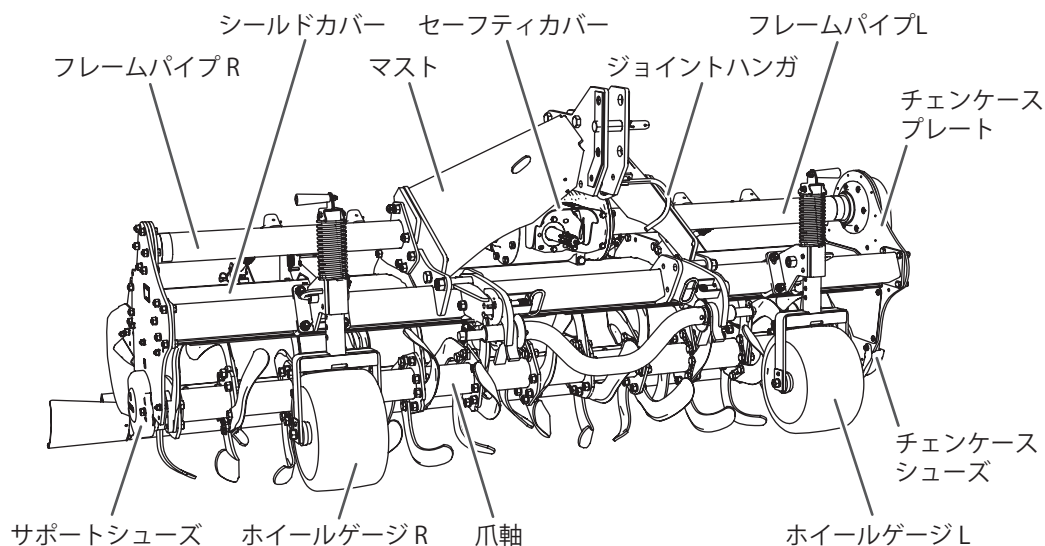


2L仕様

■前面（トラクタとの接続側）

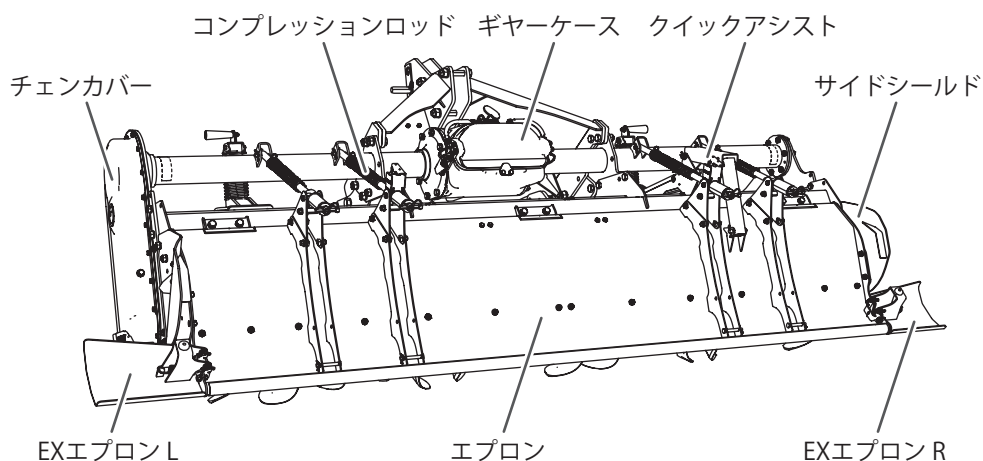
図は SRV を示します。SRZ の場合も名称は同様です。

SRZ の場合は、マストステーが追加になります。



■背面

前側（トラクタ側）



後側（作業機側）

開梱・組付け

作業機は鉄枠梱包されています。別冊の『開梱・組付け要領書』に従って開梱・組付けしてください。

使
い
か
た

開
梱
・
組
付
け

ジョイントの取付け準備

トラクタによっては、標準のジョイントが長い場合があります。
以下の手順で、ジョイントの取付け準備を行ってください。

注意事項

取扱上の注意

- ・ 長過ぎるジョイントを装着すると、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸を突き、破損させます。
- ・ 短過ぎるジョイントを装着すると、ジョイントの噛み合わせが不足して、チューブが破損します。

切断方法

⚠ 注意

❗ 高速カッターを使用する場合は、十分注意して作業してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

❗ 高速カッター、または金ノコを使用する場合は、手袋を着用してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

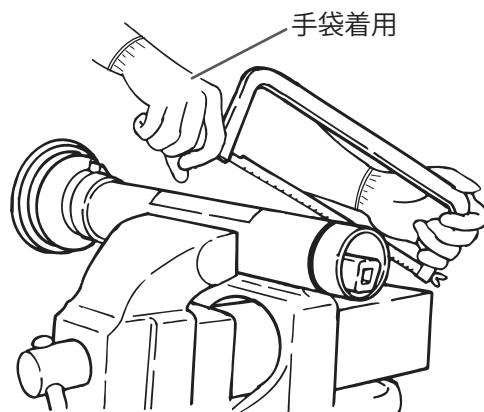
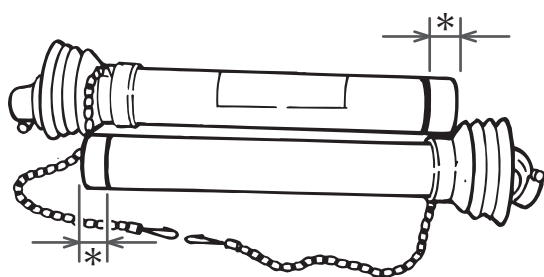
❗ ジョイント切断時にセーフティカバーを取外した場合は、ジョイントに取付けてください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

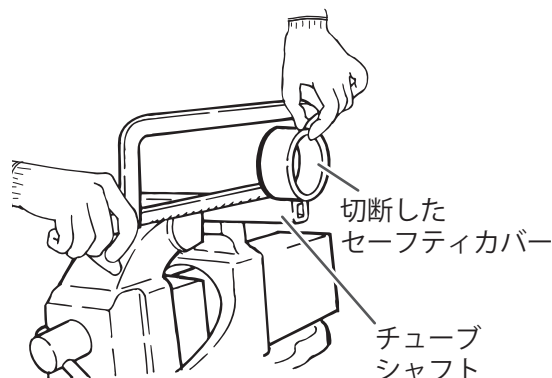
取扱上の注意

- ・ ジョイント切断寸法は、「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93)、「トラクタ別装着表 2L」(→ p.98) で確認してください。

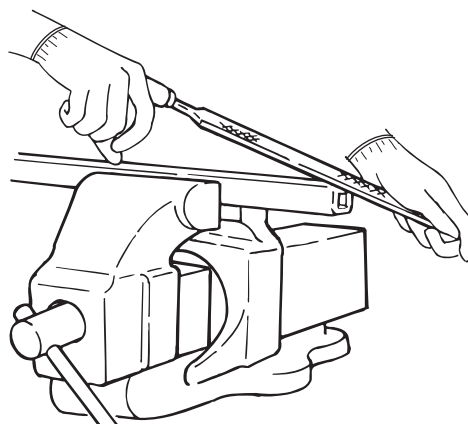
- 1** 金ノコまたはカッターで、セーフティカバーをオス、メス両方、長い分だけ切断 (*) します。



- 2** 切りとったセーフティカバーと同じ長さで、チューブシャフトを金ノコ、またはカッターでオス、メス両方切断します。



- 3** 切り口をヤスリでなめらかにして、切り粉を取除きます。



- 4** グリスを塗布して、オスとメスを組合せます。

トラクタへの装着 0L、3L、4L (JIS 規格)

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



作業機の着脱は、基本的に一人で作業を行ってください。

必ず実行 * 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の人に人が入らないように注意してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



夜間の場合は適切な照明を用いてください。

必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。



2人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

必ず実行 * 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

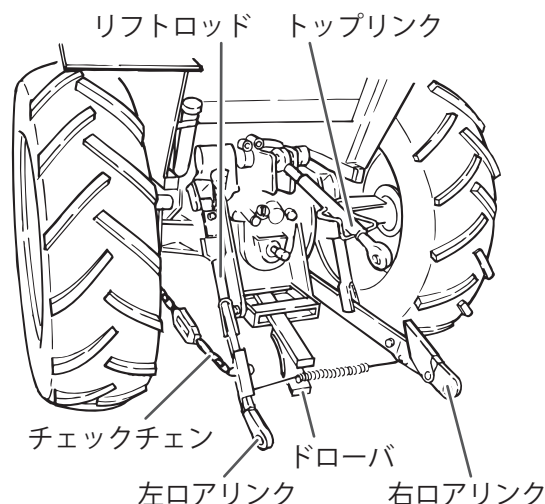
装着前の準備

トラクタの準備

この作業機の装着方法は、標準3点リンク式のヒッチです。

ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93)を参照の上、トップリnk長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



使
い
か
た

ジョイントの取付け準備／トラクタへの装着 0L、3L、4L仕様 (JIS 規格)

オートヒッチアームの取付け

⚠ 警告



必ず実行

必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

オートヒッチアームは、JIS 規格に準拠したものを使用してください。

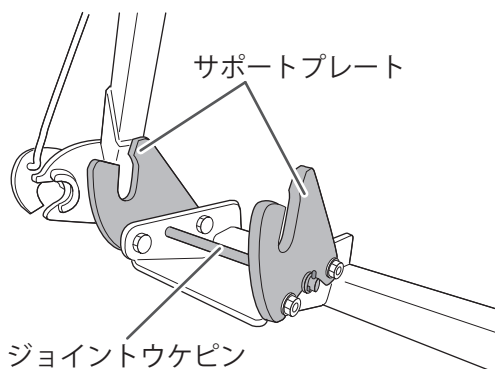
類似規格のものは、使用しないでください。

* 故障し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

1 オートヒッチアームの状態を確認します。

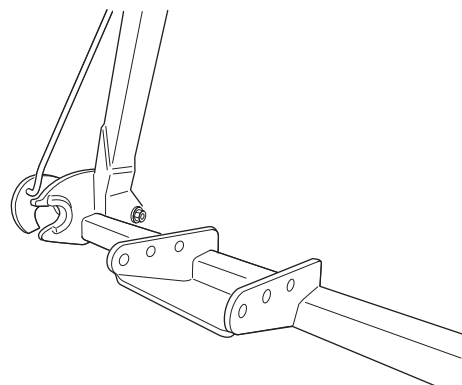
(a) 4 セットの場合

サポートプレートとジョイントウケピンが確実に取付けてあることを確認します。

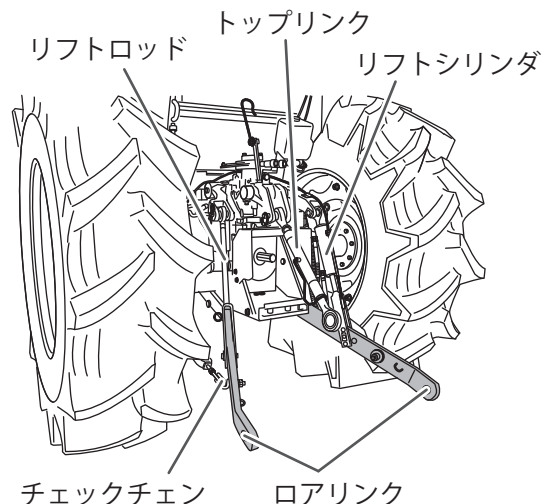


(b) 3 セットの場合

サポートプレート、ジョイントウケピンがないことを確認してください。



2 トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアリンクをいっぱいまで下げます。



- 3 点リンクの取付け位置は、「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) を参照の上、トップリンク長さやロアリンク、リフトロッドの穴位置を指定の位置に取付けてください。

取扱上の注意

- トップリンク長さは目安の長さです。作業時に再度水平を確認し調整を行ってください。

3 オートヒッチアームとトップリンクを取付けます。

⚠ 注意

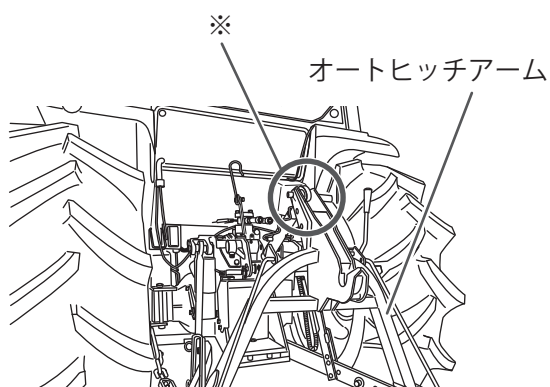


取付け後は、各ピン部の抜け止めがされているか確認してください。

必ず実行 * 作業機が脱落し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

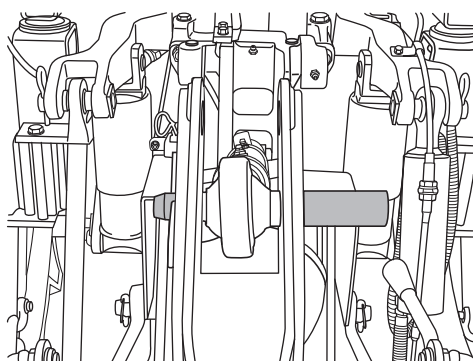
- 取付け後は、ガンマピン (または R ピン) で抜け止めをしてください。トップリンクとガンマピン (または R ピン) はトラクタ付属品を使用してください。

- 付属のトップリンクピンは、カテゴリー I、II 形兼用です。

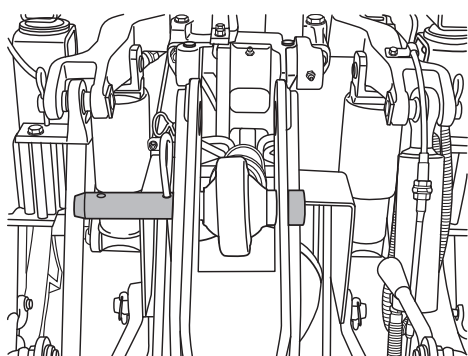


※印の拡大図を以下に示します。

< I 形の場合 >



< II 形の場合 >

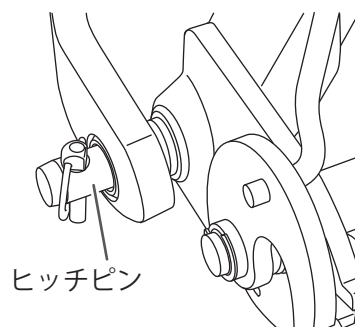


4 オートヒッチアームの左右ヒッチピンをトラクタのロアリンクに取付けます。

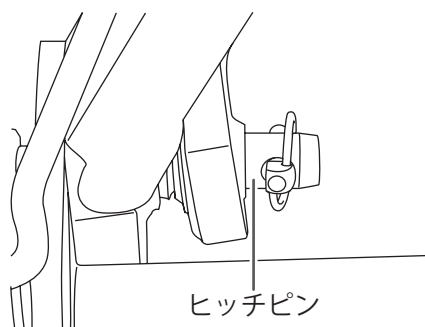
お知らせ

- 左右のロアリンクにオートヒッチのロアリンクピンを取付けてください。
- トラクタによっては、内側セットと外側セットがあります。「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) で確認してください。
- 取付け後は、ガンマピンで抜け止めをしてください。
- 標準のヒッチピンは II 形です。
- トラクタのロアリンク穴が I 形の場合は、I 形のヒッチピンに交換してください。

< ヒッチピンが外向きの場合 >



< ヒッチピンが内向きの場合 >



ジョイントの取付け (4 セットの場合)

4 セットの場合、作業機をトラクタに装着する前にジョイントを取付けます。

3 セットの場合は、作業機をトラクタに装着した後でジョイントを取付けてください。「ジョイントの取付け (3 セットの場合)」(→ p.23)

⚠ 警告



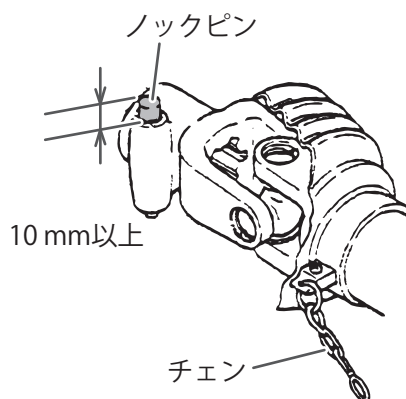
必ず実行

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

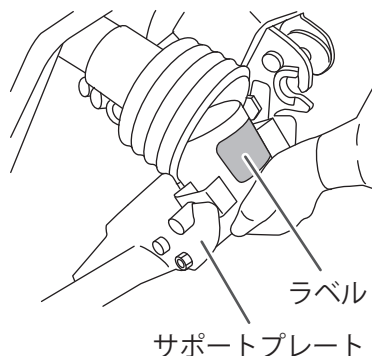
1 ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸に取付けます。

- (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸に挿入し、PTO 軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。
 - ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



2 ジョイントのラベル面を上にし、手でジョイントを折り曲げます。

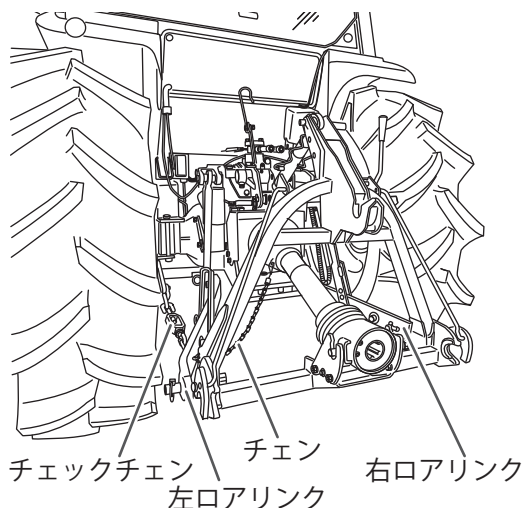
- ・軸の細い部分からサポートプレートの長穴にセットします。



3 ジョイントセーフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- ・このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないように、たるみを持たせてください。



4 チェックチェンを張って、オートヒッチアームをトラクタの中心部に合わせます。

- ・ロアリンクの左右の高さも均等にします。

5 各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実にされていることを確認します。

トラクタへの装着

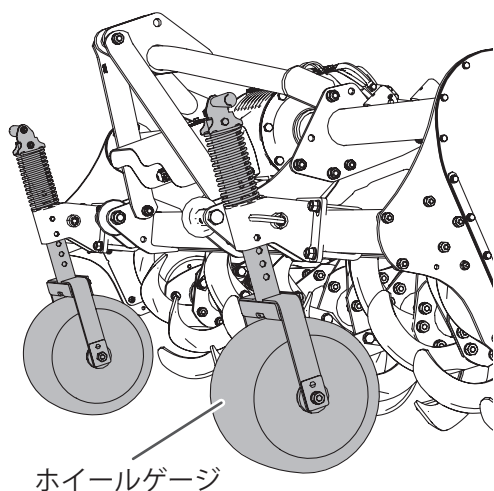
1 作業機を装着する姿勢にします。

- (1) ホイールゲージの穴位置を調節します。
操作は「ホイールゲージの調整」(→ p.40) を参照してください。

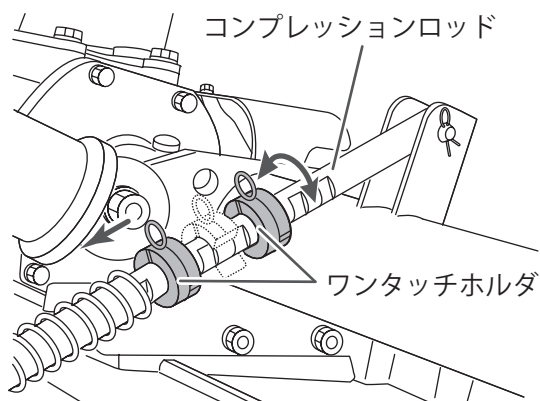
SRV：上から 3～7 番目

SRZ：上から 4～8 番目

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。

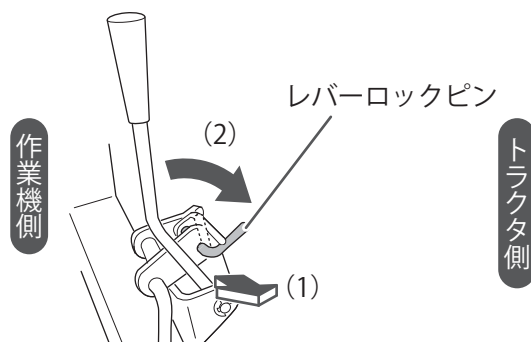


- (2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。

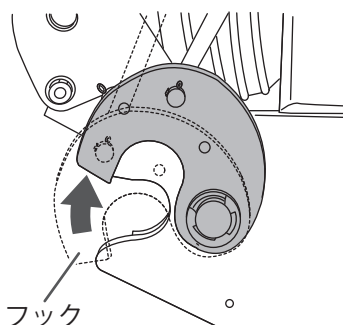
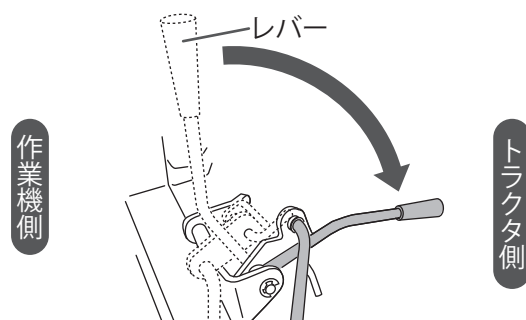


2 オートヒッチアームのロックを解除します。

- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
(2) レバーロックピンを解除方向へ回します。
⇒ レバーのロックが解除されます。



- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。
⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。



⚠ 注意



必ず実行

レバーを倒した状態で、作業機昇降装置を上下すると、レバーとトラクタが干渉する場合があります。干渉に注意して装着してください。

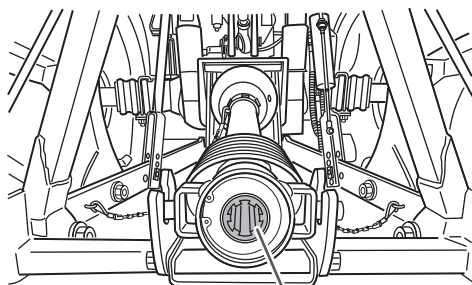
干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

* トラクタが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

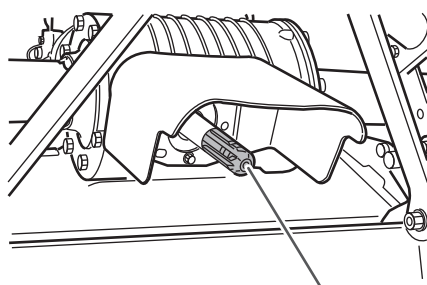
使いかた

トラクタへの装着 OL、3L、4L 仕様 (JIS 規格)

- 3** 4 セットの場合は、作業機の入力軸とジョイントの結合部に十分にグリスを塗布します。



グリス塗布



グリス塗布

- 4** 作業機をトラクタに取付けます。

取扱上の注意

- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。

特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。

- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手で干渉の有無を確認してから使用してください。

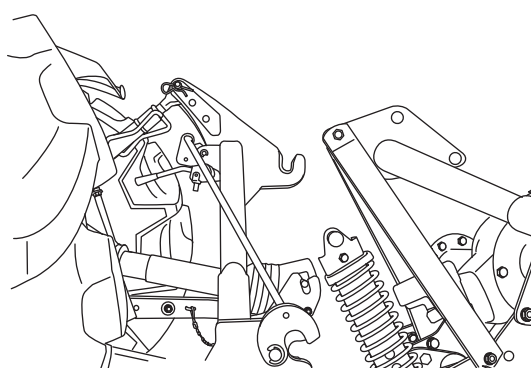
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。

- ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- トップリンクやロアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) オートヒッチアームを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づけます。
マストのピンの下側にオートヒッチアームのフックを合わせます。

取扱上の注意

- トラクタと作業機が正対するようにしてください。

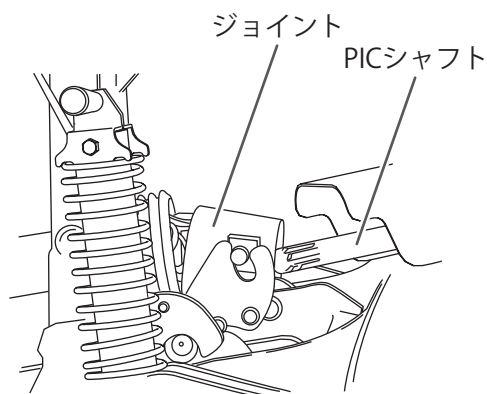


- (4) ポジションコントロールレバーを「上げる」にし、フックに合わせて作業機をゆっくりと持ち上げます。

⇒ジョイントのスプライン部は、自動的に接続されます。

取扱上の注意

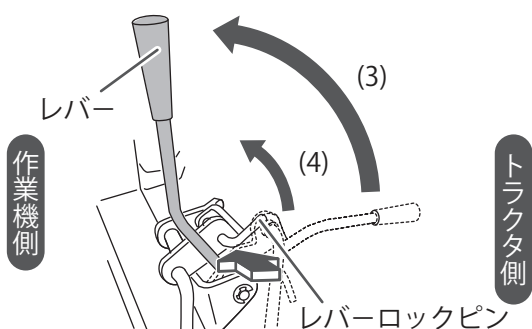
- ジョイントと PIC シャフトが噛み合わなかったなどの場合、ポジションコントロールレバーを下げ、一度トラクタを前進させてからやり直してください。



また、トップリンクの長さが適切か確認してください。「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) で確認してください。

5 オートヒッチアームをロックします。

- (1) 作業機のガイドカラーとオートヒッチアームが、しっかりと入っていることを確認します。
- (2) 作業機の入力軸とジョイントのスプラインが、しっかりと入っていることを確認します。
- (3) 確認できたらレバーを上を起こします。
⇒ 作業機とオートヒッチアームがロックされます。
- (4) レバーロックピンをロック方向に回します。
⇒ レバーロックピンとレバーがロックされます。



取扱上の注意

- ・レバーロックピンは作業中の作業機の誤解放を防止するものです。
作業するときは、必ずロックしてください。

ジョイントの取付け (3 セットの場合)

3 セットの場合、作業機をトラクタに装着した後でジョイントを取付けてください。

⚠ 警告

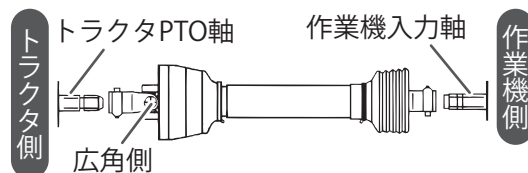


必ず実行

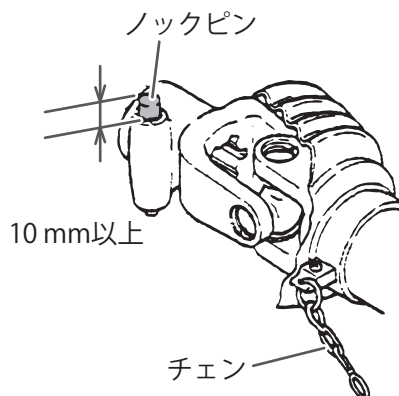
ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸、反対側を作業機入力軸に取付けます。



- (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸または作業機側入力軸に挿入し、各軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。
 - ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



2 ジョイントセーフティカバーのチェーンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- ・このとき作業機をいっぱい下げてもチェーンが緊張しないようにたるみを持たせてください。

使いかた

トラクタへの装着 0L、3L、4L 仕様 (JIS 規格)

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタの PTO 軸を後方より見て直線上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっていることを確認します。
 - ・ 10 mm を超える場合は、10 mm 以内になるように左右均等にチェックチェンを張ります。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるようにします。
- 2 トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リフトロッドを調整します。
 - ・ 油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッドを回して調整します。

トップリンクの調整

トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) を参照して調整してください。

作業開始前には、作業機姿勢の確認を行ってください (→ p.37)。

警告



トップリンクの調整は、作業機を接地させてから行ってください。

必ず実行 * トップリンクが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- ・ トップリンク長さを変更した場合は、トップリンク長さを調整し直してください。
また使用により長さが変化していないか確認してください。作業機やジョイントを破損する恐れがあります。

ジョイントの確認

広角ジョイントの場合、ジョイント伸縮部と作業機の入力軸とが直線に近いほど異音が少なくなります。

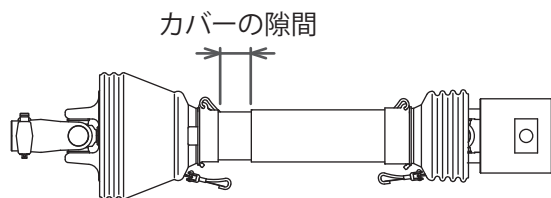
取扱上の注意

- ・トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。

ジョイントに負荷がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。

この場合、PTO を切るか、回転しても振動や音が出ない位置に作業機の最上位置を規制してください。

- 1 ゆっくり作業機を上げます。
- 2 ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。
- 3 作業機を上下してカバーの隙間が下表の範囲であることを確認します。



ジョイントの種類		ジョイントの切断寸法 (mm)	カバーの隙間 (mm)
4 セット	KGC94M	-	27 ~ 338
	KGC84M	-	27 ~ 238
	KGC79M	-	27 ~ 188
3 セット	KGC95	-	30 ~ 373
	KGC90	-	30 ~ 323
	KGC80	-	30 ~ 223
		30	30 ~ 193
		40	30 ~ 183

トラクタからの取外し

警告



必ず実行

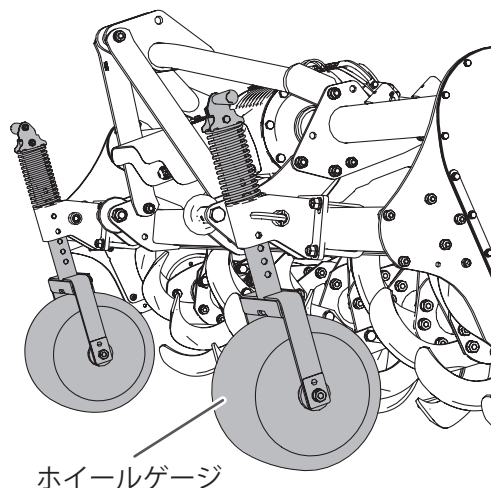
作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

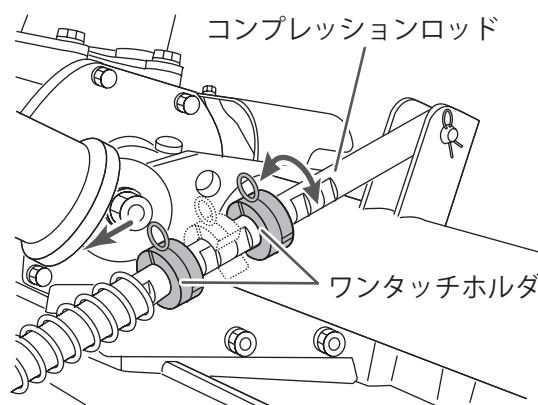
1 トラクタから取外す姿勢にします。

- (1) ホイールゲージの穴位置を、作業機をトラクタに装着したときと同じ位置にします。

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。



- (2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。



使
い
か
た

トラクタへの装着 0L、3L、4L 仕様 (JIS 規格)

2 ジョイントを外します。(3 セットの場合)

⚠ 警告



必ず実行

ジョイントを外すときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



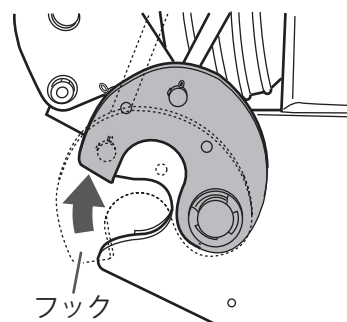
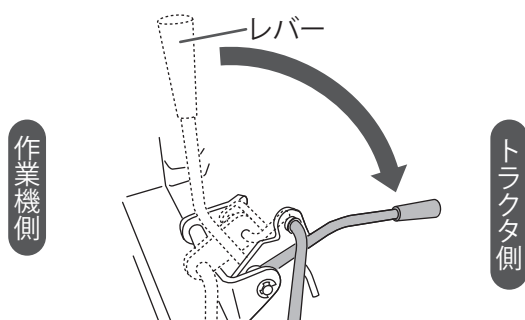
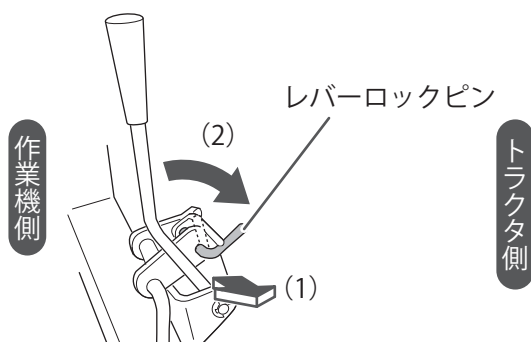
必ず実行

ジョイントを外すときは、作業機を接地させてから行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

3 オートヒッチアームのロックを解除します。

- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。
⇒ レバーのロックが解除されます。
- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。
⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。



⚠ 注意



必ず実行

レバーを倒した状態で、作業機昇降装置を上下すると、レバーとトラクタが干渉する場合があります。干渉に注意して装着してください。

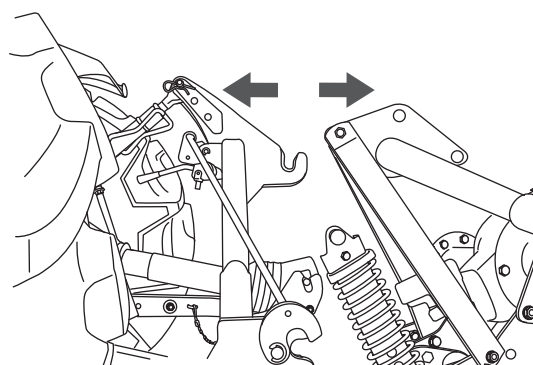
干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

* トラクタが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

4 作業機を下げます。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。
- (3) 作業機を下げて接地させ、トラクタをゆっくり前進させます。

- ・ 外れない場合は、場所が平坦でないかトラクタがまっすぐ前進していないなどの原因があります。動作をやり直してください。
⇒ 作業機は外れます。



トラクタへの装着 2L

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告



必ず実行

平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機の着脱は、基本的に1人で作業を行ってください。

* 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

夜間の場合は適切な照明を用いてください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

2人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

* 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

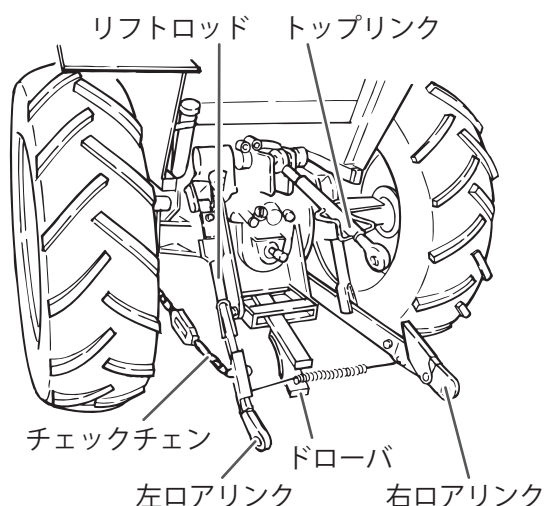
装着前の準備

トラクタの準備

この作業機の装着方法は、標準3点リンク式のヒッチです。

ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表 2L」(→ p.98)を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



使
い
か
た

ト
ラ
ク
タ
へ
の
装
着
2
L

オートヒッチバーの取付け

⚠ 危険

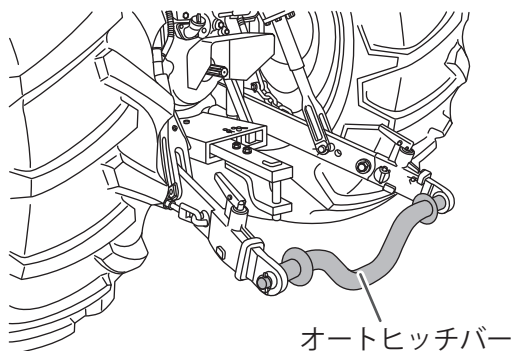


必ず実行

必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

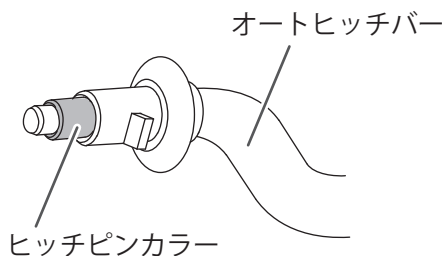
- 1 トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアリンクをいっぱいまで下げます。
- 2 オートヒッチバーをトラクタのロアリンクに取付けます。



オートヒッチバー

取扱上の注意

- ・オートヒッチバーはカテゴリーⅡ形です。カテゴリーⅢ形のトラクタに取付ける場合は、付属のヒッチピンカラー（SRZ351 だけ）をオートヒッチバーに取付けてください。



オートヒッチバー

ヒッチピンカラー

- ・カテゴリーⅢ形のトラクタに取付ける場合、ロアリンクとトラクタミッションが干渉しないか注意してください。

ジョイントの取付け（作業機側）

⚠ 警告



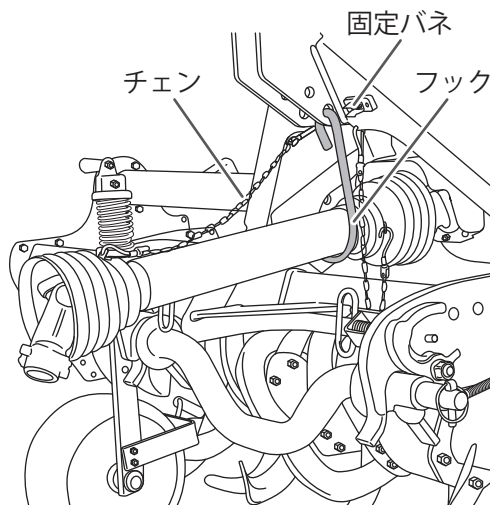
必ず実行

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

■ CV・SV 仕様以外の場合

- 1 ジョイントのスライド部が抜けないように、2 本のチェーンを連結します。
- 2 ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して、下げます。
- 3 ジョイントの OUTER 側をフックに乗せ、作業機側入力軸に取付けます。



チェーン

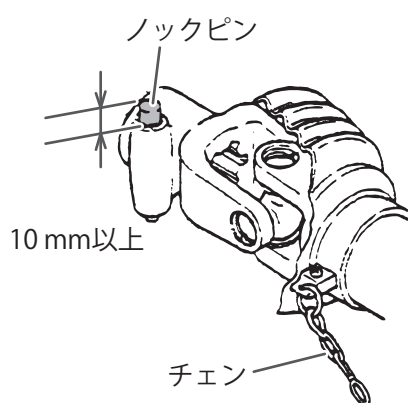
固定バネ

フック

(1) ジョイントのノックピンを押しながら作業機側入力軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。

(2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。

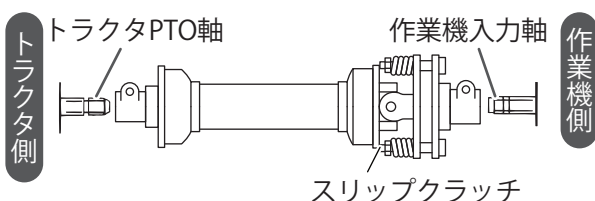
- ・ ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



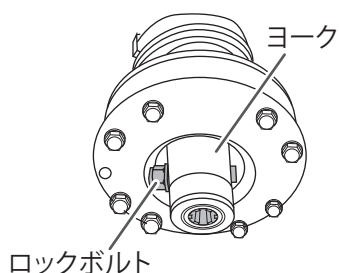
■ CV・SV 仕様の場合

取扱上の注意

- ・ 必ずスリップクラッチ側を作業機側入力軸に取付けてください。



1 ヨークに仮止めされているロックボルトを取外します。



2 ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェーンを連結します。

3 ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して、下げます。

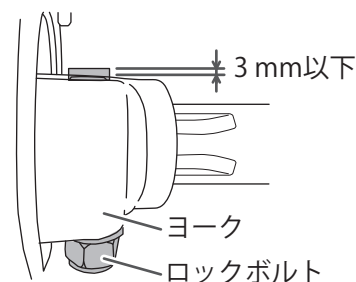
4 ジョイントのスリップクラッチ側をフックに乗せ、作業機側入力軸に取付けます。

(1) ジョイントを入力軸の溝とロックボルト固定位置が合うように挿入します。

(2) ロックボルトをヨークに挿入し、150 N・mで締付けてジョイントを固定します。

(3) ロックボルト頭（ナットと反対側）の取付け状態を確認します。

- ・ ロックボルトが確実にハマっているか
- ・ ロックボルト頭はヨークからの飛び出しが 3 mm 以下であるか



トラクタへの装着

⚠ 警告



必ず実行

装着作業中、トラクタを止めるときはその都度エンジンを切り、駐車ブレーキをかけてください。

* トラクタと作業機に挟まれ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

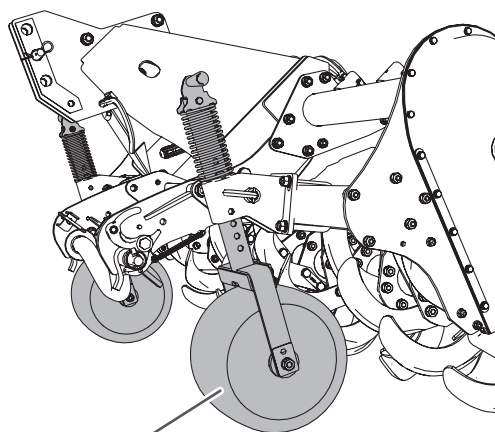
1 作業機を装着する姿勢にします。

- (1) ホイールゲージの穴位置を調節します。
操作は「ホイールゲージの調整」(→ p.40)を参照してください。

SRV：上から 1～7 番目

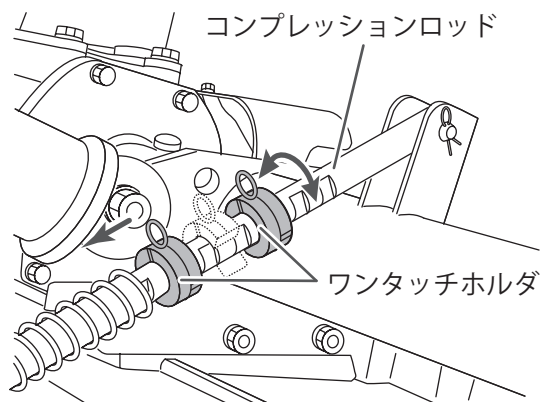
SRZ：上から 1～8 番目

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。



ホイールゲージ

- (2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。



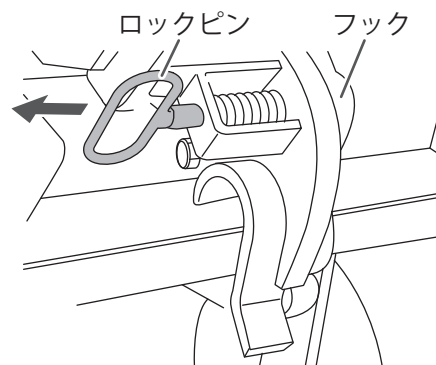
2 オートヒッチフックのロックを解除します。

- (1) ロックピンを引っ張ります。

⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。

ロックピンはオートヒッチバーがドッキングされると、自動的に入り込みロックされます。

- (2) ロックピンを下図の位置にしておきます。



3 作業機をトラクタに取付けます。

取扱上の注意

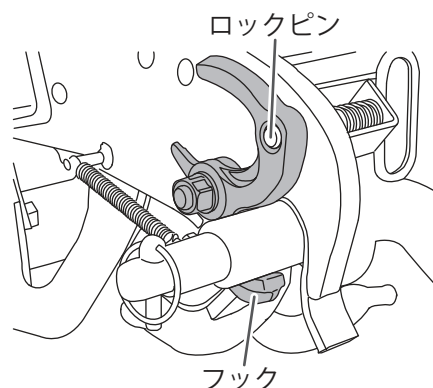
- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。
- 特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。
- また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- トップリンクやロアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) オートヒッチバーを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づけます。
作業機のヒッチブラケット開口部にオートヒッチバーを取付けます。

取扱上の注意

- トラクタと作業機が正対するようにしてください。
- ジョイントとトラクタが干渉しないようにしてください。

- (4) 装着後、ロックピンが確実にフックに入り込んでロックされているか確認します。



4 トラクタのトップリンクを作業機のマストに、付属のトップリンクピンで取付けます。

お知らせ

- 付属のトップリンクピンは、カテゴリーⅡ、Ⅲ形兼用です。
- トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 2L」(→ p.98) で確認してください。

ジョイントの取付け（トラクタ側）

⚠ 警告



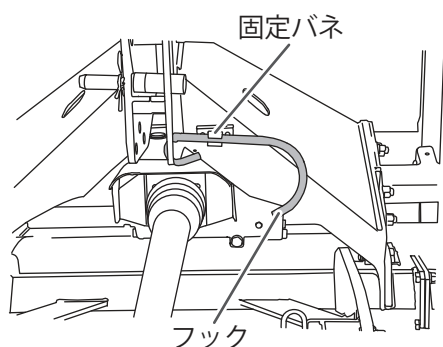
必ず実行

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 抜け止めのために連結していたジョイントのチェンを外します。

- 2 ジョイントハンガのフックをジョイントから取外し、固定バネにはめ込みます。



取扱上の注意

- ・トラクタの PTO 軸にジョイントを取付けるときは、必ずジョイントハンガのフックからジョイントを取外してください。

- 3 ジョイントをトラクタの PTO 軸に取付けます。

(a) CV・SV 仕様以外の場合

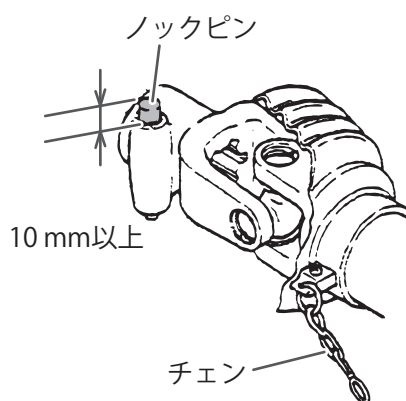
ジョイントのカバーには PTO 側を示すラベルが貼付けられています。

(b) CV・SV 仕様の場合

ジョイントのカバーには PTO 側を示すトラクタの図が描かれています。

- (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸に挿入し、PTO 軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) トラクタ側のノックピンの取付け状態を確認します。

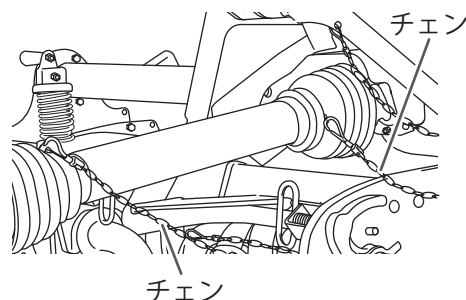
- ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



- 4 トラクタ PTO 側のジョイントセーフティバーのチェンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- ・このとき作業機を上げ下げしてもチェンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 注意



取付け後は、各ピンの抜け止めがされていることを確認してください。

必ず実行 * 作業機が脱落し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタの PTO 軸を後方より見て直線上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっていることを確認します。
 - ・10 mm を超える場合は、10 mm 以内になるように左右均等にチェックチェンを張ります。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるようにします。

- 2** トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リフトロッドを調整します。
- 油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッドを回して調整します。

トップリンクの調整

トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 2L」(→ p.98) を参照して調整してください。

⚠ 警告



トップリンクの調整は、作業機を接地させてから行ってください。

必ず実行 * トップリンクが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- トップリンク長さを変更した場合は「トラクタ別装着表 2L」(→ p.98) に合わせて修正してください。
- また使用により長さが変化していないか確認してください。作業機やジョイントを破損する恐れがあります。

ジョイントの確認

シングルジョイントの場合、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸とが平行に近いほど異音が少ないです。

⚠ 注意



注意

(ジョイント B895SA の場合)
作業機を使用中、スリップクラッチに触れないでください。

* 火傷をする恐れがあります。



必ず実行

(ジョイント B895SA の場合)
スリップクラッチの周囲には可燃性のものを置かないようにし、長時間スリップしないようにしてください。

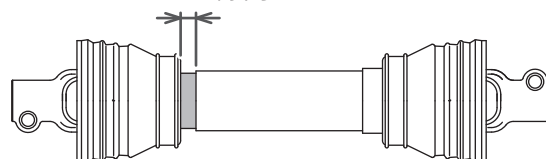
* 火災の恐れがあります。

取扱上の注意

- トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。
- ジョイントに負荷がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。
- この場合、PTO を切るか、回転しても振動や音が出ない位置に作業機的最上位置を規制してください。

- ゆっくり作業機を上げます。
- ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。
- 作業機を上下してカバーの隙間が下表の範囲であることを確認します。

カバーの隙間



ジョイントの種類	ジョイントの切断寸法 (mm)	カバーの隙間 (mm)
KG97	-	25 ~ 490
KG87	-	25 ~ 390
B895SA	-	0 ~ 245
	20	0 ~ 215
	50	0 ~ 195
KGD106A	-	28 ~ 428
KGD96A	-	28 ~ 328
KGD91A	-	28 ~ 278
	30	28 ~ 248

トラクタからの取外し

⚠ 警告



必ず実行

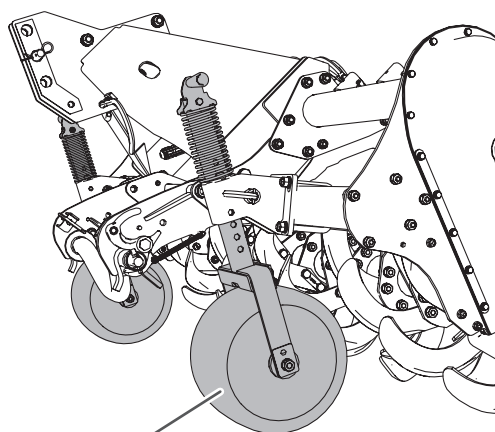
作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 トラクタから取外す姿勢にします。

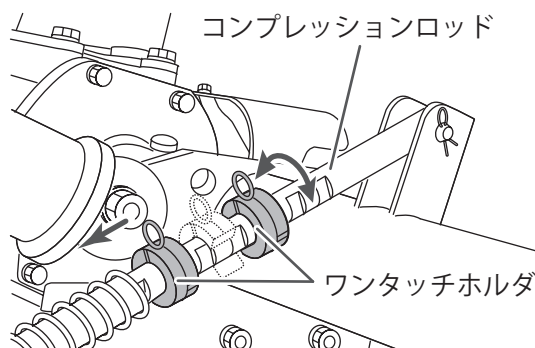
- (1) ホイールゲージの穴位置を、作業機をトラクタに装着したときと同じ位置にします。

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。



ホイールゲージ

- (2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。



コンプレッションロッド

ワンタッチホルダ

2 作業機を下げます。

- (1) トラクタ PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。
- (3) 作業機を下げ、接地させます。

ジョイントの取外し（トラクタ側）

1 ジョイントを取外します。

⚠ 警告



必ず実行

ジョイントを取外すときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

ジョイントを取外すときは、作業機を接地させてから行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- (1) セーフティーカバーのチェーンを取外します。
- (2) トラクタ PTO 軸側のジョイントのノックピンを押しながら、ジョイントを引抜きます。
- (3) ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して下げ、ジョイントを乗せます。
- (4) ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェーンを連結します。

2 トップリンクを取外します。

- (1) ホイールゲージが接地し、作業機が安定するまでトップリンクの長さを調整します。
- (2) トップリンクに力がかからなくなったところでトップリンクを取外します。

3 オートヒッチフックのロックを解除します。

⚠ 注意



ロックを解除する際は、十分注意してください。

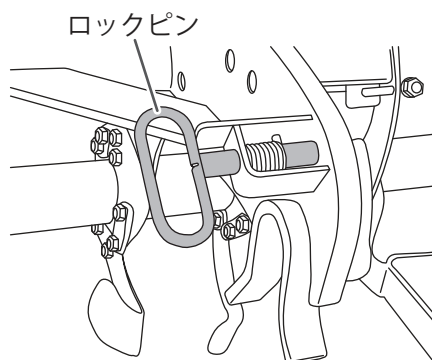
注意

* オートヒッチバーが急に下り外れて、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

(1) ロックピンを引っ張ります。

⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。

(2) ロックピンを下図の位置にしておきます。



4 作業機をトラクタから取外します。

(1) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。

⇒ 作業機は外れます。

取扱上の注意

- ・ 外れない場合は、場所が平坦でないなどの原因があります。動作をやり直してください。
- ・ トップリンクを外した状態で、作業機を大きく上下させないでください。作業機が転倒する恐れがあります。

移動・圃場への出入り

移動・圃場への出入りについての注意事項を以下に示します。

よく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

注意事項

⚠ 危険



必ず実行

トラックへの積み込みや坂の上りの場合、トラクタの前輪が浮き上がる時は、フロントウエイトを付け、作業機を下げてから上ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 警告



必ず実行

圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げ、うねや段差に対して直角に進んでください。

うねが高いときは丈夫で滑り止めのあるアユミ板を使用し、傾斜角が 14° 以下になるようにしてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

移動の際は作業機を持ち上げ、油圧ロックをし、左右のブレーキを連結し、チェックチェーンが張れていることを確認してください。

* 転倒事故につながる恐れがあります。



必ず実行

前後左右に気をくばり、安全を確認しながら走行してください。

高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回はしないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

移動の際は、EX エプロンをたたんでください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



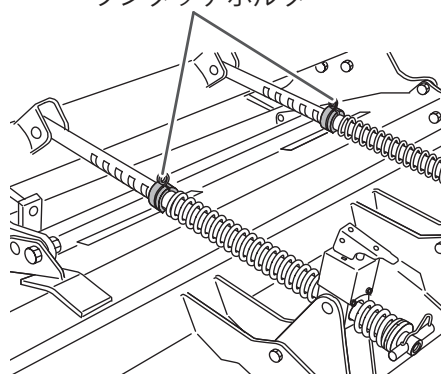
必ず実行

作業機の運搬、またはトラクタへ装着しての移動は、エプロンが上下に揺れないようにゆっくり移動してください。

エプロン調整に使用するワンタッチホルダを、エプロンが揺れない位置まで下げてください。

* エプロンが上下に大きく揺れ、機体が破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

ワンタッチホルダ



作業のしかた

ここでは作業のしかたについて詳しく記載しています。

作業前によく読み、内容を理解してから作業をしてください。

注意事項

⚠ 危険



禁止

運転中トラクタと作業機の周囲には、補助作業者や他の人を絶対に近づけないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO シフトレバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。

- ・ 運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき
- ・ 爪軸などへの草やワラのからみ付きを取除くとき

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

傾斜地での急旋回は、ゆっくりと注意して行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

(SRZ の場合)

トラクタ PTO 変速設定は 1000 rpm に設定してください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

うね畦付近の作業は、作業機をうねに引っかけないように、ゆっくりと注意して行ってください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。

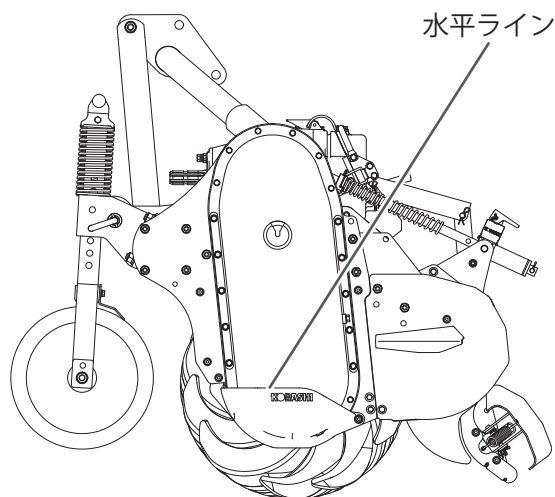
作業機姿勢の確認

トップリンク長さを確認し、作業機の前姿勢が正しいか確認してください。

またトラクタ側の左右傾き調整を行い、作業機が左右水平であるか確認してください。

お知らせ

- ・ 作業機の水平ラインを目安としてください。



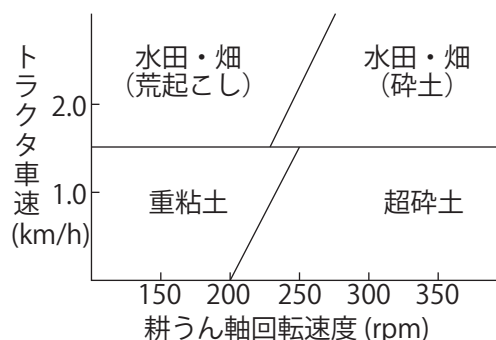
使いかた

移動・圃場への出入り／作業のしかた

作業速度と耕うん軸回転速度

- (a) 作業目的と土地条件に合わせて、トラクタの車速と耕うん軸回転速度を決めてください。

下図は作業の目安としてください。



- (b) 枕地耕うんは車速を落として耕うんしてください。

- (c) エンジン回転は SRV の場合は、PTO 変速「1」にて、PTO 軸を回転速度 540 rpm まで上げてください。

一部チェンジギヤーの組合せでは、1000 rpm での使用が可能です。「耕うん軸回転速度の選択」(→ p.39) の表に従って調整してください。SRZ の場合は、PTO 変速を 1000 rpm に設定してください。

エンジン回転を落として使用する場合は、PTO 変速を適宜上げて、車速に合った耕うん軸回転速度を確保してください。

取扱上の注意

- ・ 逆転土寄せ作業はしないでください。
 - ・ 土地条件に応じた作業速度、PTO 軸回転速度、深さを選んでください。
- なお、石の多い圃場では、作業速度は遅くし、PTO 軸回転速度も下げて使用してください。

耕うん軸回転速度

この作業機の耕うん軸回転速度は、チェンジギヤーの交換により変更できます。チェンジギヤーケースカバーを外してチェンジギヤーを交換してください。

警告



必ず実行

必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シフトレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

注意



必ず実行

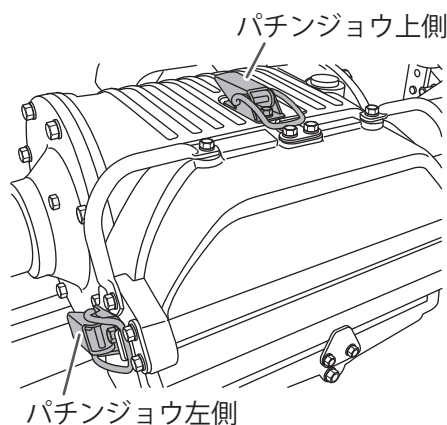
耕うん作業後は手で触れないでください。
* オイル温度が 80 度以上になり、火傷する恐れがあります。

チェンジギヤーケースカバーの開け方

- 1 パチンジョウの 3 か所のうちはじめに左→右を取外し、その後、上の順に取外します。

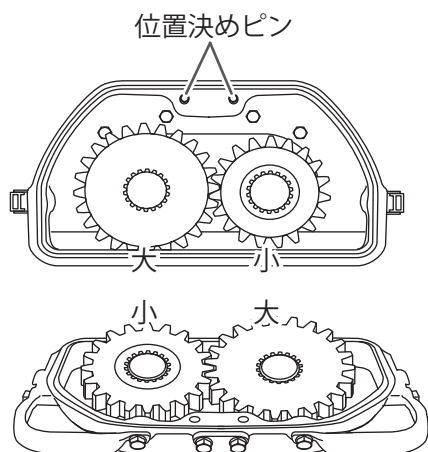
取扱上の注意

- ・ 開けるときは、オイルがあふれないように作業機を前傾にしてください。

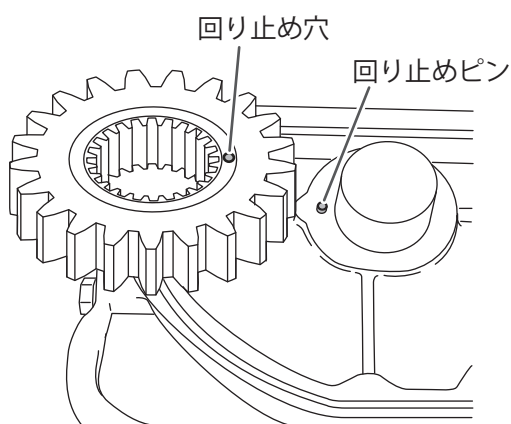


■チェンジギヤーの交換方法

- 1 予備のチェンジギヤーの左右位置は、大きさが組込ギヤーの逆に組込みます。
 - ・左が大きい場合は、右に大きいギヤーを入れます。



- 2 左側の予備ギヤーは回り止めのピンと穴を合わせて組込みます。
 - ・ピンと穴が正しく組込まれた状態でないと、チェンジギヤーカバーの取付けができません。



■チェンジギヤーケースカバーの閉め方

- 1 パチンジョウの3か所のうちはじめに上を固定し、その後、左→右の順に固定します。

取扱上の注意

- ・交換後は、パッキンが溝からはみ出さないように注意してください。
- ・2か所の位置決めピンに合わせてチェンジギヤーカバーを取付けてください。
- ・必ず予備のギヤーをチェンジギヤーケースカバーに組込んで使用してください。

耕うん軸回転速度の選択

表中の◎、○、OP は以下を示します。

- ・◎：標準組込み耕うん軸回転速度
- ・○：予備組込み耕うん軸回転速度
- ・OP：オプション (→ p.77)

■SRV

トラクタ PTO 軸回転速度が 540 rpm の場合を示します。

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	HS・KZ・ E (Z)・ HSW・KZW・ CV・SV 仕様	A 仕様	S・HJ・ J 仕様
A	B				
29	20	167 rpm	OP	OP	OP
28	21	181 rpm	OP	OP	○
27	22	197 rpm	◎	○	○
26	23	214 rpm	OP	◎	OP
25	24	232 rpm	○	OP	OP
24	25	252 rpm	○	OP	OP
23	26	273 rpm	OP	○	OP
22	27	297 rpm	○	○	◎
21	28	323 rpm	OP	OP	○
20	29	351 rpm	OP	OP	OP

下表に示すギヤー組合せの場合は、トラクタ PTO 軸回転速度を 1000 rpm で使用可能です。

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	HS・KZ・ E (Z)・ HSW・KZW・ CV・SV 仕様	A 仕様	S・HJ・ J 仕様
A	B				
29	20	309 rpm	OP	OP	OP
28	21	336 rpm	OP	OP	○
27	22	365 rpm	◎	○	○
26	23	396 rpm	OP	◎	OP

トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸回転速度が 160 ～ 400 rpm の範囲に収まるようにチェンジギヤーを交換してください。

使
い
か
た

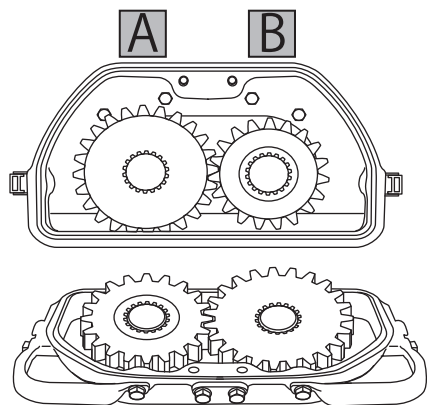
作
業
の
し
か
た

■ SRZ

トラクタ PTO 軸回転速度が 1000 rpm の場合を示します。

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	HS・KZ・E 仕様	J 仕様
A	B			
36	15	163 rpm	OP	OP
35	16	179 rpm	OP	OP
34	17	195 rpm	◎	OP
33	18	213 rpm	OP	OP
32	19	232 rpm	OP	OP
31	20	252 rpm	OP	○
30	21	273 rpm	OP	OP
29	22	296 rpm	○	◎
28	23	321 rpm	OP	OP
27	24	347 rpm	OP	OP

トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸回転速度が 160 ～ 400 rpm の範囲に収まるようにチェンジギヤーを交換してください。



取扱上の注意

- SRZ の場合、チェンジギヤーは A に大きい方、B に小さい方を組んでください。大小を逆に組むと故障につながる恐れがあります。

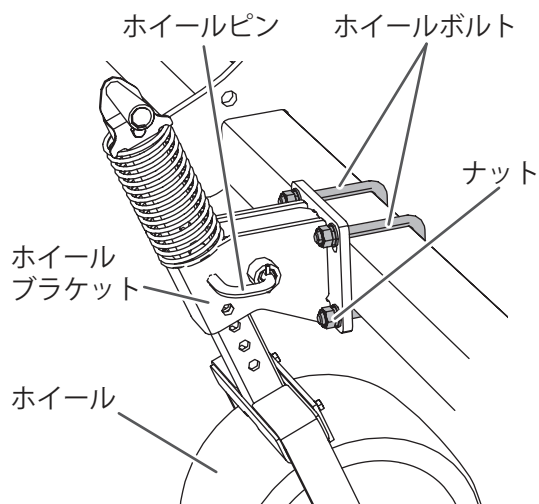
作業深さの調整

作業深さの調整は、ホイールゲージの上下調整、オートロータリ（オプション）、またはトラクタの油圧ポジションコントロールレバーで行ってください。

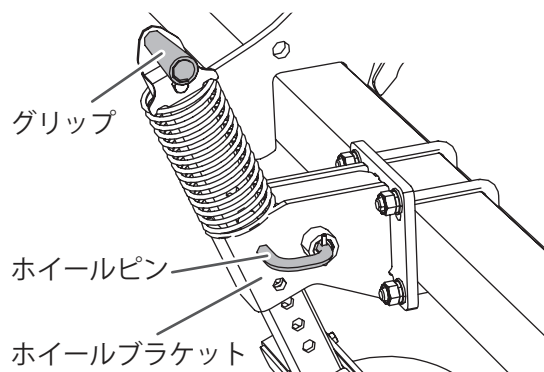
ホイールゲージの調整

耕深を安定させるために、以下を行ってください。

- 1 ホイールブラケットを左右に動かし、トラクタのタイヤトレッドとホイール位置を調整します。
 - 左右調整はホイールブラケットを取付けているホイールボルトのナットを緩めてください。
- 2 ホイールボルトのナットを締めて固定します。



- 3 ホイールゲージ高さを上下に調整して希望の耕深を選びます。
 - 調整はホイールピンをホイールブラケットの上下 2 個の穴に差し替えることにより、1.5 cm 間隔で耕深を調整できます。



- ・ 爪回転半径の底から、ホイールゲージ接地面までの高さの目安は下記です。

(a) SRV (HS・KZ) の場合

最下げ～最上げ：3 cm ～ 22.5 cm
(1.5 cm 間隔)

- ・ 仕様により± 1.5 cm 程度の差があります。

(b) SRZ (HS・KZ) の場合

最下げ～最上げ：-1 cm ～ 20 cm
(1.5 cm 間隔)

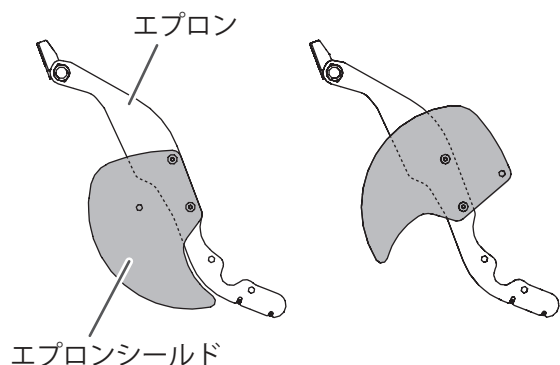
- ・ 仕様により± 1.0 cm 程度の差があります。

取扱上の注意

- ・ 左右ホイールゲージの穴位置は同じにしてください。作業機が傾いたり、作業機が損傷したりする恐れがあります。
- ・ ホイールゲージの上下調整は、グリップを持って行ってください。
- ・ ホイールピンの操作はホイールピン以外の部分を持たないようにしてください。

エプロンシールドの調整

エプロンシールドの向きを変えることで、エプロン両端からの土の排出具合を調整できます。



取扱上の注意

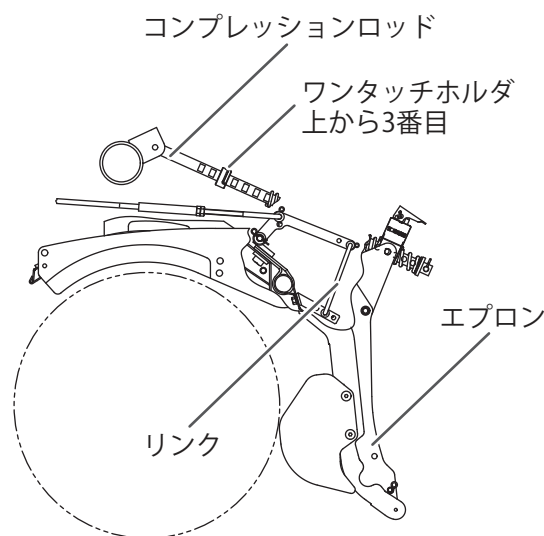
- ・ 必ずエプロンにエプロンシールドを取付けた状態で作業機を使用してください。作業機が破損する恐れがあります。
- ・ エプロンシールドは、必ず図に示すいずれかの向きで取付けてください。誤った向きで取付けた場合、作業機が破損する恐れがあります。

オートロータリ仕様 (オプション)

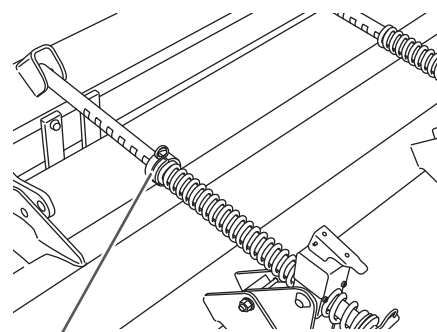
■オートロータリを取付けた場合の耕深調節

トラクタの『取扱説明書』と『オートロータリ取付け要領書』を参照してください。

■オートロータリ作業時の取扱いについて



- オートロータリを使用して作業を行うときは、上図のようにワンタッチホルダを上から3番目より下の位置にセットしてください。
1、2番目の位置で使用すると、センサーまたはトラクタ本体が破損します。
- エプロンをはね上げる場合は、オートロータリ金具のリンク部分を取外してください。
- オートロータリと作業機破損防止のため、移動・運搬時はワンタッチホルダをエプロンが上下に大きく揺れない位置にセットしてください。



ワンタッチホルダ

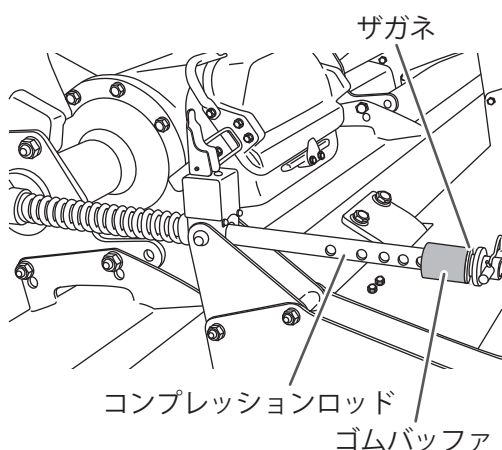
エプロンの調整

エプロンを調整することにより使用目的に応じた作業機の性能（仕上がり精度、碎土、反転）を発揮することができます。

この作業機にはクイックアシストが装備されています。操作方法は「クイックアシストの操作方法」（→ p.46）を参照してください。

取扱上の注意

- ・ 耕うん作業は必ずクイックアシストのロックがかかった状態で使用してください。
- ・ はね上げロック装置を用いてエプロンをはね上げた状態での耕うん作業、路上走行、トラクタとの脱着作業は行わないでください。
- ・ コンプレッションロッド下側にゴムバッファを装着した状態が標準状態です。ゴムバッファを装着せずに作業を行うと、作業機が破損する恐れがあります。

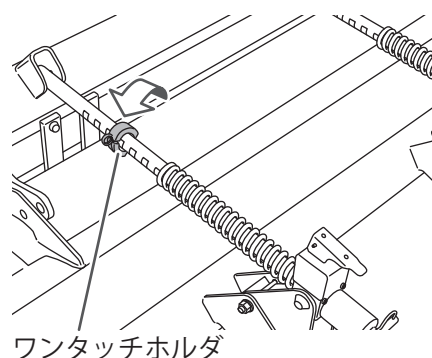


一般耕うんの場合

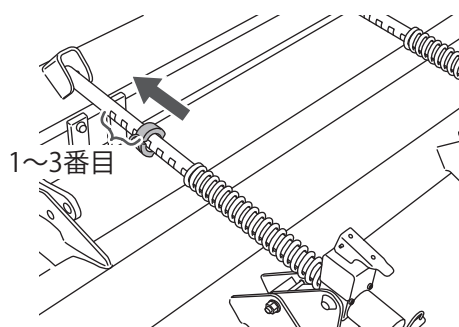
ワンタッチホルダを上から1～3番目の溝にセットし、上側のスプリングを弱めに効かせ、エプロンで押さえ過ぎないようにします。

1 ワンタッチホルダのコイル部分を横に向けます。

⇒ 解除されます

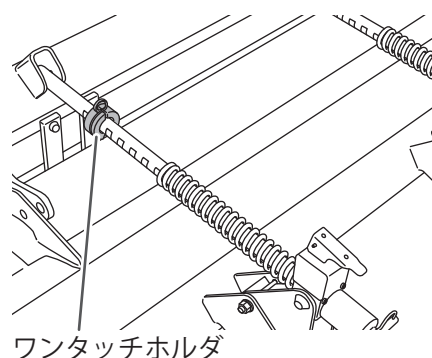


2 ワンタッチホルダを上から1～3番目の溝に移動します。



3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向けます。

⇒ ロックされます



取扱上の注意

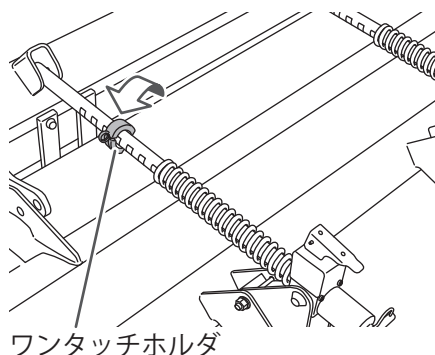
- ・ すべてのワンタッチホルダ位置は同じにしてください。作業機が損傷する恐れがあります。

碎土耕うんの場合

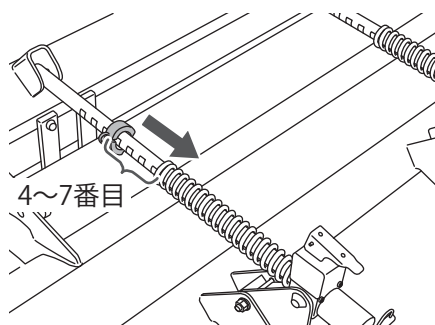
ワンタッチホルダを上から4～7番目の溝にセットし、上側のスプリングを効かせ、エプロンの押さえを強くします。

1 ワンタッチホルダのコイル部分を横に向けます。

⇒ 解除されます

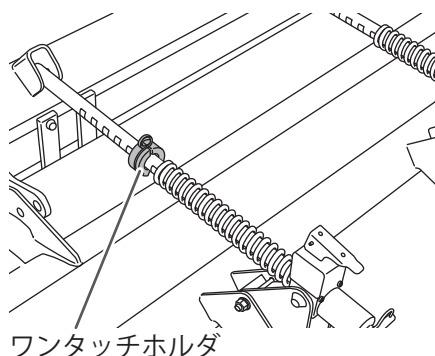


2 ワンタッチホルダを上から4～7番目の溝に移動します。



3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向けます。

⇒ ロックされます



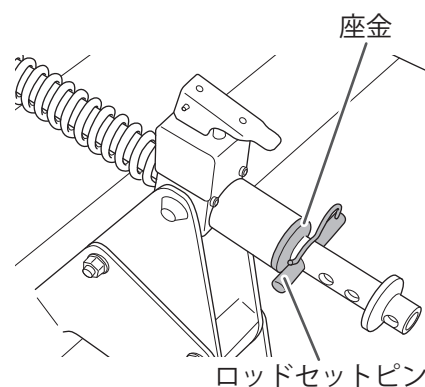
取扱上の注意

- すべてのワンタッチホルダ位置は同じにしてください。作業機が損傷する恐れがあります。

石の多い、湿田、粘土質圃場での耕うん

ワンタッチホルダを最上位置までいったん逃がし、上側のスプリングをフリーにし、ロッドセットピンを下から2～6番目の穴に挿し、エプロンを少し上げた状態にすると、土はけがよく所要馬力も少なくなります。

最上げ位置まで上げたワンタッチホルダは、いずれかの溝にセットした状態にしてください。



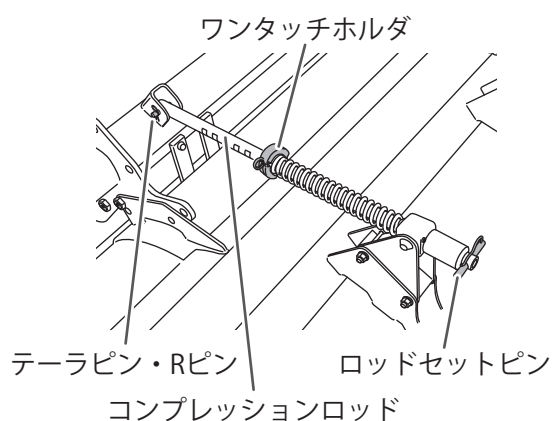
取扱上の注意

- エプロンをロッドセットピンで少し上げた状態では、クイックアシストの操作はできません。クイックアシストを使用してエプロンをはね上げる場合は、ロッドセットピンを元の位置に戻しエプロンを一番下ろした状態にして行ってください。
- エプロンをロッドセットピンなどで上げた状態では、オートロータリを使用した作業はできません。

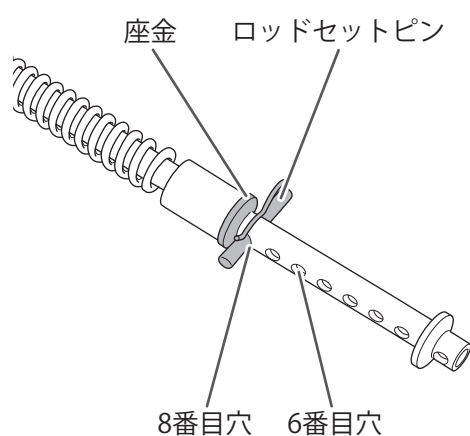
■さらにエプロンを高い位置にした場合

以下の方法で、エプロンをさらに高い位置まで上げることができます。

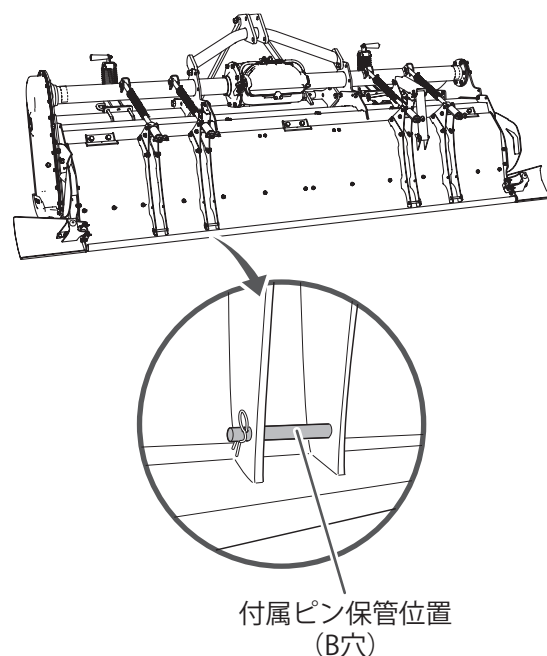
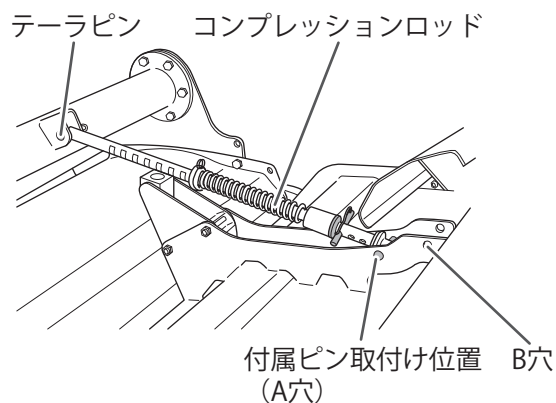
- 1 テーラピンを取外して、すべてのコンプレッションロッドを作業機から取外します。



- 2 ロッドセットピンを、コンプレッションロッド 6～8 番目の穴に固定します。



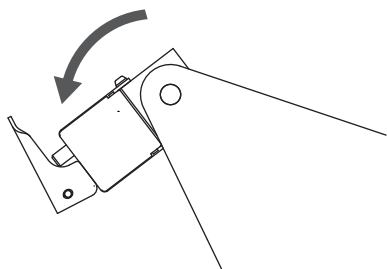
- 3 コンプレッションロッド最下穴とエプロン A 穴を、エプロン B 穴の付属ピンを使って取付けます。



- 4** すべてのコンプレッションロッドとフレームパイプを、テールピンを使って取付けます。

お知らせ

- コンプレッションロッドを取付ける前に、中央2か所のはね上げロック装置を必ず前方に倒してください。



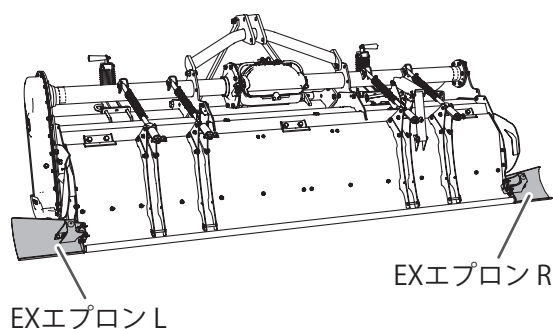
EX エプロン

⚠ 注意



EX エプロンを開くときに、支点周りで指や手を挟まないようにしてください。
必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

隣接部に盛る土をならす場合などに開いてください。



⚠ 注意



移動の際は、EX エプロンをたたんでください。
必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。

圃場の回りかた

⚠ 注意



禁止

耕うん作業を行いながらの旋回を行わないでください。

* エプロン両端や EX エプロン、サイドディスクが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

旋回を行うときは、作業機を持ち上げてください。

* エプロン両端や EX エプロン、サイドディスクが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

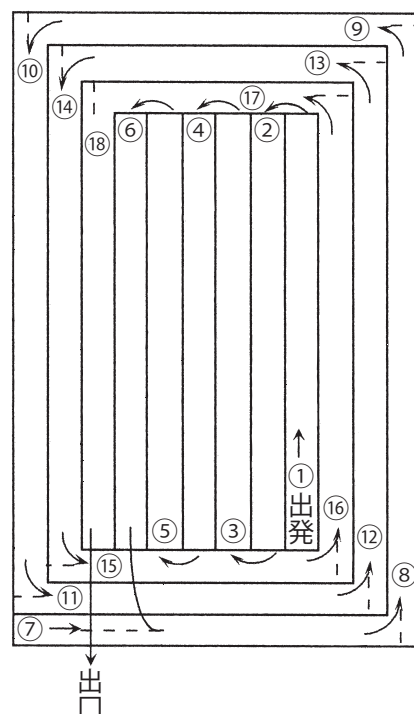


注意

旋回時は周囲の障害物に注意してください。

* エプロン両端や EX エプロンが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

一般的に行われている隣接耕うんです。参考にしてください。うね際耕うんにおいては、サポートハウジングがうね際（チェンケース側が内側）になる方向で行ってください。



使いかた

作業のしかた

クイックアシストの操作方法

クイックアシストはガススプリングを使用した、エプロンはね上げ補助装置です。

クイックアシストを使用することで、エプロンはね上げ作業の負荷を軽減することができます。

注意事項

傷害事故防止のため、クイックアシストを操作する場合、およびエプロンの上げ・下げ操作をする場合は次のことを守ってください。

⚠ 危険



作業機が落下・転倒しないよう以下の作業を行ってください。

必ず実行

- ・トラクタに装着した状態で操作をする
- ・トラクタの駐車ブレーキをかける
- ・エンジンを停止して油圧ロックを行う
- ・台などを作業機の下に置く

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります

⚠ 注意



禁止

作業機の周囲に補助作業員や他の人を絶対に近づけないでください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

エプロンを操作する場合は、エプロンの幅方向中央付近を両手でしっかりと持ってください。また、エプロン周辺の各可動部や摺動部に手を置かないでください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業は丈夫な手袋を着用し、作業中に周辺部品に接触しないよう、注意して行ってください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

エプロンハネアゲロックレバーの操作は、しっかりとレバーを持って指を挟まないようにしてください。

* ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- ・耕うん作業は必ずアシスト装置のロックがかかった状態で使用してください。守らないと、作業機が破損します。
- ・エプロンををはね上げて保持する場合、必ずはね上げロックを使用してください。
- ・エプロンををはね上げた状態での耕うん作業（「■さらにエプロンを高い位置にしたい場合」（→ p.44）を除く）、路上走行、トラクタとの脱着作業は行わないでください。

お知らせ

- ・オートロータリを取付けている場合は、オートロータリ金具のリンク部分を取外し、はね上げ操作を行ってください。
- ・クイックアシストを使用してエプロンををはね上げる場合は、ロッドセットピンを元の位置に戻し、エプロンを一番下ろした状態にして行ってください。
エプロンをロッドセットピンで持ち上げた状態では、クイックアシストの操作はできません。（→ p.43）
- ・土や石がクイックアシスト周辺に付着している場合は、きれいに清掃を行ってください。
支点部、摺動部へグリスアップしてから、エプロンのはね上げ作業を行ってください。「■クイックアシスト」（→ p.68）

使用方法

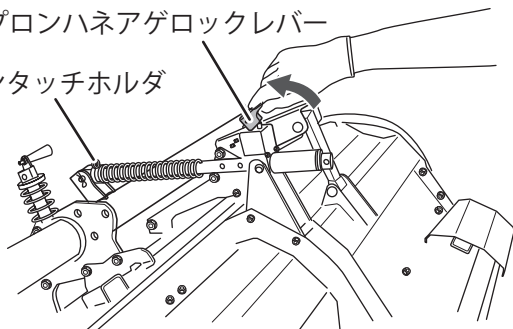
エプロンをはね上げるとき

爪交換などの保守・点検作業のときに、エプロンをはね上げて自動ロックすることができます。ここでは、その手順を説明します。

- 1 ワンタッチホルダを最上げ位置まで上げ、2 か所のエプロンハネアゲロックレバーを起こします。

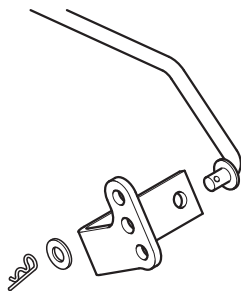
エプロンハネアゲロックレバー

ワンタッチホルダ



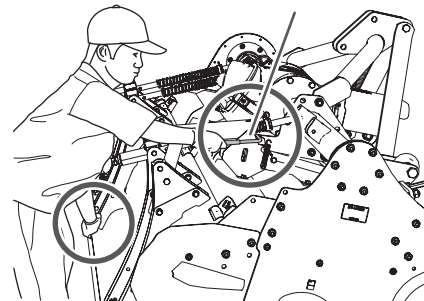
取扱上の注意

- ・オートロータリを取付けている場合は、『オートロータリ取付け要領書』を参照してオートロータリ金具のリンク部分を取外してください。

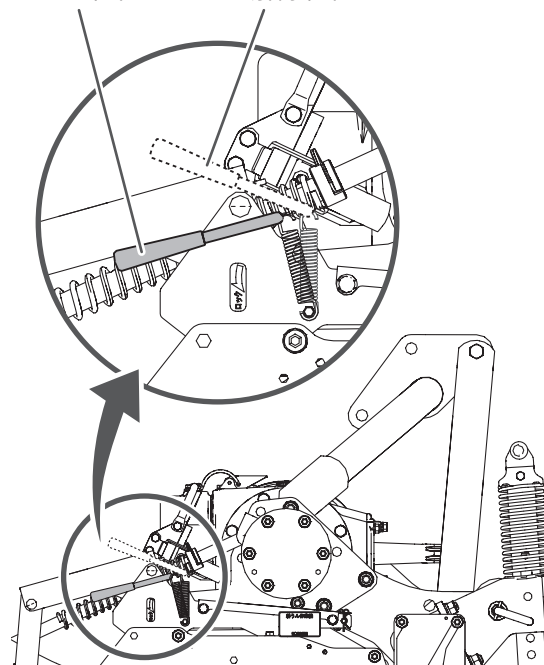


- 2 エプロンを押し下げながら、アシストハンドルを持ち上げ、アシスト装置のロックを解除します。

アシストハンドル



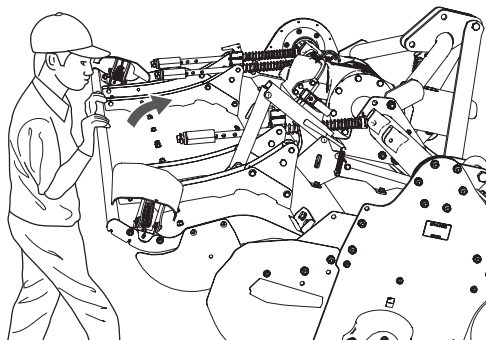
ロック位置 ロック解除位置



使いかた

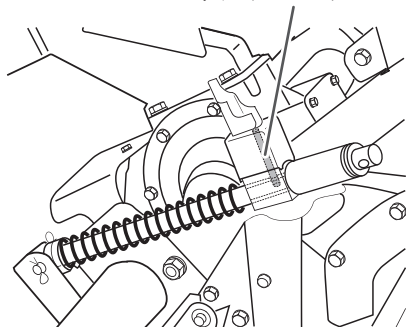
クイックアシストの操作方法

- 3** 両手でエプロンを持ち上げます。



⇒ ハネアゲロックピンがコンプレッションロッドの穴に入りロックされていることを確認します。

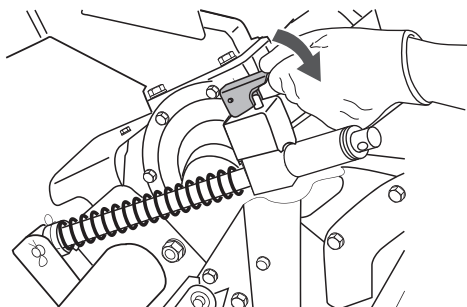
ハネアゲロックピン



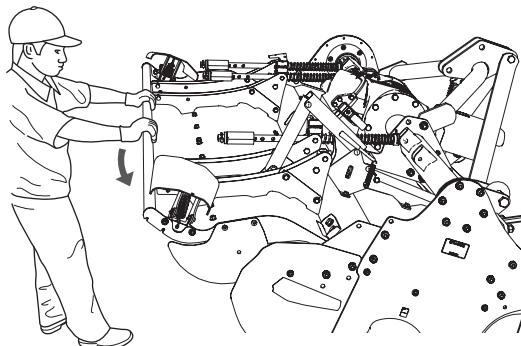
エプロンを下ろすとき

はね上げたエプロンを下ろすときの手順を説明します。

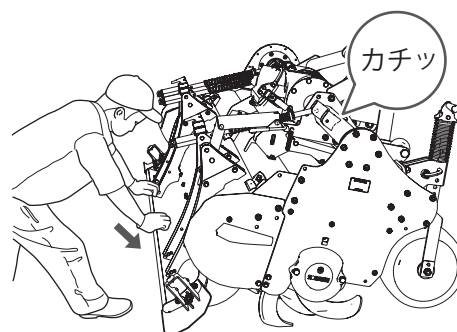
- 1** 2か所のエプロンハネアゲロックレバーを倒し、解除します。



- 2** エプロンを少し持ち上げ、はね上げロックを解除し、ゆっくりとエプロンを下へ押し下げます。



- 3** エプロンを下まで下ろした後、待機状態にあるアシスト装置のロックが「カチッ」と音がする（ロック状態）までエプロンを押し下げます。

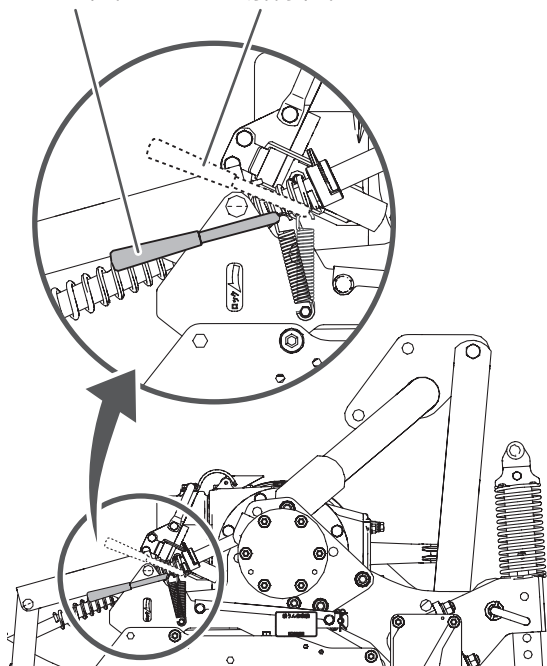


- 4** エプロンを押し下げると同時に、ロックが
確実にかかっていることを確認します。

取扱上の注意

- ・ ロックが不十分の場合、十分な整地性能を発揮
できません。また、作業機を破損する恐れがあ
ります。

ロック位置 ロック解除位置



エプロンのはね上げ動作を途中 で止めたときは？

エプロンのはね上げ動作を途中で止め、エプロンを
下ろした場合などは、「エプロンを下ろすとき」の
手順②（→ p.48）のロック待機状態への自動移行
が行われないため、エプロンを押し下げてもロック
がかかりません。

この場合はアシストハンドルを下に押し、ロック待
機状態にした後、エプロンを押し下げ、ロックをか
けてください。

耕うん爪の取付け

耕うん爪が摩耗すると作業状態が悪くなるため、早めに交換してください。

以下の手順で、耕うん爪を交換してください。

注意事項

⚠ 危険



作業機が落下しないよう以下の作業を行ってください。

- 必ず実行
- ・トラクタの駐車ブレーキをかける
 - ・エンジンを停止して油圧ロックを行う
 - ・台などを作業機の下に置く
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



エブロンをしっかりと固定して、落下しないようにしてから行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



ボルト、ナットを緩めたり、締付けたりする場合は、メガネレンチが確実に入った状態で作業してください。

* ケガにつながる恐れがあります。



作業は丈夫な手袋を着用して行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- ・爪の交換は、1本ずつ外して同じ形状、同じ刻印の爪を取付けてください。
一度に全部外して交換すると、配列を誤る恐れがあります。
爪の配列を誤ると、異常な振動が発生したり、仕上がりが悪くなったりします。
- ・爪はしっかりと締付けてください。

ボルト (M16) : 156.8 ~ 192.0 N・m
(1600 ~ 1960 kgf・cm)

ボルト (M12) : 130.0 ~ 150.0 N・m
(1326 ~ 1530 kgf・cm)

新しく交換した場合は緩みやすいため、作業開始1時間で増締めをしてください。

耕うん爪の種類と用途

■ SRV

フランジ仕様

耕うん爪の種類	用途	仕様 (1 フランジの爪取付け本数)
快速爪 (HS2995Z)	一般耕うん用	HS (4 本)
快適爪 (KZ2705)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZ (4 本)
強力爪 (113EZ)	一般耕うん用 (強度・耐久)	E (Z) (4 本)
快速爪 (HS2596Z)	一般耕うん用 (高速)	A (エース) (4 本)
S 爪 (SE3012Z)	畑碎土用 (浅)	S (4 本)
S 爪 (SE2412Z)	畑碎土用 (浅)	HJ (6 本)
S 爪 (SE3012Z)	畑碎土用 (深)	J (6 本)
L 爪 (C29130)	礫地用	CV (6 本)
S 爪 (S30130)	畑碎土用 (礫)	SV (6 本)

ホルダ仕様

耕うん爪の種類	用途	仕様
快速爪 (HS2660Z)	一般耕うん用	HSW
快適爪 (KZ3545)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZW

■ SRZ

フランジ仕様

耕うん爪の種類	用途	仕様 (1 フランジの爪取付け本数)
快速爪 (HS2995Z)	一般耕うん用	HS (4 本)
快適爪 (KZ2705)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZ (4 本)
強力爪 (113EZ)	一般耕うん用 (強度・耐久)	E (4 本)
S 爪 (SE3012Z)	畑碎土用 (深)	J (6 本)

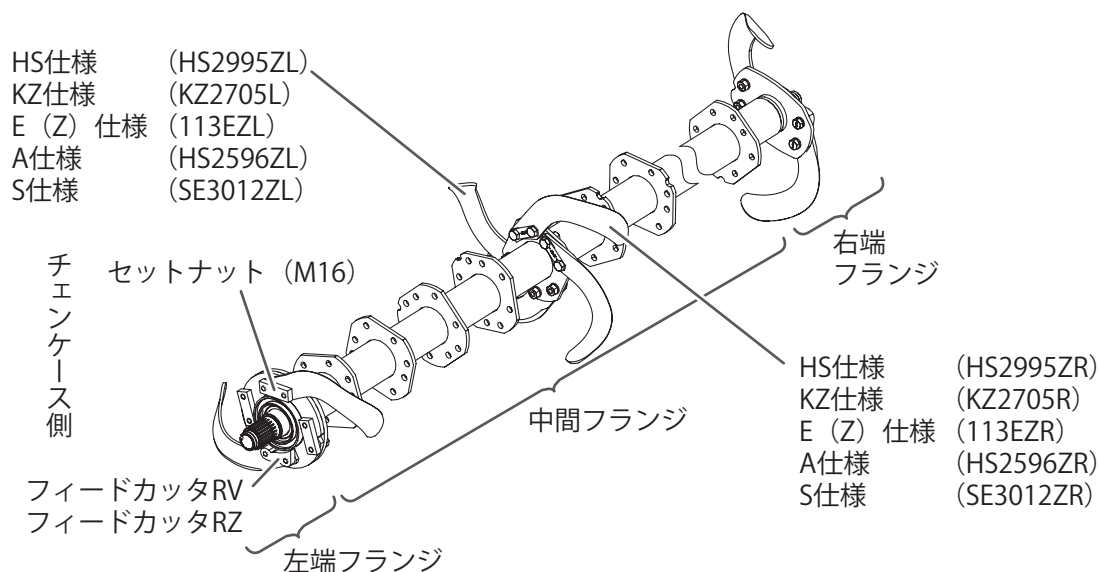
耕うん爪について

SRV [HS・KZ・E (Z)・A・S 仕様]、SRZ (HS・KZ・E 仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪、取付けボルト

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)							
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	フィード カッター RV	フィード カッター R	セット ナット M16
SRV221 [HS・KZ・E (Z)・A・S]	22	22	41	82	2	4	4	1	1	3
SRV241 [HS・KZ・E (Z)・A・S]	24	24	45	90	2	4	4	1	1	3
SRV261 [HS・KZ・E (Z)・A・S]	26	26	49	98	2	4	4	1	1	3
SRV281 [HS・KZ・E (Z)・A・S]	28	28	53	106	2	4	4	1	1	3
SRV301 [HS・KZ・E (Z)・A・S]	30	30	57	114	2	4	4	1	1	3

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)						
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 60 BT SW	フィード カッタ RZ	セット ナット M16
SRZ241 (HS・KZ・E)	24	24	45	90	2	4	4	2	3
SRZ261 (HS・KZ・E)	26	26	49	98	2	4	4	2	3
SRZ281 (HS・KZ・E)	28	28	53	106	2	4	4	2	3
SRZ301 (HS・KZ・E)	30	30	57	114	2	4	4	2	3
SRZ351 (HS・KZ・E)	36	36	69	138	2	4	4	2	3

使
い
か
た

耕
う
ん
爪
の
取
付
け

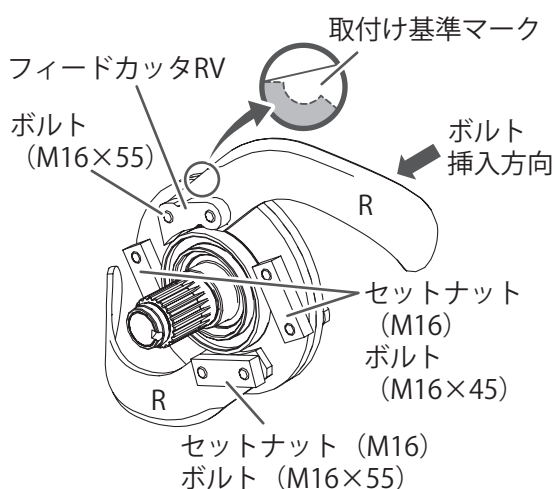
■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R (2 本) をフランジの左外側面に内向きに取付けてください。

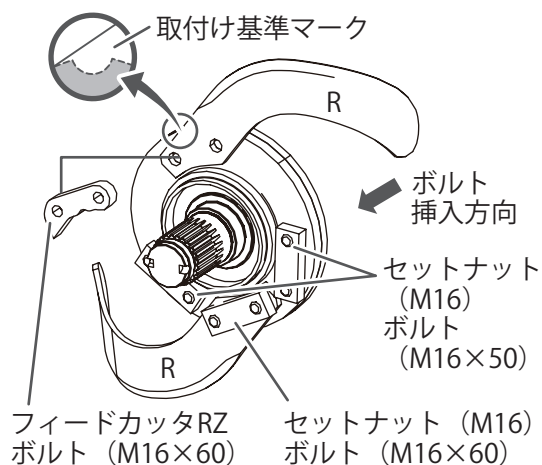
この場合、フランジ側からボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪を挟んで固定します。

- ・ 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV もしくはフィードカッタ RZ を使用します。
- ・ 反対位置はセットナットを使用します。

(SRV の場合)

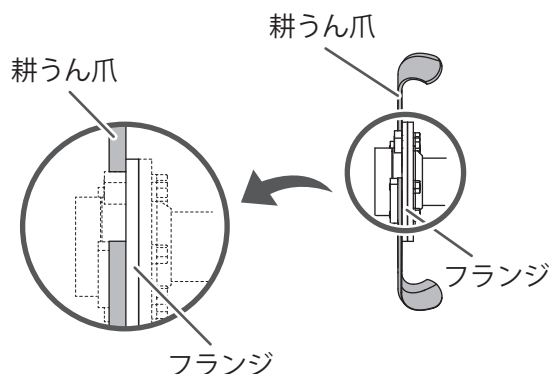


(SRZ の場合)



取扱上の注意

- ・ 耕うん爪 R (2 本) は、フランジの左外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



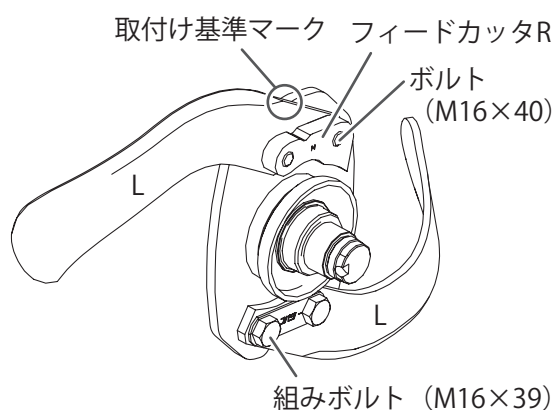
■右端フランジへの取付け

耕うん爪 L (2 本) をフランジの右外側面に内向きに取付けてください。

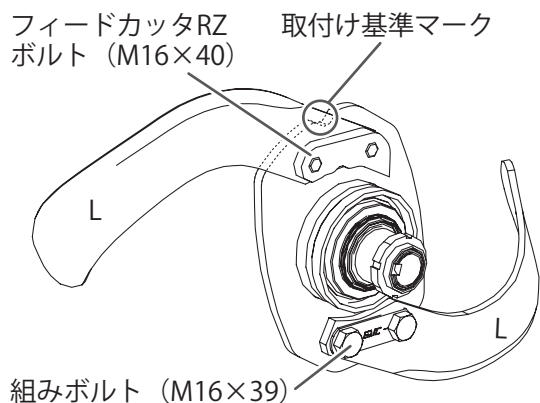
この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側からボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッタ R で耕うん爪を挟んで固定します。

もう一方は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

(SRV の場合)

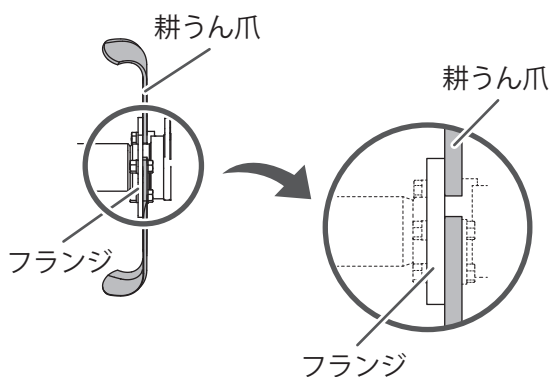


(SRZ の場合)



取扱上の注意

- ・ 耕うん爪 L (2 本) は、フランジの右外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



■中間フランジへの取付け

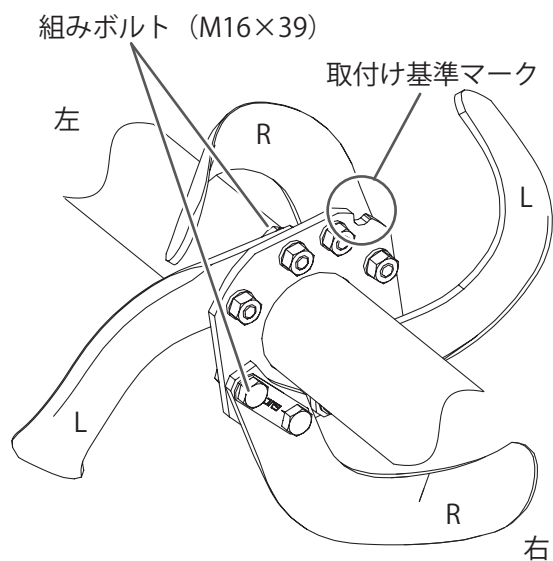
各フランジに耕うん爪 L・R (各 2 本) を取付けてください。

取扱上の注意

- ・ 耕うん爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。
耕うん爪 L・R (各 1 本) を 1 組とし、1 組はフランジの左側面に、もう 1 組は右側面に取付けてください。

(SRV、SRZ 共通)

取付け基準マークのところに耕うん爪 R をフランジの左側面に取付けます。隣接する耕うん爪 L は同じ左側面に、その他の爪は右側面に取付けます。組みボルト (M16 × 39) は左右それぞれ爪側から挿入し、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。



使いかた

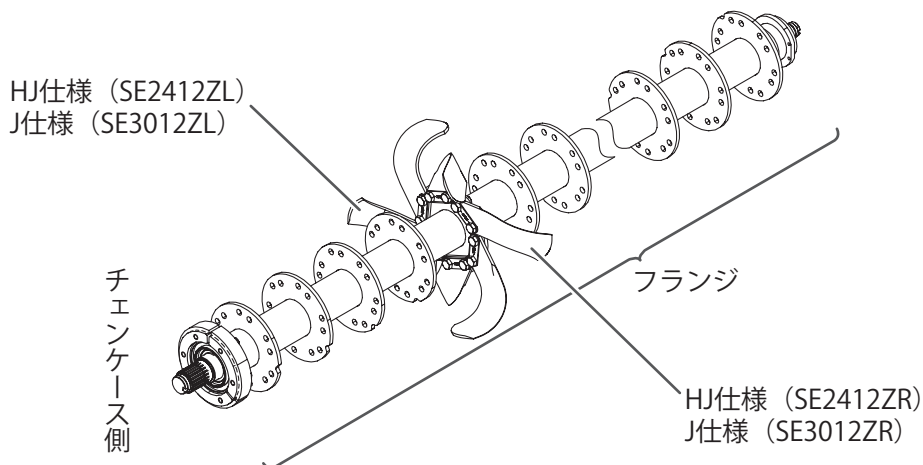
耕うん爪の取付け

SRV (HJ・J仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)					
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	セット ナット JL	フィード カッタ	コガタ ボルト 2P M10 × 20 P1.5
SRV201 (J)	33	33	66	132	6	3	1	2
SRV221 (J)	36	36	72	144	6	3	1	2
SRV241 (J)	39	39	78	156	6	3	1	2
SRV261 (HJ・J)	42	42	84	168	6	3	1	2
SRV281 (HJ・J)	45	45	90	180	6	3	1	2
SRV301 (HJ)	48	48	96	192	6	3	1	2

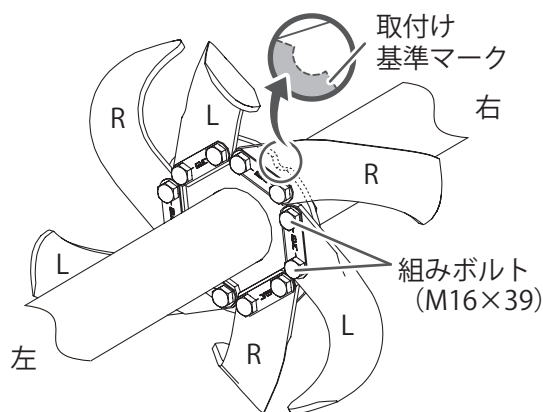
■フランジへの取付け

フランジの左側に L・R 各 3 本の耕うん爪を取付けてください。

取付け基準マークのところに R 爪を取付けます。その他の爪は、フランジの左側に R、L の順番に取付けます。組みボルト (M16 × 39) は爪側から挿入し、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

取扱上の注意

- 爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。

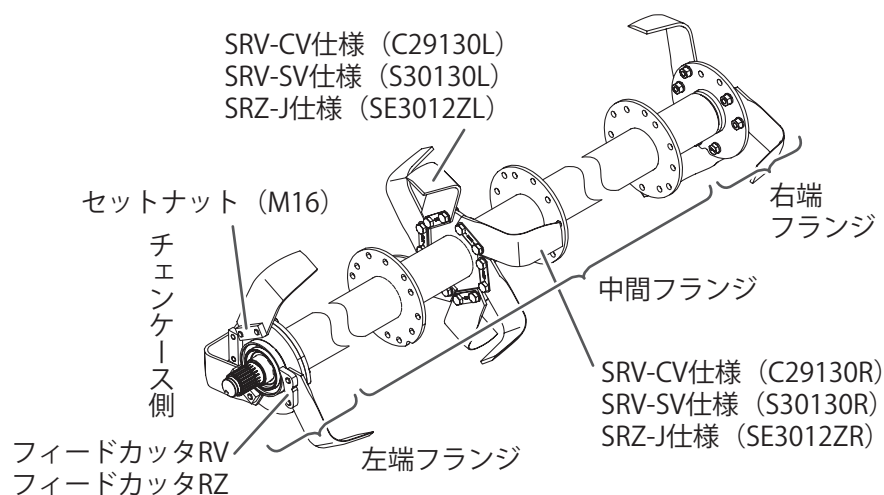


SRV (CV・SV仕様)、SRZ (J仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)							
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	フィード カッタ RV	フィード カッタ R	セット ナット M16
SRV201CV SRV201SV	24	24	44	88	2	2	6	1	1	3
SRV221CV SRV221SV	27	27	50	100	2	2	6	1	1	3

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)							
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 60 BT SW	フィード カッタ RZ	フィード カッタ R	セット ナット M16
SRZ281J	45	45	86	172	2	2	6	1	1	3
SRZ301J	48	48	92	184	2	2	6	1	1	3
SRZ351J	54	54	104	208	2	2	6	1	1	3

使いかた

耕うん爪の取付け

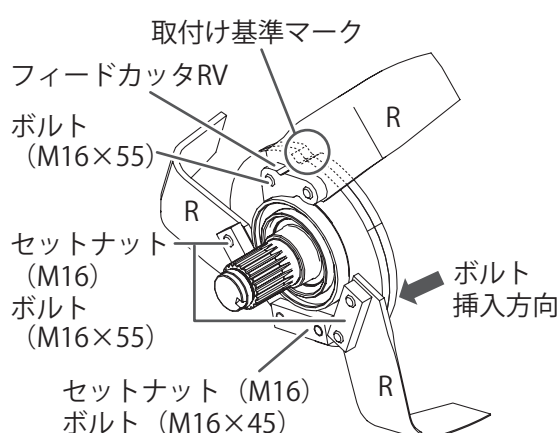
■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R (3 本) をフランジの左外側面に内向き
に取付けてください。

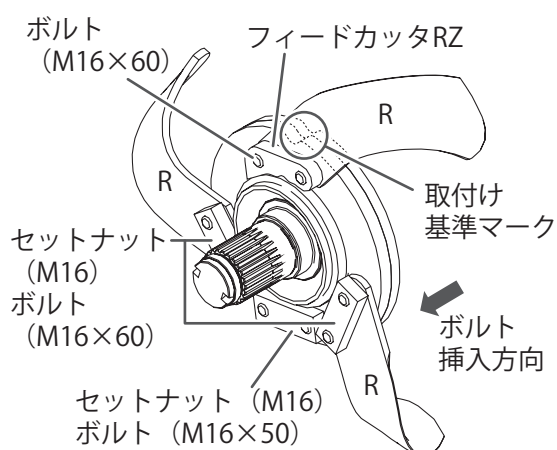
この場合、フランジ側からボルトと S ワッシャを入
れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪
を挟んで固定します。

- 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV も
しくはフィードカッタ RZ を使用します。
- その他の位置はセットナットを使用します。

(SRV の場合)

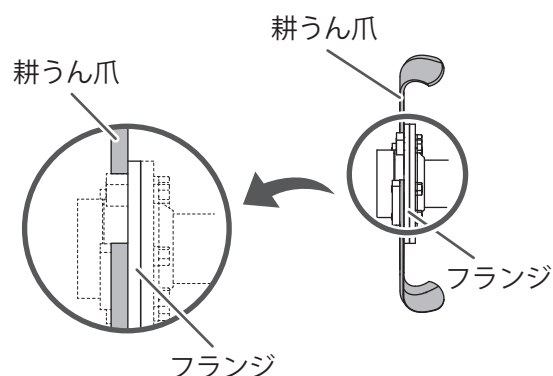


(SRZ の場合)



取扱上の注意

- 耕うん爪 R (3 本) は、フランジの外側面に取
付けてください。作業機が損傷する恐れがあり
ます。



■右端フランジへの取付け

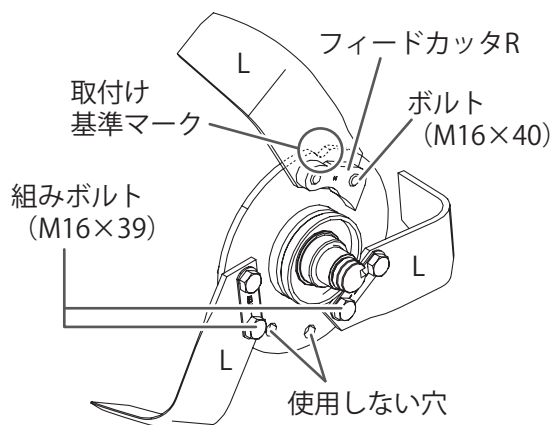
耕うん爪 L (3 本) をフランジの右外側面に内向きに取付けてください。

この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側からボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッターで耕うん爪を挟んで固定します。

その他の位置は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

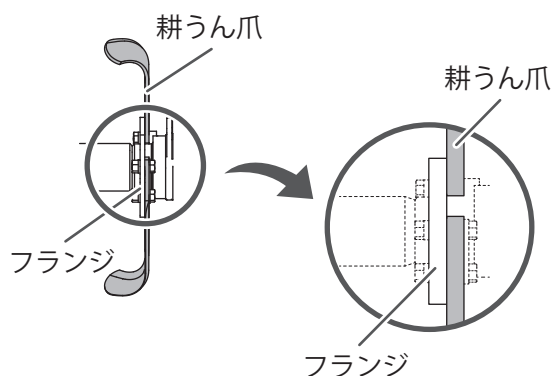
- 爪は 3 等分となるよう取り付けてください。取付け基準マークの対面となる 2 つの穴は使用しません。

(SRV・SRZ 共通)



取扱上の注意

- 耕うん爪 L (3 本) は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



■中間フランジへの取付け

フランジの左側に耕うん爪 L・R (各 3 本) を取付けてください。

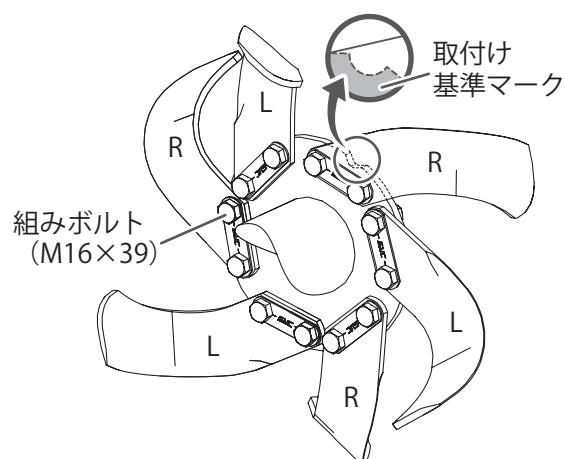
取付け基準マークのところに耕うん爪 R を取付けます。その他の爪は、図のようにフランジの左側面に R-L、R-L、R-L の順番になるように取付けます。

組みボルト (M16 × 39) は爪側から挿入し、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

取扱上の注意

- 耕うん爪 L (3 本) を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。

(SRV、SRZ 共通)



使いかた

耕うん爪の取付け

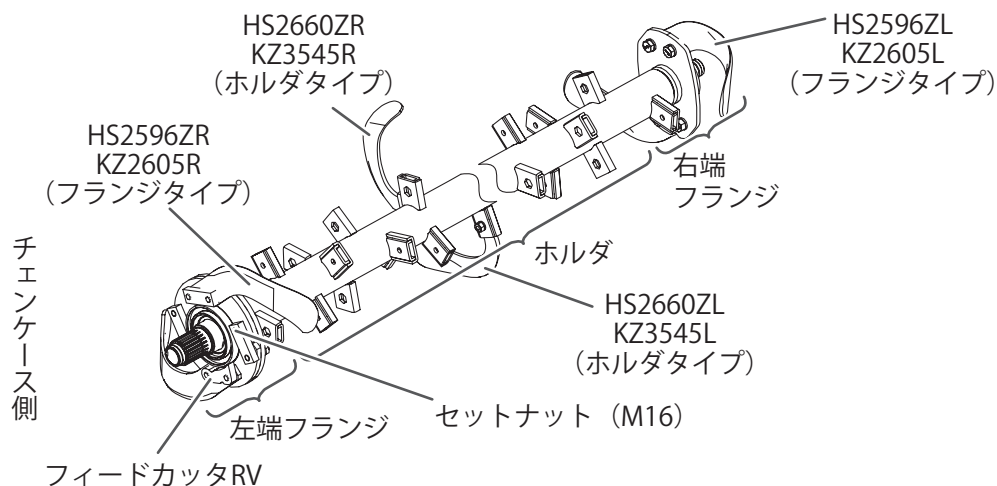
SRV (HSW・KZW 仕様)

■爪配列

爪配列は山形配列です。

両端はフランジタイプ爪、中間はホルダタイプ爪を取付けます。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

(左端／右端フランジ部)

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)							
	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	フィード カッタ RV	フィード カッタ R	セット ナット M16
SRV241 (HSW・KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV261 (HSW・KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV281 (HSW・KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV301 (HSW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV351 (HSW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3

(ホルダ部)

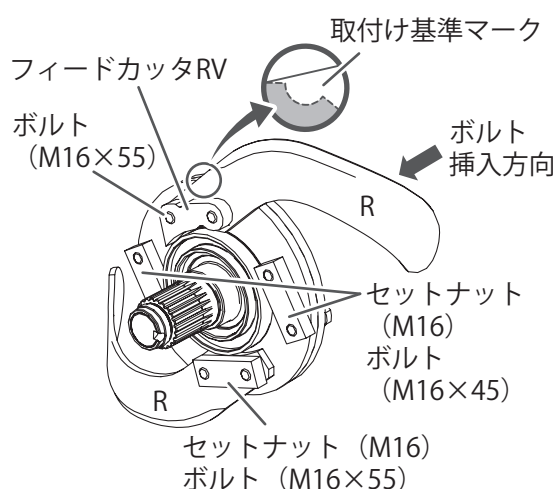
型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.25 11T)
	左 (L)	右 (R)	M12 × 30 (B=21) BT NT (6T) SW
SRV241 (HSW・KZW)	23	23	46
SRV261 (HSW・KZW)	26	26	52
SRV281 (HSW・KZW)	28	28	56
SRV301 (HSW)	29	29	58
SRV351 (HSW)	34	34	68

■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R (2 本) をフランジの左外側面に内向きに取付けてください。

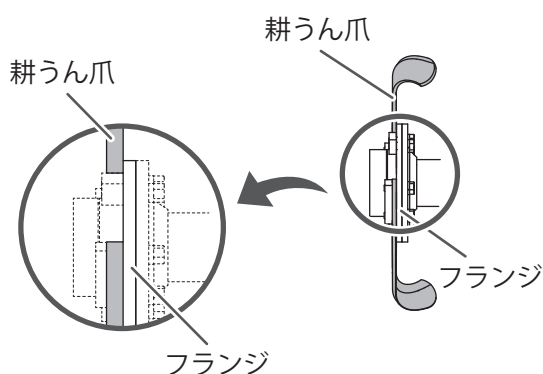
この場合、フランジ側からボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪を挟んで固定します。

- 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV を使用します。
- 反対位置はセットナットを使用します。



取扱上の注意

- 耕うん爪 R (2 本) は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。

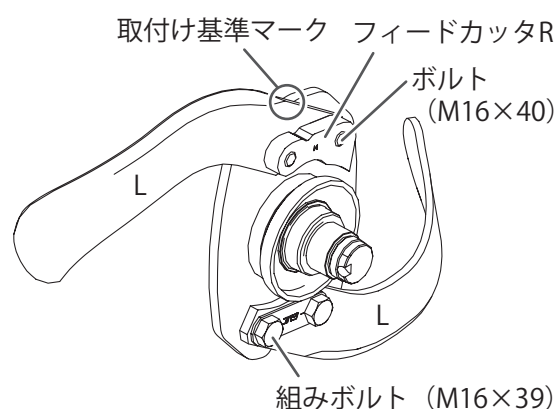


■右端フランジへの取付け

耕うん爪 L (2 本) をフランジの右外側面に内向きに取付けてください。

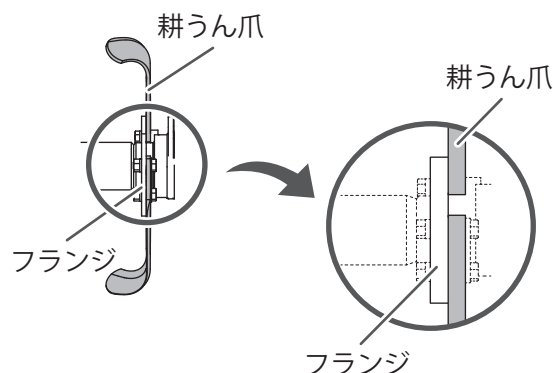
この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側からボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッタ R で耕うん爪を挟んで固定します。

もう一方は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。



取扱上の注意

- 耕うん爪 L (2 本) は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。

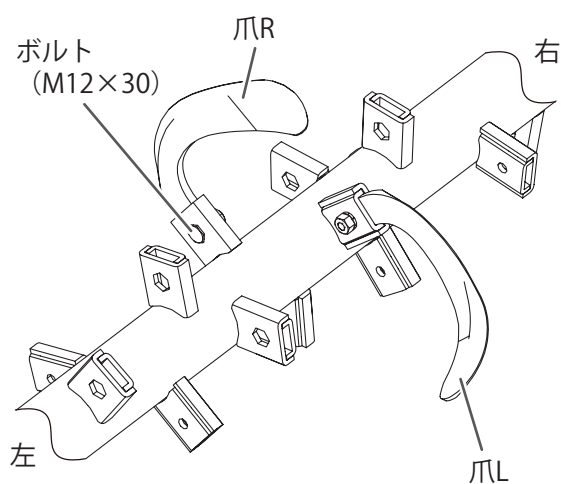


使
い
か
た

耕
う
ん
爪
の
取
付
け

■ホルダへの取付け

作業機後方より見て、右側に丸穴があるホルダに耕うん爪 R、左側に丸穴があるホルダに耕うん爪 Lを差込みます。ボルトは六角穴側から入れ、丸穴側のナットと S ワッシャで固定します。



保守・点検

作業機本来の性能を、十分にまた長期間にわたって発揮させるためには、定期的な保守・点検が必要です。また、故障を未然に防ぐため、作業機の状態を常に知っておくことも大切です。

注意事項

⚠ 危険



必ず実行

作業機をトラクタに装着して点検を行う場合は、トラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行ってください。

＊ 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機を地面に降ろしてから行ってください。

作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して油圧ロックを行い、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。

＊ 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

エプロンを持ち上げる際は、作業機が落下・転倒しないよう以下の作業を行ってください。

- ・トラクタに装着した状態で操作をする
- ・トラクタの駐車ブレーキをかける
- ・エンジンを停止して油圧ロックを行う
- ・台などを作業機の下に置く

＊ 事故・大ケガにつながる恐れがあります

⚠ 注意



必ず実行

平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

＊ ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- ・ガスピリングのピストンロッドへは、注油しないでください。
注油すると、シールの耐久性がなくなり、油漏れが起こる恐れがあります。
- ・ガスピリングに衝撃を加えないでください。
油漏れ、作動不良、破損の原因になります。
- ・ガスピリングを分解しないでください。
高圧ガスが封入されているため、分解すると非常に危険です。

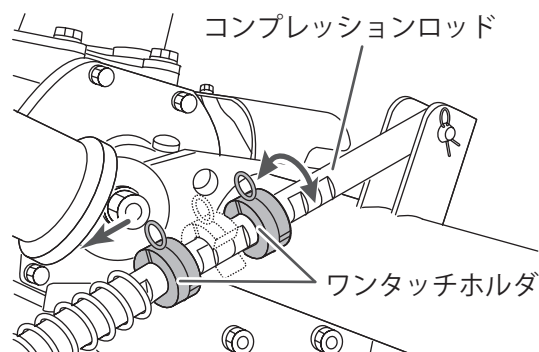
保守・点検の準備

トラクタに装着しての場合

- 1 トラクタを平坦な広い場所に置きます。
- 2 エンジンを止め、駐車ブレーキをかけます。
- 3 作業機を地面に下ろしてから行います。
 - ・作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、油圧ロックを締めます。
- 4 台などを耕うん軸の下に置き、作業機が落下しないようにします。

作業機単体での場合

- 1 作業機を平坦な広い場所に置きます。
- 2 ホイールゲージを接地させ、作業機を転倒させないようにしてください。
- 3 コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。



使
い
か
た

保
守
・
点
検

保守・点検一覧表

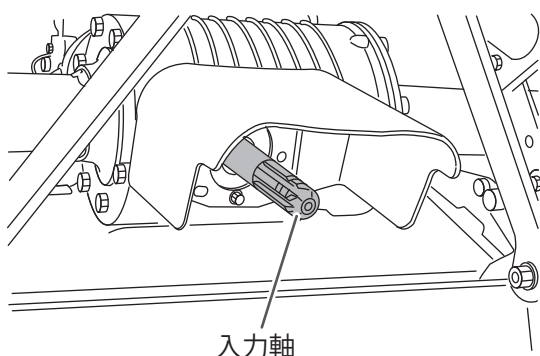
No.	作業項目	周 期									参照 ページ
		新品の場合			作業前	作業後	1 か月 ごと	50 時間 ごと	150 時間ごと または 1 年ごと	随時	
		使い はじめ	1 時間 使用後	50 時間 使用後							
1	オイル量・オイル漏れの点検 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)	○			○						p.63
	オイルの交換 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)			○					○		p.64
	オイルシール・パッキンの点検 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)								○		p.63
2	グリスアップ・塗布										-
	① ジョイント										-
	(1) グリスニップル				○						p.66
	(2) スプライン				○						p.66
	(3) ノックピン					○					p.67
	(4) シャフト					○					p.67
	② エブロンヒンジ					○					p.67
	③ エブロンハネアゲロックレバー				○						p.67
	④ クイックアシスト				○						p.68
	⑤ 入力軸					○					p.68
	⑥ オートヒッチアームのレバー、 フック					○					p.68
	⑦ 可動部への注油					○					-
3	⑧ ホイールゲージ・ グリスニップル (SRZ 仕様)							○			p.69
	無塗装部へのサビ止め								○		p.69
	エブロンのはね上げ									○	p.69
	セットナット JL の交換 SRV (HJ・J 仕様)										p.71
	各部のボルト・ナットの点検		○		○	○					p.71
	耕うん爪、爪ホルダの点検					○					p.71
	ジョイントのノックピンの点検				○						p.72
	フローティングシールの保守						○				p.72
	空転による作動確認				○						p.72
	警告表示ラベルの点検								○		p.72
	消耗品の早期交換								○		p.72
	オイルシールの組替え									○	p.73
	フローティングシールの組替え (SRV 仕様)									○	p.73
	作業機の水洗い					○					p.73

作業内容

オイル量・オイル漏れの点検

■準備

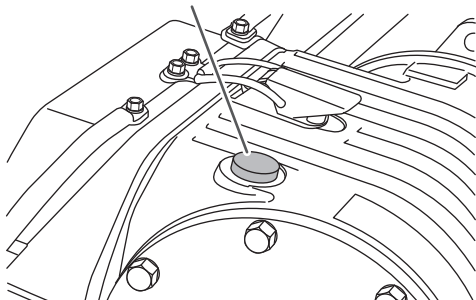
- 1 入力軸を水平にします。



■ギヤーケース

- 1 オイルゲージを抜いてから先端をきれいに拭き、ネジ込まない位置まで再び差込みます。

オイルゲージ（給油口）



- 2 ゲージの切り込み線までオイルがあるか確認します。
・ 少ない場合は補給します。

型式		使用オイル
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90
	J 仕様	ギヤーオイル #140

- 3 確認後、オイルゲージをしっかりとねじ込みます。

- 4 周囲からオイル漏れがないか確認します。（オイルシール、パッキンなど）

⚠ 注意



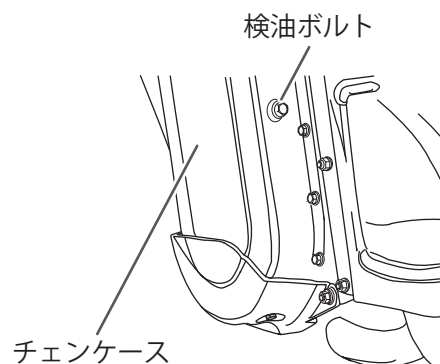
禁止

耕うん作業後は手で触れないでください。

* オイル温度が 80 度以上になり、火傷する恐れがあります。

■チェーンケース

- 1 チェンケースの後部にある検油ボルトを緩めます。



- 2 オイルが検油ボルト面まであるか確認します。

- ・ 少ない場合は、検油ボルト面まで給油口から補給します。

型式		使用オイル
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90
	J 仕様	ギヤーオイル #140

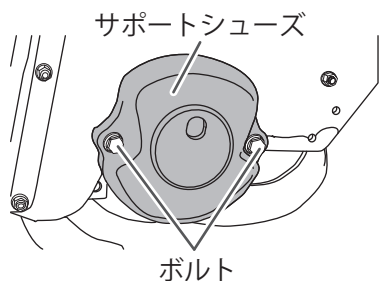
- 3 チェンケース周囲からオイル漏れがないか確認します。（オイルシール、パッキンなど）

使
い
か
た

保
守
・
点
検

■ サポートハウジング

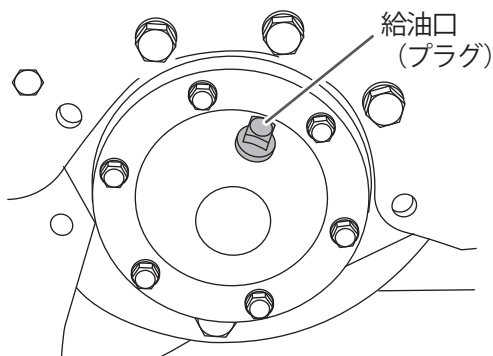
- 1 2本のボルトを緩め、サポートシューズを外します。



取扱上の注意

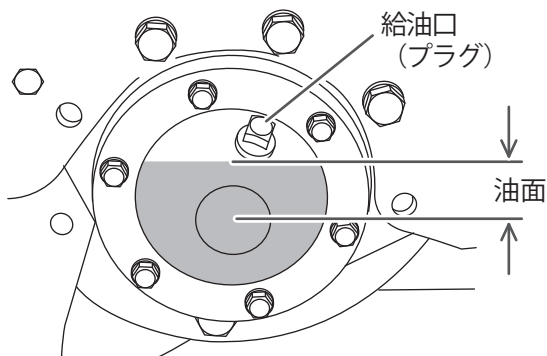
- サポートシューズ内の3本のボルトは緩めないでください。
爪軸が落下し作業機が破損する恐れがあります。

- 2 給油口のプラグを外します。



- 3 油面が軸心から給油口までの範囲であるか確認します。

- 少ない場合は補給します。(ギヤーオイル #90)



- 4 プラグのネジ部にシールテープを巻付け、プラグを検油口に再取付けします。

- 5 給油が終わったらサポートシューズを取付けます。

- 6 周囲からオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)

オイルの交換

⚠ 注意



オイル交換を行うときは、必ず別の容器に受けてから行ってください。

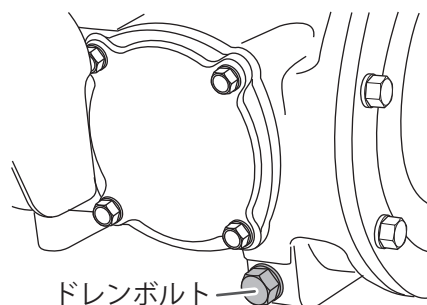
必ず実行 * 地面への垂れ流しや川への廃棄は、環境汚染につながります。

■ ギヤーケース

	型式	使用オイル	オイル量
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90	3.5 L
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90	5.5 L
	J 仕様	ギヤーオイル #140	5.5 L

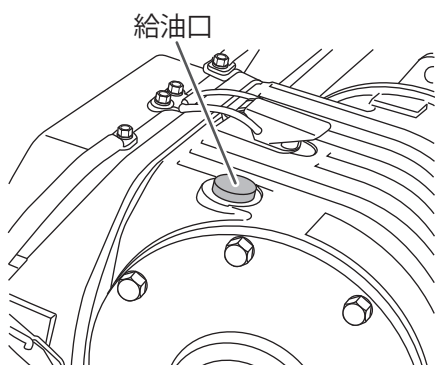
- 1 ドレンボルトを外して古くなったオイルを抜きます。

- SRZ には前後にドレンボルトがあります。



- 2 古くなったオイルを抜いたら、ドレンボルトを取付けます。

- 3** 規定量のギヤーオイルを給油口から入れます。

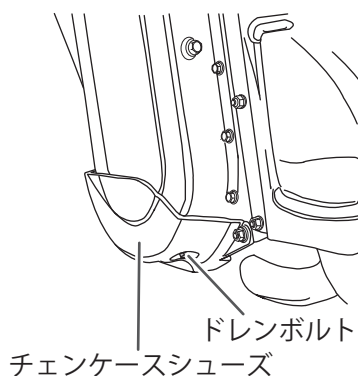


- 4** 周囲からオイル漏れがないか確認します。
(オイルシール、パッキンなど)

■チェーンケース

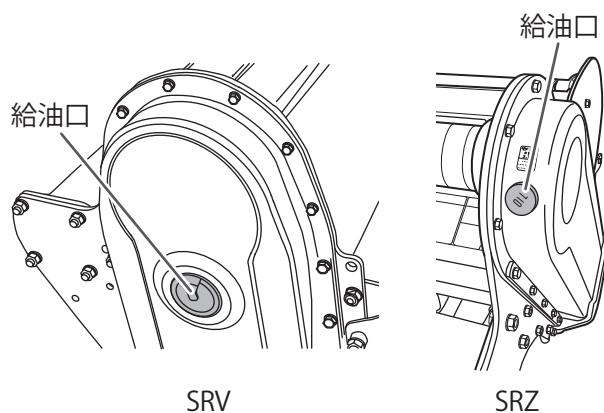
	型式	使用オイル	オイル量
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90	4.0 L
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90	4.2 L
	J 仕様	ギヤーオイル #140	4.2 L

- 1** チェーンケースシューズを外し、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。



- 2** オイルを抜いたら、ドレンボルトとチェーンケースシューズを取付けます。

- 3** 規定量のギヤーオイルを給油口から入れます。

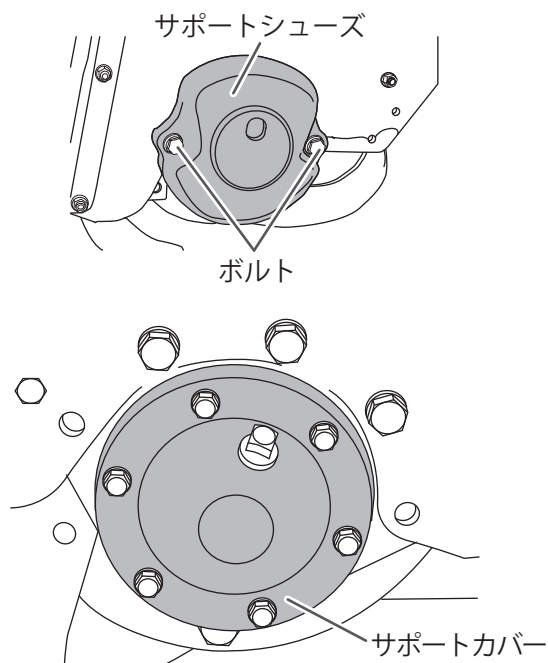


- 4** 周囲からオイル漏れがないか確認します。
(オイルシール、パッキンなど)

■サポートハウジング

型式	使用オイル	オイル量
SRV、SRZ	ギヤーオイル #90	0.1 L

- 1** 2本のボルトを外し、サポートシューズを外し、サポートカバーを外してオイルを抜きます。

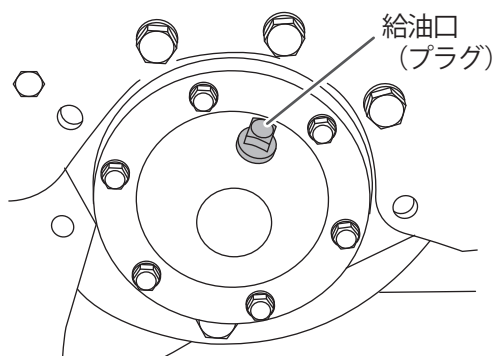


取扱上の注意

- サポートシューズ内の3本のボルトは緩めないでください。
爪軸が落下し作業機が破損する恐れがあります。

2 オイルを抜いたら、サポートカバーを取付けます。

3 規定量のギヤオイルを給油口から入れます。



4 プラグのネジ部にシールテープを巻付け、プラグを検油口に再取付けします。

5 給油が終わったらサポートシューズを取付けます。

6 周囲からオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)

グリスアップ・塗布

取扱上の注意

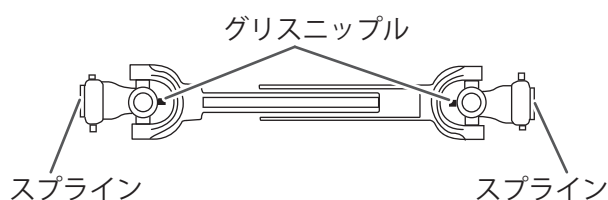
- グリスはエピノックグリース AP(N)2 (ENEOS (株)) または同等品 (リチウムグリース) を使用してください。

■ジョイント

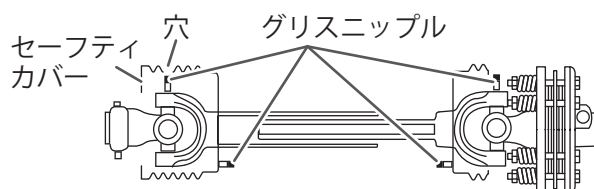
< 毎作業前 >

1 ジョイントの各部 (グリスニップル、スプライン) にグリスアップします。

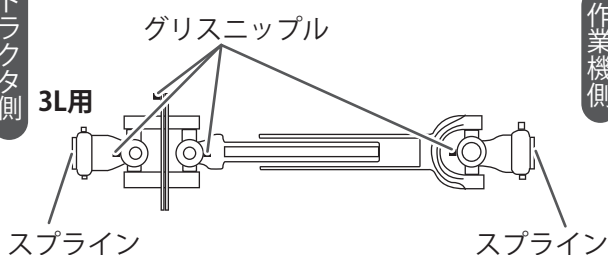
2L用 (CV・SV仕様以外)



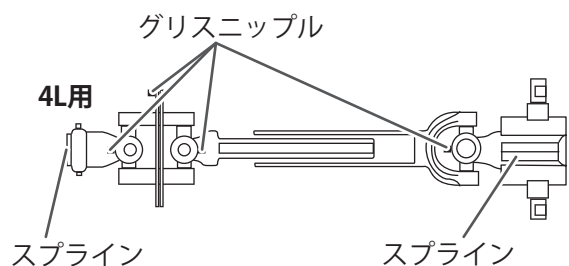
2L用 (CV・SV仕様だけ)



トラクタ側



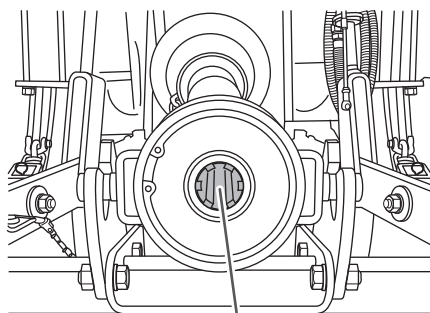
作業機側



- 2** 4セットジョイントの場合、スプライン部を掃除しグリスを塗布します。

取扱上の注意

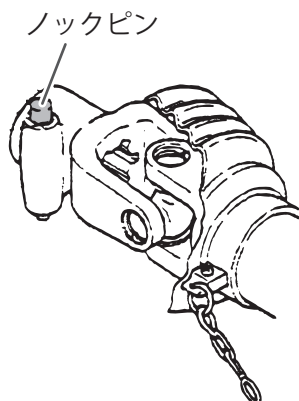
- スプライン部がサビたり傷ついたりすると、装着できなくなります。ゴミがかからないようにしてください。



スプライン部

< 毎作業後 >

- 1** ノックピンへ注油します。



- 2** ジョイントのシャフト摺動部にグリスを塗布します。

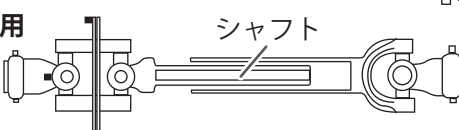
2L用 (CV・SV仕様以外)



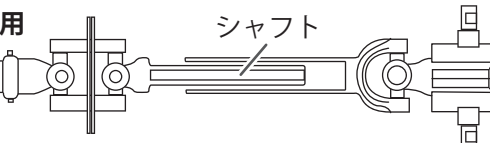
2L用 (CV・SV仕様だけ)



3L用



4L用

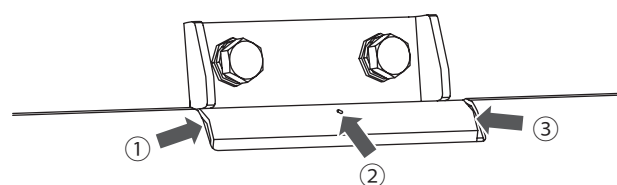


トラクタ側

作業機側

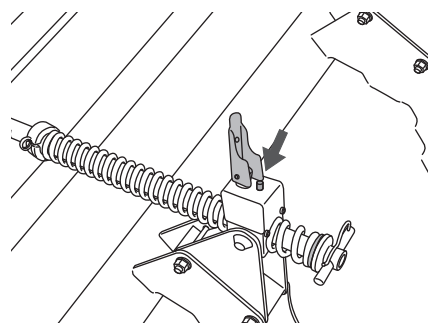
■エプロンヒンジ

エプロンヒンジにグリスを塗布、注入します。(下図矢印①～③)



■エプロンハネアゲロックレバー

エプロンハネアゲロックレバーへグリスを塗布します。

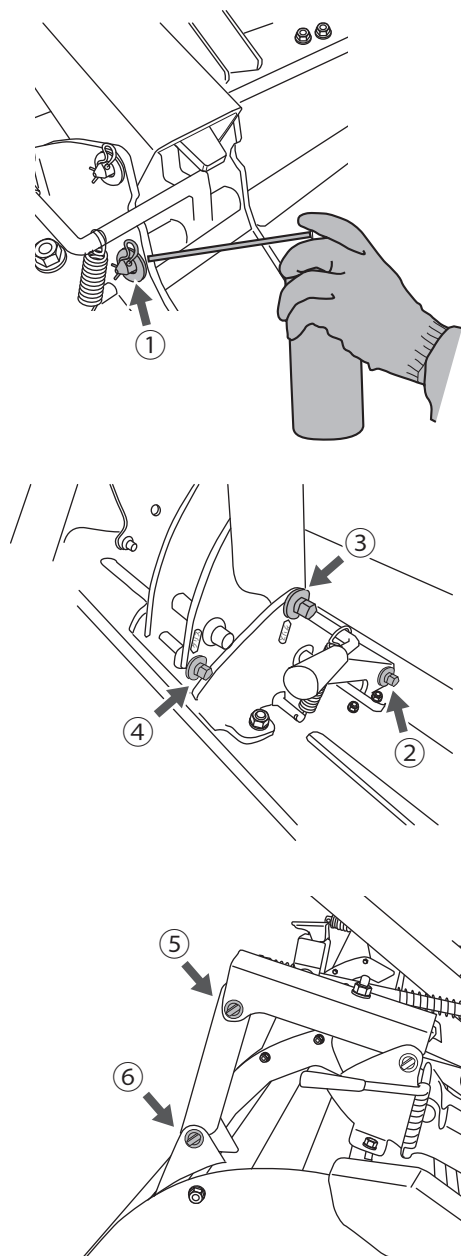


使いかた

保守・点検

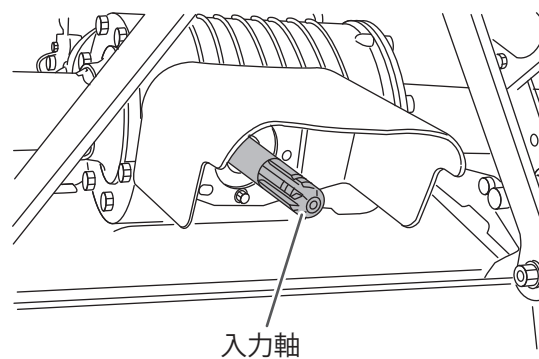
■クイックアシスト

クイックアシストのリンク各部ピン周り（下図矢印①～⑥）へは、使用時ごとにグリスを塗布します。



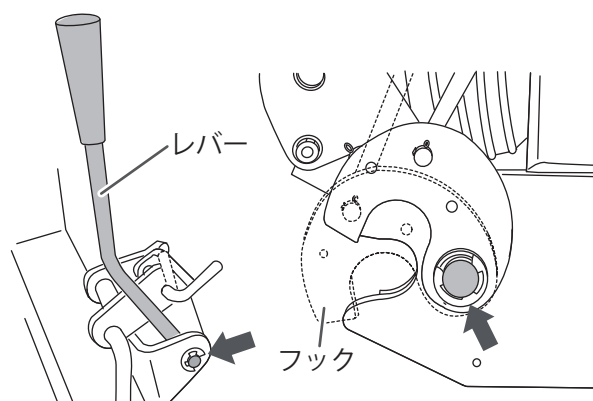
■入力軸

トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸にグリスを塗布します。



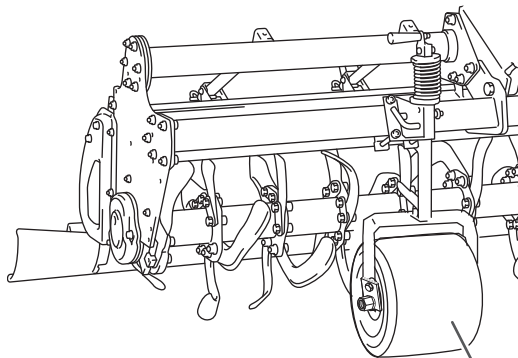
■オートヒッチアームのレバー、フック

オートヒッチアームのレバーとフックの支点部分にオイルを適量塗布します。



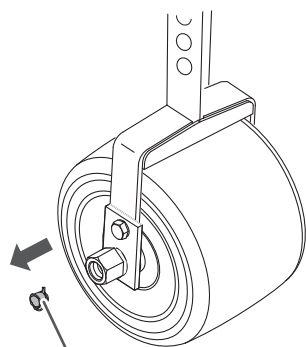
■ホイールゲージ (SRZ 仕様)

ホイールゲージのグリスニップル (ホイール 1 個あたり左右 2 か所) からグリスアップをします。



ホイールゲージ

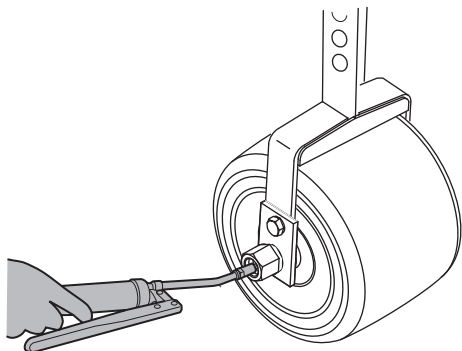
1 グリスニップルキャップを取外します。



グリスニップルキャップ

2 グリスニップルに付着している土を取除きます。

3 新しいグリスが出てくるまで、グリスニップルからグリスを注入します。



4 グリスニップルキャップを取付けます。

無塗装部へのサビ止め

無塗装部へは、サビ止めのためのグリスを塗布してください。

取扱上の注意

- ・ グリスはエピノックグリース AP(N)2 (ENEOS (株)) または同等品 (リチウムグリース) を使用してください。

エプロンのはね上げ

エプロンをはね上げて爪交換などの保守・点検作業をするとき、ワンタッチでエプロンをはね上げ自動ロックにすることができます。

⚠ 危険



必ず実行

エプロンを持ち上げる際は、作業機が落下・転倒しないよう以下の作業を行ってください。

- ・ トラクタに装着した状態で操作をする
- ・ トラクタの駐車ブレーキをかける
- ・ エンジンを停止して油圧ロックを行う
- ・ 台などを作業機の下に置く

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります

■クイックアシストを使用する場合

「クイックアシストの操作方法」(→ p.46) を参照してください。

■クイックアシストを使用しない場合

⚠ 注意



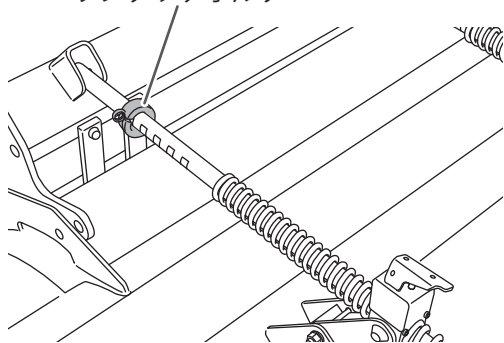
禁止

クイックアシストを使用しないでエプロンのはね上げを行う場合、アシストハンドルなどの周辺部品には触れないでください。

* ケガにつながる恐れがあります。

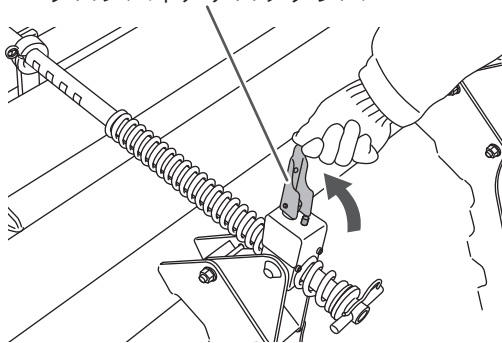
1 ワンタッチホルダを最上位置まで上げます。

ワンタッチホルダ



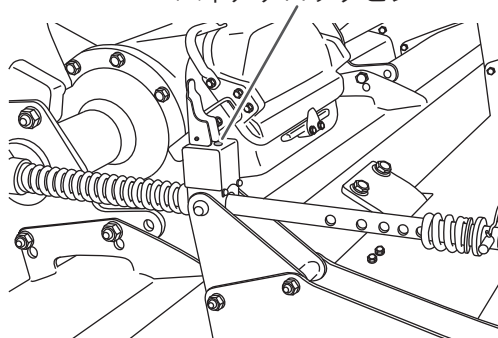
2 エプロンハネアゲロックレバー（2 か所）を図のように起こします。

エプロンハネアゲロックレバー



3 エプロンを持ち上げます。

ハネアゲロックピン



⇒ ハネアゲロックピンで自動ロックされます。

取扱上の注意

- ・ オート金具を装備しているときは、リンクしている部品を取外してください。

⚠ 注意



必ず実行

ハネアゲロックピンが2 か所すべて、ロックされていることを確認してください。

* ロックが不完全な場合、エプロンが落下してケガをする恐れがあります。

4 エプロンを下ろすときは、エプロンハネアゲロックレバー（2 か所）を倒します。

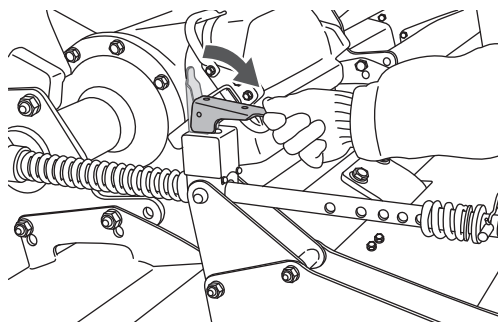
⚠ 注意



必ず実行

エプロンハネアゲロックレバーを持って、操作を行ってください。

* 指が挟まるなどのケガにつながる恐れがあります。



- 5** エプロンをしっかり支えながら、「カチッ」と音がするまでエプロンを持ち上げ、ゆっくりと下ろします。

取扱上の注意

- ・ エプロンをハネアゲロックピンではね上げた状態で、耕うん作業・路上走行・トラクタとの着脱作業を行わないでください。作業機が破損する恐れがあります。

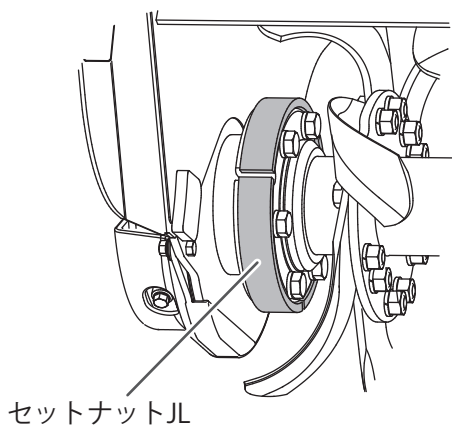
セットナット JL の交換 SRV (HJ・J仕様)

セットナット JL は爪軸取付けフランジの保護も兼ねています。

破損した場合は、早期の交換を行ってください。

取扱上の注意

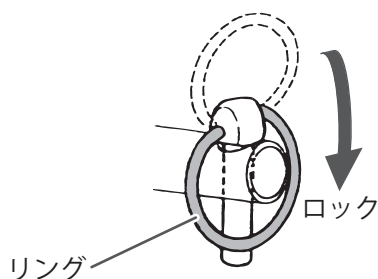
- ・ セットナット JL の交換は、必ず1つずつ順に取外し取付けを行ってください。同時に取外すと爪軸が落下する恐れがあります。



各部のボルト・ナットの点検

以下のことを確認してください。

- ・ 各部のボルト・ナット類に緩みはないか
増締めしながら確認
(特に、耕うん爪取付けボルトやマスト取付けボルトは緩みやすいため、点検が必要です。)
- ・ ピン類がすべてそろっているか
- ・ ガンマピンのリングが確実にロックされているか



耕うん爪、爪ホルダの点検

「耕うん爪の取付け」(→ p.50) に従って、以下のことを確認してください。

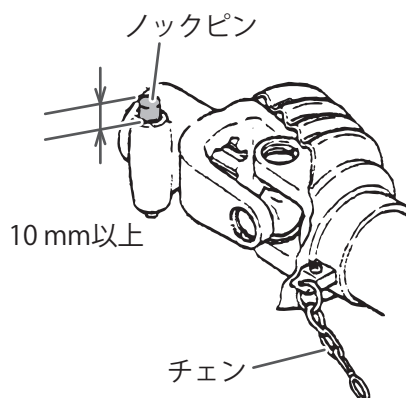
- ・ 耕うん爪が摩耗していないか
- ・ 爪ホルダが摩耗、折損していないか

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

ジョイントのノックピンの点検

トラクタ側と作業機側のノックピンについて、以下のことを確認してください。

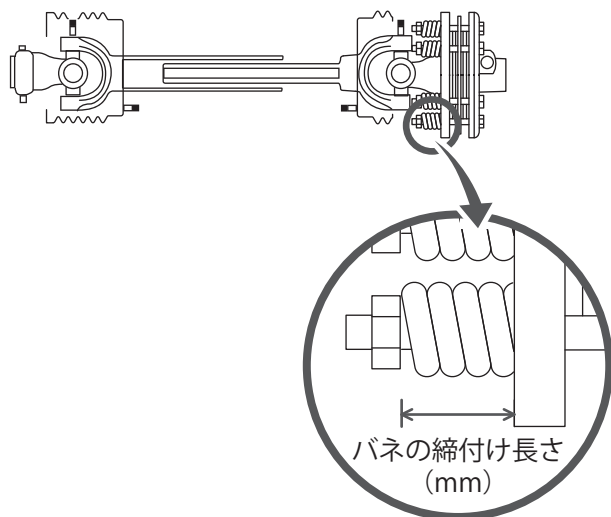
- ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



■スリップクラッチ付ジョイント (B895SA) の調整

出荷時は 2200 N・m でセットしています。使用中にクラッチ板の摩耗で設定トルクが下がるので、バネの締付け長さを確認し、調整してください。また、出荷時とバネの締付け長さを変えることで伝達トルクの設定を変更することができます。

バネの締付け長さ (mm)	30.0	29.7	29.5
伝達トルク (N・m)	1800	2200	2400



フローティングシールの保守

フローティングシールの固着を防ぐため、使用しない時期でも 1 か月に 1 回程度の頻度で、耕うん軸を手でゆっくり回して、シール面にオイルを馴染ませてください。

空転による作動確認

空転させ、各部から異音、異常振動など異常が発生していないことを確認してください。

警告表示ラベルの点検

「警告表示ラベルと機番プレート」(→ p.11) に従って、警告表示ラベルを点検してください。

- ・損傷や破損していないか
- ・汚れていないか
- ・剥がれていないか

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

消耗品の早期交換

「消耗品一覧」(→ p.74) に記載の消耗品を点検してください。

必要に応じて、新しいものと交換してください。早期の交換をお勧めします。

オイルシールの組替え

整備などの目的でチェンケースなどを分解する場合は、必ず新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットと交換してください。

新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットに交換しないと、オイル漏れの原因になります。

液状ガスケットは、スリーボンド 1208 相当品を使用してください。

フローティングシールの組替え (SRV 全仕様)

フローティングシールの組替えは、必ず別売のフローティングシールメンテナンスキット 102 (部品コード：D020007) を使用して行ってください。

詳細内容については、『組替え要領書』を参照してください。

作業機の水洗い

作業後には、作業機を水洗いし、ゴミや汚れを取除きます。水洗いが終了後、水分を拭き取ってください。

高圧洗車機を使って水洗いする場合は、十分注意してください。

高圧洗車機の使用方法を誤ると、人をケガさせたり、作業機を破損・損傷・故障させたりすることがあります。高圧洗車機の『取扱説明書』やラベルに従って、正しく使用してください。

⚠ 注意



必ず実行

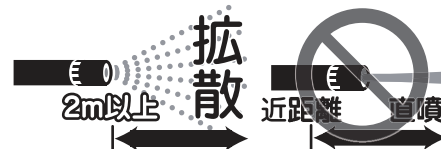
高圧洗車機で水洗いする場合

作業機を損傷させないように洗車ノズルは拡散にし、2 m 以上離して洗車してください。

* 直射や不適切に近距離から洗車すると作業機の破損・損傷・故障や事故につながる恐れがあります。

例)

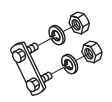
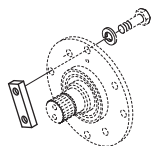
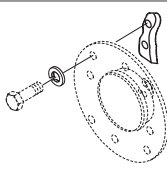
- ・ シール・ラベルの剥がれ
- ・ 樹脂類 (カバーなど) の破損
- ・ 塗装・メッキ皮膜の剥がれ

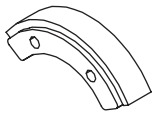
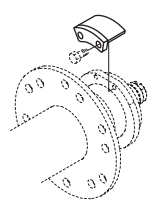
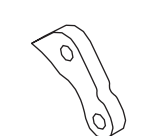


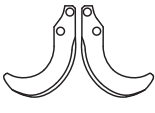
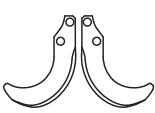
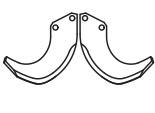
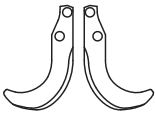
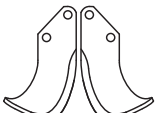
消耗品一覧

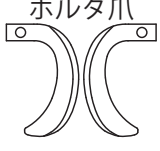
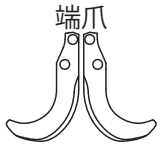
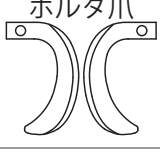
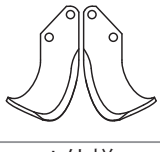
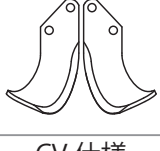
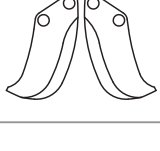
消耗部品は早めの交換をお勧めします。

当社では、お客様にご迷惑が掛からないよう消耗部品を用意しておりますが、シーズンによっては特定の部品が品薄になる場合があります。シーズン到来前の準備として、消耗部品の事前確認をして、早めの交換をお勧めします。1 台分個数の記入のないものは「耕うん爪の取付け」(→ p.50) を参照してください。

	部品名	チェーンケースシューズキット B		部品コード	5630650	1 台分個数	1
	備考	各型式共通 チェーンケースシューズと取付けボルトのセット					
	部品名	サポートシューズキット		部品コード	5630651	1 台分個数	1
	備考	各型式共通 サポートシューズと取付けボルトのセット					
	部品名	クミボルト ASSY	M16 × 39	セットコード	0050057		
	備考	耕うん軸中央部の耕うん爪取付け用					
	部品名	ツメボルト ASSY	M12 × 30 (11T)	部品コード	0050060		
	備考	SRV (HSW・KZW 仕様) ホルダ仕様爪取付け用ボルト・ナット・スプリングワッシャのセット					
	部品名	ボルト	M16 × 40	部品コード	9011961		
			M16 × 45		9011963		
			M16 × 50		9011964		
			M16 × 55		6570016		
			M16 × 60		9011967		
		スプリングワッシャ	M16		9210016		
	備考	爪軸両端部 フィードカッタなど取付け用					
	部品名	セットナット	M16	部品コード	6560064		
	備考	耕うん軸左端フランジ用					
	部品名	フィードカッタ R		部品コード	5610404		
	備考	耕うん軸右端フランジ用					

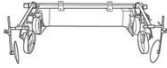
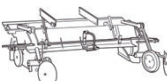
	部品名	セットナット JL	部品コード	D073073	
	備考	SRV (HJ・J仕様) 耕うん軸左端フランジ用 注) 交換の際は、「セットナット JL の交換 SRV (HJ・J仕様)」(→ p.71) の内容に従ってください。			
	部品名	フィードカッタ	部品コード	6160060	
	備考	SRV (HJ・J仕様) 耕うん軸右端フランジ用			
	部品名	フィードカッタ RV	部品コード	D073072	
	備考	SRV [HS・KZ・A・E (Z)・S・HSW・KZW仕様] 耕うん軸左端フランジ用			
	部品名	フィードカッタ RZ	部品コード	D083033	
	備考	SRZ (全仕様) 耕うん軸左端フランジ用 SRZ (HS・KZ・E仕様) 耕うん軸右端フランジ用			

HS仕様		部品名	ハイパーゼットツメ HS2995ZR ハイパーゼットツメ HS2995ZL		単品コード	50591 50592		
		耕幅	220	240	260	280	300	350
		1台分個数	RL 各 22	RL 各 24	RL 各 26	RL 各 28	RL 各 30	RL 各 34
		爪セットコード	7688S	7689S	7690S	7691S	7692S	4205S
KZ仕様		部品名	カITEキゼットツメ KZ2705R カITEキゼットツメ KZ2705L		単品コード	68521 68522		
		耕幅	220	240	260	280	300	350
		1台分個数	RL 各 22	RL 各 24	RL 各 26	RL 各 28	RL 各 30	RL 各 34
		爪セットコード	4115S	4116S	4117S	4118S	4120S	4121S
E (Z)仕様		部品名	キョウリョクゼットツメ 113EZR キョウリョクゼットツメ 113EZL		単品コード	67521 67522		
		耕幅	220	240	260	280		
		1台分個数	RL 各 22	RL 各 24	RL 各 26	RL 各 28		
		爪セットコード	6913S	6914S	6915S	5363S		
A仕様		部品名	ハイパーゼットツメ HS2596ZR ハイパーゼットツメ HS2596ZL		単品コード	50931 50932		
		耕幅	240	260	280	300		
		1台分個数	RL 各 24	RL 各 26	RL 各 28	RL 各 30		
		爪セットコード	7662S	4223S	4005S	4204S		
S仕様		部品名	Sゼットツメ SE3012ZR Sゼットツメ SE3012ZL		単品コード	68251 68252		
		耕幅	220	240	260	280	300	
		1台分個数	RL 各 22	RL 各 24	RL 各 26	RL 各 28	RL 各 30	
		爪セットコード	4264S	4265S	4266S	4268S	4269S	

HSW 仕様  端爪  ホルダ爪	部品名	ハイパーゼットツメ HS2596ZR ハイパーゼットツメ HS2596ZL			単品コード	50931 50932		
	耕幅	240	260	280	300	350		
	1 台分個数	RL 各 2	RL 各 2	RL 各 2	RL 各 2	RL 各 2		
	部品名	ハイパーゼットツメ HS2660ZR ハイパーゼットツメ HS2660ZL			単品コード	68021 68022		
	耕幅	240	260	280	300	350		
	1 台分個数	RL 各 23	RL 各 26	RL 各 28	RL 各 29	RL 各 34		
	爪セットコード (HS2596Z + HS2660Z)	7557S	4202S	4203S	7560S	7562S		
KZW 仕様  端爪  ホルダ爪	部品名	カITEキゼットツメ KZ2605R カITEキゼットツメ KZ2605L			単品コード	68511 68512		
	耕幅	240	260	280				
	1 台分個数	RL 各 2	RL 各 2	RL 各 2				
	部品名	カITEキゼットツメ KZ3545R カITEキゼットツメ KZ3545L			単品コード	68021 68022		
	耕幅	240	260	280				
	1 台分個数	RL 各 23	RL 各 26	RL 各 28				
	爪セットコード (KZ2605 + KZ3545)	4151S	4198S	4199S				
HJ 仕様  端爪	部品名	S ゼットツメ SE2412ZR S ゼットツメ SE2412ZL			単品コード	68531 68532		
	耕幅	260	280	300				
	1 台分個数	RL 各 42	RL 各 45	RL 各 48				
	爪セットコード	4128S	4129S	4130S				
J 仕様  端爪	部品名	S ゼットツメ SE3012ZR S ゼットツメ SE3012ZL			単品コード	68251 68252		
	耕幅	200	220	240	260	280	300	350
	1 台分個数	RL 各 33	RL 各 36	RL 各 39	RL 各 42	RL 各 45	RL 各 48	RL 各 54
	爪セットコード	4271S	4272S	4273S	4274S	4232S	4233S	4234S
CV 仕様  端爪	部品名	L ツメ C29130R L ツメ C29130L			単品コード	47161 47162		
	耕幅	200	220					
	1 台分個数	RL 各 24	RL 各 27					
	爪セットコード	5486S	7802S					
SV 仕様  端爪	部品名	S ツメ S30130R S ツメ S30130L			単品コード	47171 47172		
	耕幅	200	220					
	1 台分個数	RL 各 24	RL 各 27					
	爪セットコード	5616S	7774S					

アタッチメント・オプション一覧

アタッチメント・オプションを下記に示します。

用途	品名	コード No.	型式	規格 (単位)	適応型式・耕幅
取付けヒッチ	リヤーヒッチ 	4073034	RH-KR2	60 角 × 207 cm	SRV、SRZ 各 2.0 m 以上
		4070286	RH-KR2-2	60 角 × 227 cm	SRV、SRZ 各 2.4 m 以上
		【仕様】	ハンドル式高さ調整リヤーヒッチ		
			注 1) SRZ は取付ける際に、エンチョウプレートキット RH-EP (4073054) が必要 注 2) 2L ヒッチ仕様にはボルト (M16 × 70) (9011969) 6 本、U ナット (M16) (9290078) 6 個が必要		
マルチ	平うねマルチ 	4072849	RML18X		SRV201、221、241、SRZ241
		【仕様】	うね幅 70 ～ 150 cm / うね高さ 5 ～ 10 cm リヤーヒッチ RH-KR2 が必要 (別売)		
		4071242	RML18C		SRV201、221、241、SRZ241
		【仕様】	うね幅 70 ～ 150 cm / うね高さ 5 ～ 10 cm 専用取付け金具付 (リヤーヒッチ不要) 注) 2L には取付け不可		
	平高マルチ 	4071168	PHMV19C		SRV、SRZ
		【仕様】	うね幅 70 ～ 175 cm / うね高さ 25 cm エプロンはね上げ状態で作業します。 注) 2L には取付け不可		
		4071169	PHMV22C		SRV221、241、261、281、SRZ241、261、281
		【仕様】	うね幅 70 ～ 205 cm / うね高さ 25 cm エプロンはね上げ状態で作業します。 注) 2L には取付け不可		
畦際処理	サイドディスク 	4072943	SDK40KRV-L	左側	SRV
		4072944	SDK40KRV-R	右側	SRV
		4073056	SDK40KRZ-L	左側	SRZ
		4073057	SDK40KRZ-R	右側	SRZ
	サイドディスク S 	4072942	SDK40S-KRV	右側	SRV
		4073062	SDK40S-KRZ	右側	SRZ
		【仕様】	サイドディスク S は整形器付		
カゴローラ (2L だけ) EKR	油圧シリンダ 2 本タイプ 	4070471	EKR310RE-C	ローラ幅 306 cm	SRV281、SRZ281
		4070472	EKR330RE-C	ローラ幅 326 cm	SRV301、SRZ301
		4070473	EKR380RE-C	ローラ幅 376 cm	SRZ351
		【仕様】	油圧上下調整式 / トラクタ外部油圧 (複動) を使用。 注) オスカブラ 1/2 を標準装備。耕深ゲージ付き。		

使
い
か
た

ア
タ
ッ
チ
メ
ン
ト
・
オ
プ
シ
ョ
ン
一
覧

用途	品名	コード No.	型式	規格 (単位)	適応型式・耕幅
カゴローラ (2Lだけ)	カゴローラ セット 	4073241	CKR-VH250	手動ネジ式	SRV221
		4073242	CKR-VH270	手動ネジ式	SRV241、SRZ241
		4073243	CKR-VH290	手動ネジ式	SRV261、SRZ261
		4073244	CKR-VH310	手動ネジ式	SRV281、SRZ281
		4073245	CKR-VH330	手動ネジ式	SRV301、SRZ301
		4073246	CKR-VO250	油圧式	SRV221
		4073247	CKR-VO270	油圧式	SRV241、SRZ241
		4073248	CKR-VO290	油圧式	SRV261、SRZ261
		4073249	CKR-VO310	油圧式	SRV281、SRZ281
		4073250	CKR-VO330	油圧式	SRV301、SRZ301
		【仕様】	「ローラキット」「シリンダキット (油圧) または ネジキット (手動)」 「トリツケカナグキット」の3点セット		
カゴローラCKR (2Lだけ)	ローラキット センター支持 タイプ	4072950	CKR-RE25	ローラ幅 246 cm	SRV221
		4072951	CKR-RE27	ローラ幅 266 cm	SRV241
		4072952	CKR-RE29	ローラ幅 286 cm	SRV261
		4072953	CKR-RE31	ローラ幅 306 cm	SRV281、SRZ281
		4072954	CKR-RE33	ローラ幅 326 cm	SRV301、SRZ301
	シリンダキット	4070485	CKR-C4		SRV、SRZ
		【仕様】	油圧上下調整式／トラクタ外部油圧 (複動) を使用。 注) オスカブラ 1/2 を標準装備。耕深ゲージ付き。		
	ネジキット	4072571	CKR-N1	-	SRV、SRZ
	トリツケカナグ キット	4070481	CKR-TK3	-	SRV、SRZ
踏圧 防止	コールタ ASSY.L	D030049	PJV-L	-	SRV
		D040038	DJZ-L	-	SRZ
	コールタ ASSY.R 	D030052	PJV-R	-	SRV
		D040039	DJZ-R	-	SRZ
	【仕様】	左右2本づつのコールタをトラクタのタイヤ幅に合わせて取付け、タイヤ跡 を膨軟にし、踏圧を防止します。 注) カゴローラ EKR またはホイールゲージとで併用して使用します。			
移動・ 保管	スタンドキット 	8052500	RS-KV	-	SRV ※ 2L ヒッチ仕様を除く

用途	品名	コード No.	型式	規格（単位）	適応型式・耕幅		
うね立て成形	リッジヤ 	4073212	KR-L	-	SRV221、SRV241		
		4073213	KR-R	-	SRV221、SRV241		
耕うん軸回転速度調整	チェンジギヤ—	6160186	-	歯数；20	SRV		
		5610233	-	歯数；29			
		6160005	-	歯数；21	SRV		
		5610234	-	歯数；28			
		6160187	-	歯数；23	SRV		
		5610047	-	歯数；26			
		6160008	-	歯数；24	SRV		
		6160188	-	歯数；25			
		5630328	-	歯数；15	SRZ		
		5630329	-	歯数；36			
		5630330	-	歯数；16	SRZ		
		5630331	-	歯数；35			
		5630332	-	歯数；17	SRZ		
		5630333	-	歯数；34			
		5630334	-	歯数；18	SRZ		
		5630335	-	歯数；33			
		5630336	-	歯数；19	SRZ		
		5630337	-	歯数；32			
		5630338	-	歯数；20	SRZ		
		5630339	-	歯数；31			
		5630340	-	歯数；21	SRZ		
		5630341	-	歯数；30			
		5630344	-	歯数；23	SRZ		
		5630345	-	歯数；28			
		5630346	-	歯数；24	SRZ		
		5630347	-	歯数；27			
				【注意】	お選びの際は、「耕うん軸回転速度の選択」（→ p.39）に記載している組み合わせ表を確認してください。		

注) アタッチメントは取付け金具などの関係上、ロータリ型式を指定のうえ、ご注文ください。

油圧揚力 3t 未満のトラクタには装着できません。

使
い
か
た

ア
タ
ッ
チ
メ
ン
ト
・
オ
プ
シ
ョ
ン
一
覧

格納・運搬・保管

格納・運搬・保管するときは、作業機をきれいに清掃し、塗装できない箇所はサビ止めのためにグリスを塗ってください。

注意事項

保管・格納の際は、以下のことを守ってください。

⚠ 注意



必ず実行

ジョイントは、必ずチューブのオス側とメス側をいっぱいまで差込んだ状態で保管してください。

* サビついて故障し、事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

格納後は、みだりに子供などが触れないような処置をしてください。

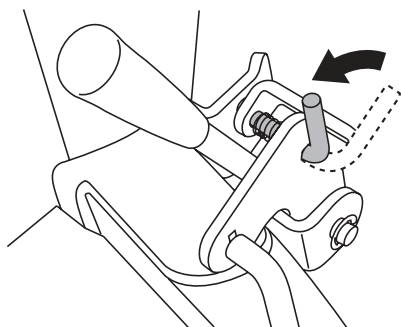
* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

オートヒッチを作業機に取付けて保管する場合は、レバーに付いているロックピンをオートヒッチアームのロックプレートに挿入し、確実にロックしてください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

雨や風があたらない、平らで固い場所に格納してください。

* 作業機が転倒し、事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。

主要諸元

ここでは各型式の主要諸元を紹介します。

型式		SRV221HST (0L、3L、4L)	SRV241HST (0L、3L、4L)	SRV261HST (0L、3L、4L)	SRV281HST (0L、3L、4L)	SRV301HST (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1315、1635、1635				
	全幅 (mm) 注1	2435	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm) 注2	1075、1240、1240				
機体質量 (kg) 注3		672、728、735	713、769、776	745、801、808	775、831、838	813、869、876
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)				
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280	300
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14
耕 う ん 爪	本数	HS2995ZL	22	24	26	28
		HS2995ZR	22	24	26	28
	回転外径 (cm)	55				
	取付け方法	フランジタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		JIS 標準 3P II形 (L ヒッチ)				
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)				

型式		SRV221HS (2L)	SRV241HS (2L)	SRV261HS (2L)	SRV281HS (2L)	SRV301HS (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1390				
	全幅 (mm) 注1	2435	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm)	1215				
機体質量 (kg) 注3		749	790	822	852	889
使用ジョイント		KG87				
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280	300
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14
耕 う ん 爪	本数	HS2995ZL	22	24	26	28
		HS2995ZR	22	24	26	28
	回転外径 (cm)	55				
	取付け方法	フランジタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		標準 3P II形 (2点オートヒッチ)				
耕深調節		前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +65 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10kg。

使
い
か
た
保
管
・
運
搬
・
格
納

必
要
に
応
じ
て
主
要
諸
元

型式			SRV221KZT (0L、3L、4L)	SRV241KZT (0L、3L、4L)	SRV261KZT (0L、3L、4L)	SRV281KZT (0L、3L、4L)	SRV301KZT (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1315、1635、1635				
	全幅 (mm) 注1		2435	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm) 注2		1075、1240、1240				
機体質量 (kg) 注3			676、732、739	717、773、780	749、805、812	780、836、843	817、873、880
使用ジョイント			-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)				
適応トラクタ	(kW)		44.1 ～ 84.6	51.5 ～ 84.6	51.5 ～ 84.6	58.8 ～ 84.6	66.2 ～ 84.6
	(PS)		60 ～ 115	70 ～ 115	70 ～ 115	80 ～ 115	90 ～ 115
標準耕幅 (cm)			220	240	260	280	300
標準耕深 (cm)			12 ～ 15				
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)			10 ～ 19	9 ～ 17	8 ～ 16	8 ～ 15	7 ～ 14
耕 う ん 爪	本数	KZ2705L	22	24	26	28	30
		KZ2705R	22	24	26	28	30
	回転外径 (cm)		55				
	取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法			サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)			540				
装着方法			JIS 標準 3P II形 (L ヒッチ)				
耕深調節			前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)				

型式			SRV221KZ (2L)	SRV241KZ (2L)	SRV261KZ (2L)	SRV281KZ (2L)	SRV301KZ (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1390				
	全幅 (mm) 注1		2435	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm)		1215				
機体質量 (kg) 注3			753	794	826	857	894
使用ジョイント			KG87				
適応トラクタ	(kW)		44.1 ～ 84.6	51.5 ～ 84.6	51.5 ～ 84.6	58.8 ～ 84.6	66.2 ～ 84.6
	(PS)		60 ～ 115	70 ～ 115	70 ～ 115	80 ～ 115	90 ～ 115
標準耕幅 (cm)			220	240	260	280	300
標準耕深 (cm)			12 ～ 15				
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)			10 ～ 19	9 ～ 17	8 ～ 16	8 ～ 15	7 ～ 14
耕 う ん 爪	本数	KZ2705L	22	24	26	28	30
		KZ2705R	22	24	26	28	30
	回転外径 (cm)		55				
	取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法			サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)			540				
装着方法			標準 3P II形 (2点オートヒッチ)				
耕深調節			前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +65 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRV221ET (0L、3L、4L)	SRV241ET (0L、3L、4L)	SRV261ET (0L、3L、4L)	SRV281ET (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1315、1655、1655			
	全幅 (mm) 注1	2435	2635	2835	3035
	全高 (mm) 注2	1075、1230、1230			
機体質量 (kg) 注3		690、746、753	732、788、795	765、821、828	798、854、861
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)			
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15
耕 う ん 爪	本数	113EZL	22	24	26
		113EZR	22	24	26
	回転外径 (cm)	58			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540			
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)			
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)			

型式		SRV221EZ (2L)	SRV241EZ (2L)	SRV261EZ (2L)	SRV281EZ (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1420			
	全幅 (mm) 注1	2435	2635	2835	3035
	全高 (mm)	1210			
機体質量 (kg) 注3		767	809	842	875
使用ジョイント		KG87			
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15
耕 う ん 爪	本数	113EZL	22	24	26
		113EZR	22	24	26
	回転外径 (cm)	58			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540			
装着方法		標準 3P II 形 (2 点オートヒッチ)			
耕深調節		前ゲージ輪			

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。
※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +70 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRV241AT (0L、3L、4L)	SRV261AT (0L、3L、4L)	SRV281AT (0L、3L、4L)	SRV301AT (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1315、1595、1595			
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm) 注2	1075、1250、1250			
機体質量 (kg) 注3		698、754、761	728、784、791	758、814、821	794、850、857
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)			
適応トラクタ	(kW)	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6
	(PS)	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115
標準耕幅 (cm)		240	260	280	300
標準耕深 (cm)		11 ~ 14			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15	6 ~ 14
耕 う ん 爪	本数	HS2596ZL	24	26	28
		HS2596ZR	24	26	28
	回転外径 (cm)	51			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540			
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)			
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)			

型式		SRV241A (2L)	SRV261A (2L)	SRV281A (2L)	SRV301A (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1370			
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm)	1220			
機体質量 (kg) 注3		775	805	835	864
使用ジョイント		KG87			
適応トラクタ	(kW)	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6
	(PS)	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115
標準耕幅 (cm)		240	260	280	300
標準耕深 (cm)		11 ~ 14			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15	6 ~ 14
耕 う ん 爪	本数	HS2596ZL	24	26	28
		HS2596ZR	24	26	28
	回転外径 (cm)	51			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540			
装着方法		標準 3P II 形 (2 点オートヒッチ)			
耕深調節		前ゲージ輪			

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +60mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式			SRV221S (2L)	SRV241S (2L)	SRV261S (2L)	SRV281S (2L)	SRV301S (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1375				
	全幅 (mm) 注1		2435	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm)		1215				
機体質量 (kg) 注2			755	795	826	857	894
使用ジョイント			KG87				
適応トラクタ	(kW)		44.1 ～ 88.3	51.5 ～ 88.3	51.5 ～ 88.3	58.8 ～ 88.3	66.2 ～ 88.3
	(PS)		60 ～ 120	70 ～ 120	70 ～ 120	80 ～ 120	90 ～ 120
標準耕幅 (cm)			220	240	260	280	300
標準耕深 (cm)			12 ～ 15				
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)			10 ～ 19	9 ～ 17	8 ～ 16	8 ～ 15	7 ～ 14
耕 う ん 爪	本数	SE3012ZL	22	24	26	28	30
		SE3012ZR	22	24	26	28	30
	回転外径 (cm)		52				
	取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法			サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)			540				
装着方法			標準 3P Ⅱ形 (2点オートヒッチ)				
耕深調節			前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRV241HSWT (0L、3L、4L)	SRV261HSWT (0L、3L、4L)	SRV281HSWT (0L、3L、4L)	SRV301HSWT (0L、3L、4L)	SRV351HSWT (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1315、1610、1610				
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035	3235	3735
	全高 (mm) 注2	1075、1250、1250				
機体質量 (kg) 注3		659、715、722	688、744、751	714、770、777	744、800、807	831、887、894
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)				
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115	90 ~ 115
標準耕幅 (cm)		240	260	280	300	350
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	6 ~ 12
耕 う ん 爪	本数	HS2660Z	23・23	26・26	28・28	29・29
	(左・右)	HS2596Z	2・2	2・2	2・2	2・2
	回転外径 (cm)	52				53
	取付け方法	ホルダタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)				
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)				

型式		SRV241KZWT (0L、3L、4L)	SRV261KZWT (0L、3L、4L)	SRV281KZWT (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1315、1595、1595		
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035
	全高 (mm) 注2	1075、1250、1250		
機体質量 (kg) 注3		656、712、719	685、741、748	710、766、773
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)		
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6
	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15
耕 う ん 爪	本数	KZ3545	23・23	26・26
	(左・右)	KZ2605	2・2	2・2
	回転外径 (cm)	51		
	取付け方法	ホルダタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		540		
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)		
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)		

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +60 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式			SRV201J (2L)	SRV221J (2L)	SRV241J (2L)	SRV261J (2L)	SRV281J (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1380				
	全幅 (mm) 注1		2235	2435	2635	2835	3035
	全高 (mm)		1215				
機体質量 (kg) 注2			776	812	856	892	927
使用ジョイント			KG87				
適応トラクタ	(kW)		44.1 ～ 88.3	44.1 ～ 88.3	51.5 ～ 88.3	51.5 ～ 88.3	58.8 ～ 88.3
	(PS)		60 ～ 120	60 ～ 120	70 ～ 120	70 ～ 120	80 ～ 120
標準耕幅 (cm)			200	220	240	260	280
標準耕深 (cm)			12 ～ 15				
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 5.0				
耕うん作業能率 (分/10a)			8 ～ 20	8 ～ 19	7 ～ 17	7 ～ 16	6 ～ 15
耕 う ん 爪	本数	SE3012ZL	33	36	39	42	45
		SE3012ZR	33	36	39	42	45
	回転外径 (cm)		54				
	取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法			サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)			540				
装着方法			標準 3P Ⅱ形 (2点オートヒッチ)				
耕深調節			前ゲージ輪				

型式			SRV261HJ (2L)	SRV281HJ (2L)	SRV301HJ (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1370		
	全幅 (mm) 注1		2835	3035	3235
	全高 (mm)		1220		
機体質量 (kg) 注2			880	914	954
使用ジョイント			KG87		
適応トラクタ	(kW)		51.5 ～ 88.3	58.8 ～ 88.3	66.2 ～ 88.3
	(PS)		70 ～ 120	80 ～ 120	90 ～ 120
標準耕幅 (cm)			260	280	300
標準耕深 (cm)			11 ～ 14		
標準作業速度 (km/h)			3.0 ～ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)			7 ～ 11	6 ～ 10	6 ～ 9
耕 う ん 爪	本数	SE2412ZL	42	45	48
		SE2412ZR	42	45	48
	回転外径 (cm)		51		
	取付け方法		フランジタイプ		
駆動方法			サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)			540		
装着方法			標準 3P Ⅱ形 (2点オートヒッチ)		
耕深調節			前ゲージ輪		

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRV201CV (2L)	SRV221CV (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1410	
	全幅 (mm) 注1	2235	2435
	全高 (mm)	1210	
機体質量 (kg) 注2		761	799
使用ジョイント		B895SA	
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 80.9	51.5 ~ 80.9
	(PS)	60 ~ 110	70 ~ 110
標準耕幅 (cm)		200	220
標準耕深 (cm)		12 ~ 15	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		14 ~ 20	13 ~ 19
耕 う ん 爪	本数	C29130L	24
		C29130R	24
	回転外径 (cm)	57	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3P II形 (2点オートヒッチ)	
耕深調節		前ゲージ輪	

型式		SRV201SV (2L)	SRV221SV (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1400	
	全幅 (mm) 注1	2235	2435
	全高 (mm)	1210	
機体質量 (kg) 注2		753	790
使用ジョイント		B895SA	
適応トラクタ	(kW)	44.1 ~ 80.9	51.5 ~ 80.9
	(PS)	60 ~ 110	70 ~ 110
標準耕幅 (cm)		200	220
標準耕深 (cm)		12 ~ 15	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		14 ~ 20	13 ~ 19
耕 う ん 爪	本数	S30130L	24
		S30130R	24
	回転外径 (cm)	56	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3P II形 (2点オートヒッチ)	
耕深調節		前ゲージ輪	

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注2：公道走行対応型式（N仕様）は +10 kg。

型式			SRZ241HST (0L、3L、4L)	SRZ261HST (0L、3L、4L)	SRZ281HST (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1310、1630、1630		
	全幅 (mm) 注1		2635	2835	3035
	全高 (mm) 注2		1120、1285、1285		
機体質量 (kg) 注3			798、854、861	832、888、895	865、921、928
使用ジョイント			-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)		
適応トラクタ	(kW)		66.2 ～ 103.0	66.2 ～ 103.0	69.9 ～ 103.0
	(PS)		90 ～ 140	90 ～ 140	95 ～ 140
標準耕幅 (cm)			240	260	280
標準耕深 (cm)			12 ～ 15		
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 4.0		
耕うん作業能率 (分/10a)			9 ～ 17	8 ～ 16	8 ～ 15
耕 う ん 爪	本数	HS2995ZL	24	26	28
		HS2995ZR	24	26	28
	回転外径 (cm)		58		
	取付け方法		フランジタイプ		
駆動方法			サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)			1000		
装着方法			JIS 標準 3P Ⅱ形 (L ヒッチ)		
耕深調節			前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)		

型式			SRZ241HS (2L)	SRZ261HS (2L)	SRZ281HS (2L)	SRZ301HS (2L)	SRZ351HS (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)		1375				
	全幅 (mm) 注1		2635	2835	3035	3235	3735
	全高 (mm)		1270				
機体質量 (kg) 注3			883	917	950	990	1096
使用ジョイント			KG87				KGD91
適応トラクタ	(kW)		66.2 ～ 103.0	66.2 ～ 103.0	69.9 ～ 103.0	73.5 ～ 103.0	73.5 ～ 103.0
	(PS)		90 ～ 140	90 ～ 140	95 ～ 140	100 ～ 140	100 ～ 140
標準耕幅 (cm)			240	260	280	300	350
標準耕深 (cm)			12 ～ 15				
標準作業速度 (km/h)			2.0 ～ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)			9 ～ 17	8 ～ 16	8 ～ 15	7 ～ 14	6 ～ 12
耕 う ん 爪	本数	HS2995ZL	24	26	28	30	36
		HS2995ZR	24	26	28	30	36
	回転外径 (cm)		58				
	取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法			サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)			1000				
装着方法			標準 3P II形 (2点オートヒッチ)				標準 3P II・III N形カラー (2 点オートヒッチ)
耕深調節			前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +65 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRZ241KZT (0L、3L、4L)	SRZ261KZT (0L、3L、4L)	SRZ281KZT (0L、3L、4L)
機体寸法	全長 (mm)	1310、1630、1630		
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035
	全高 (mm) 注2	1120、1285、1285		
機体質量 (kg) 注3		802、858、865	836、892、899	869、925、932
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)		
適応トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0
	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15
耕うん爪	本数	KZ2705L	24	28
		KZ2705R	24	28
	回転外径 (cm)	58		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		1000		
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)		
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)		

型式		SRZ241KZ (2L)	SRZ261KZ (2L)	SRZ281KZ (2L)	SRZ301KZ (2L)	SRZ351KZ (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1375				
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035	3235	3735
	全高 (mm)	1270				
機体質量 (kg) 注3		887	921	955	995	1102
使用ジョイント		KG87				KGD91
適応トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0
	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140	100 ~ 140	100 ~ 140
標準耕幅 (cm)		240	260	280	300	350
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	6 ~ 12
耕うん爪	本数	KZ2705L	24	26	28	30
		KZ2705R	24	26	28	30
	回転外径 (cm)	58				
	取付け方法	フランジタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		1000				
装着方法		標準 3P II 形 (2 点オートヒッチ)				標準 3P II・III N 形カラー (2 点オートヒッチ)
耕深調節		前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +65 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRZ241ET (0L、3L、4L)	SRZ261ET (0L、3L、4L)	SRZ281ET (0L、3L、4L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1310、1650、1650		
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035
	全高 (mm) 注2	1120、1280、1280		
機体質量 (kg) 注3		817、873、880	853、909、916	887、943、950
使用ジョイント		-、KGC80 (3L)、KGC79M (4L)		
適応トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0
	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15
耕 う ん 爪	本数	113EZL	24	26
		113EZR	24	26
	回転外径 (cm)	60		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		1000		
装着方法		JIS 標準 3P II 形 (L ヒッチ)		
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)		

型式		SRZ241E (2L)	SRZ261E (2L)	SRZ281E (2L)	SRZ301E (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1390			
	全幅 (mm) 注1	2635	2835	3035	3235
	全高 (mm)	1270			
機体質量 (kg) 注3		902	938	972	1014
使用ジョイント		KG87			
適応トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0
	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140	100 ~ 140
標準耕幅 (cm)		240	260	280	300
標準耕深 (cm)		12 ~ 15			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14
耕 う ん 爪	本数	113EZL	24	26	30
		113EZR	24	26	30
	回転外径 (cm)	60			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		1000			
装着方法		標準 3P II 形 (2 点オートヒッチ)			
耕深調節		前ゲージ輪			

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：0L だけ、公道走行対応型式 (N 仕様) は +70 mm。注 3：公道走行対応型式 (N 仕様) は +10 kg。

型式		SRZ281J (2L)	SRZ301J (2L)	SRZ351J (2L)
機 体 寸 法	全長 (mm)	1370		
	全幅 (mm) 注1	3035	3235	3735
	全高 (mm)	1270		
機体質量 (kg) 注2		1041	1086	1180
使用ジョイント		KG87		KGD91
適応トラクタ	(kW)	69.9 ~ 117.7	73.5 ~ 117.7	73.5 ~ 117.7
	(PS)	95 ~ 160	100 ~ 160	100 ~ 160
標準耕幅 (cm)		280	300	350
標準耕深 (cm)		15 ~ 18		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		6 ~ 15	6 ~ 14	5 ~ 12
耕 う ん 爪	本数	SE3012ZL	48	54
		SE3012ZR	48	54
	回転外径 (cm)	56		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		1000		
装着方法		標準 3P II形 (2点オートヒッチ)		標準 3P II・III N形 カラー (2点オートヒッチ)
耕深調節		前ゲージ輪		

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。

注 1：EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2：公道走行対応型式（N 仕様）は +10 kg。

トラクタ別装着表 0L、3L、4L (JIS規格)

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意



装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

必ず実行

* ケガ・破損につながる恐れがあります。

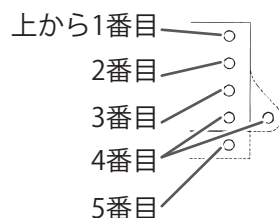


ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などして作業してください。

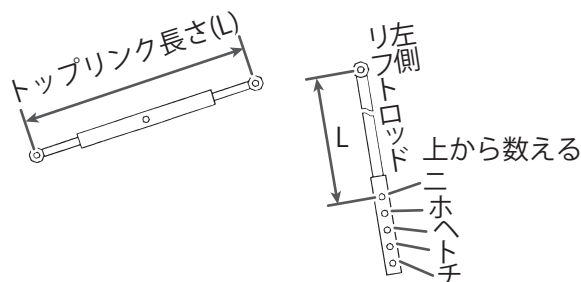
必ず実行

* ケガ・破損につながる恐れがあります。

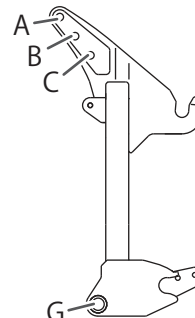
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



トラクタ側から数える

SRV・SRZ T-4L/3L 仕様

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備 考
	トップリンク取付け穴	ロアリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MR600・650・700H	4	イ	へ	570	B	G		30	- ロアピン内向き - ロアリンク長さ標準仕様
MR650-PC・700-PC	4	イ	へ	570	B	G		30	- ロアピン内向き - ロアリンク長さ標準仕様

必要に応じて

トラクタ別装着表
(0L、3L、4L JIS規格)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MR800(H)・900(H)・ 1000(H)・1050H	4	イ	△ L=617	610	B	G			モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴）
MR800(H)-PC・ 900(H)-PC・ 1000(H)-PC・ 1050H-PC	4	イ	△ L=617	610	B	G			モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴）
M100GE・110GE・115GE・ 125GE・135GE	3	□	ホ L=722	675	A	G	KGC84M に交換		
M110GE-PC・ 125GE-PC・135GE-PC	3	□	ホ L=722	675	A	G	KGC84M に交換		
M1060W	3	□	L=575	660	A	G			
M860W-SE・ 1010W-SE	3	イ	△ L=617	670	A	G			・ PTO540 rpm 仕様のため、SRZ 適応不可 ・ ジョイント異音時 PTO 切 ・ モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴）
M720W	3	イ	L=480	630	A	G		30	
YT460A・465A	4	イ	ホ	620	B	G			
YT472A	3	イ	ホ	540	B	G		30	
YT465AD・472AD	3	イ	ホ	540	B	G		30	
YT472AC	3	イ	ホ	540	C	G			
YT488R・498R・4104R	3	イ	ホ	600	B	G			
YT488RD・498RD・ 4104RD	3	イ	ホ	600	B	G			
YT5114R	3	イ	ホ	650	A	G			
YT5114RD	3	イ	ホ	650	A	G			
YT5114RC	2	イ	二	610	B	G			ジョイント異音時 PTO 切

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
TJV655・755	3	イ	ホ L=535	550	A	G			TJV755 は ZWX,GWD 型式 だけ
TJV655C・755C	3	イ	へ	550	A	G			
TJV755L・885・985	4	イ	ホ L=535	650	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
TJV885C・985C	4	イ	ホ L=535	650	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
TJX743・873・973(WX)	3	口	ホ	590	A	G			PTO540 rpm 仕 様のため、SRZ 適応不可
TJX743C(WX)	3	口	へ	590	A	G			
TJX743・873・ 973(WX 以外)	4	口	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	- SRZ 適応は WD 仕様に限る - クイックヒッ チタイプの トップリンク・ ロアリンク水 平制御なし
TJX743C(WD)	4	口	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	- クイックヒッ チタイプの トップリンク - ロアリンク水 平制御なし
TJW1153・1233	3	イ	ホ L=565	650	A	G			ロアリンク最奥 の穴はスタビラ イザ取付け用(ナ ロー用)の穴の ため、リフトロ ッド取付け位置注 意のこと
TJW1153C・1233C	3	イ	ホ L=565	650	A	G			ロアリンク最奥 の穴はスタビラ イザ取付け用(ナ ロー用)の穴の ため、リフトロ ッド取付け位置注 意のこと
TA-C1130	2	イ	二	610	B	G			- ジョイント異 音時 PTO 切 - ヤンマー OEM YT5113AC
TA-C1380	2	イ	二	710	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱マヒンドラ 農機 OEM GCR1380
GV601・651・701	4	イ	へ	570	B	G		30	- ロアピン内向 き - クボタ OEM MR600・650・ 700 - ロアリンク長 さ標準仕様

必要に応じて

トラクタ別装着表
0L、3L、4L (JIS 規格)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
GVK651・701	4	イ	へ	570	B	G		30	・ロアピン内向き ・クボタ OEM MR650PC・700PC ・ロアリンク長さ標準仕様
GV800・900・1000・1050	4	イ	へ L=617	610	B	G			・モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴） ・クボタ OEM MR800・900・1000・1050
GVK800・900・1000・1050	4	イ	へ L=617	610	B	G			・モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴） ・クボタ OEM MR800PC・900PC・1000PC・1050PC
GR100F・110F・115F・125F・135F	3	口	ホ L=722	675	A	G	KGC84M に交換		クボタ OEM M100GE・110GE・115GE・125GE・135GE
GCR1130	2	イ	二	610	B	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・ヤンマー OEM YT5113AC
GCR1380	2	イ	二	710	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MF4506J・4507J	3	イ	ホ L=535	550	A	G			・MF4507J は ZWX,GWD 型式だけ ・井関 OEM TJV655・755 (ZWX,GWD 型式だけ)
MF4507J・4508J・4509J	4	イ	ホ L=535	650	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	井関 OEM TJV755・885・985
MF1775M・1785M・1795M(WX)	3	口	ホ	590	A	G			・PTO540 rpm 仕様のため、SRZ 適応不可 ・井関 OEM TJX743・873・973(WX)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MF1775M・1785M・ 1795M(WX 以外)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	- SRZ 適応は WD 仕様に限る - クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアリンク - 水平制御なし - 井関 OEM TJX743・873・ 973(WX 以外)
T2.65	4	イ	へ	570	B	G		30	- ロアピン内向き - クボタ OEM MR65
MF4709	1	イ	L=640	700	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF5710	2	イ	L=700	700	A	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF5711SL・5713SL	3	イ	L=700	660	A	G	KGC84M に交換		ジョイント異音 時 PTO 切
MF5608・5609・5610	2	イ	L=670	680	A	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF6445・6455・6460・ 6470	4	イ	L=690	640	A	G		30	
MF6465・6475・6480	4	イ	L=720	680	A	G			
T4.75	3	イ	L=513	710	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T4.85・4.95・4.105・ 4.115	3	イ	L=650	660	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T5.95・5.105・5.115	2	イ	L=620	650	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T4030・4040	2	□	L=670	600	A	G		40	
T5050・5060・5070	2	イ	L=595	635	B	G		40	
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta	2	□	L=750	710	A	G	KGC84M に交換		
T6020Elite・6030Plus・ T6060Elite	2	□	L=810	720	A	G	KGC84M に交換		
JD5100R	3	イ	L=740	600	A	G		30	
JD6090MC・6100MC・ 6110MC(～2017) JD6090RC・6100RC・ 6110RC(～2017)	3	イ	L=740	600	B	G		30	ジョイント異音 時 PTO 切
JD6115M・6125M(～ 2017)	3	イ	L=715	610	B	G			
JD6105R・6115R(～ 2017)	3	□	L=890	670	A	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表
0L、3L、4L (JIS 規格)

トラクタ別装着表 2L

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意



装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

必ず実行

* ケガ・破損につながる恐れがあります。

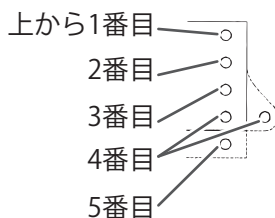


ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などとして作業してください。

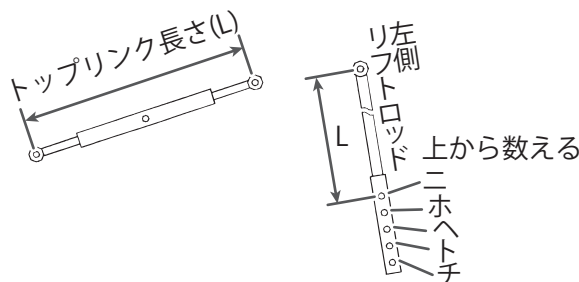
必ず実行

* ケガ・破損につながる恐れがあります。

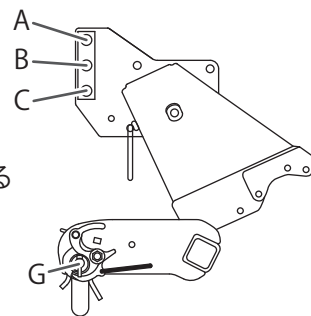
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



トラクタ側から数える

SRV -2L 仕様

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備 考
	トップリンク取付け穴	ロアリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
MR600・650・700H	1	イ	へ	570	B	G		50	- ジョイント異音時 PTO 切 - ロアリンクチェックチェンと後輪が干渉しそうな場合、Ⅰ・Ⅱ形 2L オートヒッチバーに変更してください (内ピン取付け) - ロアリンク長さ標準仕様

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
MR650-PC・700-PC	1	イ	へ	560	C	G		50	- ジョイント異音時 PTO 切 - ロアリンクチェックチェーンと後輪が干渉しそうな場合、Ⅰ・Ⅱ形 2L オートヒッチバーに変更してください (内ピン取付け) - ロアリンク長さ標準仕様
MR800(H)・900(H)・1000(H)・1050H	2	イ	へ L=617	650	C	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと (モンロシリンダ側は二穴)
MR800(H)-PC・900(H)-PC・1000(H)-PC・1050H-PC	2	イ	へ L=617	650	C	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと (モンロシリンダ側は二穴)
M100GE・110GE・115GE	1	□	ホ L=722	750	B	G			ジョイント異音時 PTO 切
M110GE-PC	1	□	ホ L=722	750	B	G			ジョイント異音時 PTO 切
M1060W	1	□	L=575	730	C	G			ジョイント異音時 PTO 切
M860W-SE・1010W-SE	1	□	へ L=617	730	A	G		50	- ジョイント異音時 PTO 切 - モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと (モンロシリンダ側は二穴)
M720W	1	イ	L=480	680	C	G		50	ジョイント異音時 PTO 切
YT460A・465A	2	イ	ホ	600	B	G			ジョイント異音時 PTO 切

必要に応じて

2L
トラクタ別装着表

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
YT472A	2	イ	ホ	590	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT465AD・472AD	2	イ	ホ	590	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT472AC	2	イ	ニ	560	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT488R・498R・4104R	1	イ	ニ	690	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT488RD・498RD・ 4104RD	1	イ	ニ	690	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114R	2	イ	ニ	730	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114RD	2	イ	ニ	730	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114RC	1	イ	ニ	700	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV655・755	3	イ	ホ L=535	590	C	G			・ ジョイント異 音時 PTO 切 ・ TJV755 は ZWX,GWD 型 式だけ
TJV655C・755C	3	イ	ヘ	590	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV755L・885・985	1	イ	ホ L=535	760	A	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV885C・985C	1	イ	ホ L=535	760	A	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743・873・973(WX)	1	イ	ホ	670	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743C(WX)	1	イ	ホ	670	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743・873・ 973(WX 以外)	1	イ	L=530	750	C	G			・ ジョイント異 音時 PTO 切 ・ クイックヒッ チタイプの トップリンク・ ロアリンク ・ 水平制御なし
TJX743C(WD)	1	イ	L=570	750	C	G			・ ジョイント異 音時 PTO 切 ・ クイックヒッ チタイプの トップリンク ・ ロアリンク水 平制御なし
TA-C1130	1	イ	ニ	700	B	G			・ ジョイント異 音時 PTO 切 ・ ヤンマー OEM YT5113AC

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
GV601・651・701	1	イ	へ	570	B	G		50	・ジョイント異音時 PTO 切 ・ロアリンクチェックチェーンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形 2L オートヒッチバーに変更してください (内ピン取付け) ・クボタ OEM MR600・650・700
GVK651・701	1	イ	へ	560	C	G		50	・ジョイント異音時 PTO 切 ・ロアリンクチェックチェーンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形 2L オートヒッチバーに変更してください (内ピン取付け) ・クボタ OEM MR650PC・700PC
GV800・900・1000・1050	2	イ	へ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと (モンロシリンダ側は二穴) ・クボタ OEM MR800・900・1000・1050

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備 考
	トップリンク 取付け穴	ロアリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
GVK800・900・1000・1050	2	イ	△ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の場合、リフトロッド穴数が左右で異なるので注意のこと（モンロシリンダ側は二穴） ・クボタ OEM MR800PC・900PC・1000PC・1050PC
GR100F・110F・115F	1	ロ	ホ L=722	750	B	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・クボタ OEM M100GE・110GE・115GE・125GE・135GE
GCR1130	1	イ	二	700	B	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・ヤンマー OEM YT5113AC
MF4506J・4507J	3	イ	ホ L=535	590	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・MF4507J は ZWX,GWD 型式だけ ・井関 OEM TJV655・755(ZWX,GWD 型式だけ)
MF4507J・4508J・4509J	1	イ	ホ L=535	760	A	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・井関 OEM TJV755・885・985
MF1775M・1785M・1795M(WX)	1	イ	ホ	670	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・井関 OEM TJX743・873・973(WX)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
MF1775M・1785M・ 1795M(WX 以外)	1	イ	L=530	750	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアリンク ・水平制御なし ・井関 OEM TJX743・873・ 973(WX 以外)
T2.65	1	イ	へ	570	B	G		50	・ジョイント異音時 PTO 切 ・ロアリンク チェックチェンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形 2L オートヒッチバーに変更 してください (内ピン取付け) ・クボタ OEM MR65
MF4709	1	イ	L=640	730	C	G		30	
MF5710	1	イ	L=695	760	B	G			
MF5711SL	2	イ	L=700	760	B	G			
MF5608・5609・5610	1	イ	L=680	760	A	G			
MF6445・6455・ 6460・6470	1	イ	L=670	670	A	G		50	
MF6465	1	イ	L=720	730	A	G			
T4.75	1	イ	L=510	730	C	G			
T4.85・4.95・4.105・ 4.115	1	イ	L=650	740	A	G			
T5.95・5.105・5.115	1	イ	L=620	700	B	G		50	
T4030・4040	1	イ	L=620	710	B	G		50	
T5050・5060・5070	1	イ	L=595	700	B	G		50	
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta	1	口	L=760	790	B	G			
T6030Plus	1	口	L=790	800	B	G			

必要に応じて

21
トラクタ別装着表

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV	
							KG87	B895SA	
JD5100R	1	イ	L=740	700	B	G		50	
JD6090MC・6100MC・ 6110MC(～2017) JD6090RC・ 6100RC(～2017)	1	イ	L=740	650	B	G		50	

SRZ -2L 仕様

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	350J	
							KG87	KGD91A	
MR900(H)・1000(H)・ 1050H	2	イ	△ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の 場合、リフト ロッド穴数が 左右で異なる ので注意のこと (モンロシリ ンダ側は二 穴)
MR900(H)-PC・ 1000(H)-PC・ 1050H-PC	2	イ	△ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の 場合、リフト ロッド穴数が 左右で異なる ので注意のこと (モンロシリ ンダ側は二 穴)
M100GE・110GE・115GE・ 125GE・135GE	1	□	ホ L=722	750	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M110GE-PC・ 125GE-PC・135GE-PC	1	□	ホ L=722	750	B	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M1060W	1	□	L=575	730	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M7-132	1	イ	L=800	780	A	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT498R・4104R	1	イ	二	690	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT498RD・4104RD	1	イ	二	690	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114R	2	イ	二	730	C	G			ジョイント異音 時 PTO 切

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	350J	
							KG87	KGD91A	
YT5114RD	2	イ	ニ	730	C	G			ジョイント異音時 PTO 切
YT5114RC	1	イ	ニ	700	B	G			ジョイント異音時 PTO 切
TJV985	1	イ	ホ L=535	760	A	G			ジョイント異音時 PTO 切
TJV985C	1	イ	ホ L=535	760	A	G			ジョイント異音時 PTO 切
TJX873・973(WD)	1	イ	L=530	750	C	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - クイックヒッチタイプのトップリンク・ロアリンク - 水平制御なし
TJW1153・1233	1	イ	ホ L=565	720	C	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - ロアリンク最奥の穴はスタビライザ取付け用（ナロー用）の穴のため、リフトロッド取付け位置注意のこと
TJW1153C・1233C・1303C	1	イ	ホ L=565	720	C	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - ロアリンク最奥の穴はスタビライザ取付け用（ナロー用）の穴のため、リフトロッド取付け位置注意のこと
TA-C1130	1	イ	ニ	700	B	G			- ジョイント異音時 PTO 切 - ヤンマー OEM YT5113AC
TA-C1380	2	イ	ニ	730	B	G	KG97 に交換	KGD106A に交換	- ジョイント異音時 PTO 切 - 三菱マヒンドラ農機 OEM GCR1380

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備 考
	トップリンク 取付け穴	ロアリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	350J	
							KG87	KGD91A	
GV900・1000・1050	2	イ	△ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の 場合、リフト ロッド穴数が 左右で異なる ので注意のこと (モンロシリ ンダ側は二 穴) ・クボタ OEM MR900・1000・ 1050
GVK900・1000・1050	2	イ	△ L=617	650	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・モンロ仕様の 場合、リフト ロッド穴数が 左右で異なる ので注意のこと (モンロシリ ンダ側は二 穴) ・クボタ OEM MR900PC・ 1000PC・ 1050PC
GR100F・110F・115F・ 125F・135F	1	ロ	ホ L=722	750	B	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・クボタ OEM M100GE・ 110GE・115GE・ 125GE・135GE
GCR1130	1	イ	二	700	B	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・ヤンマー OEM YT5113AC
GCR1380	2	イ	二	730	B	G	KG97 に交換	KGD106A に交換	ジョイント異音時 PTO 切
MF4509J	1	イ	ホ L=535	760	A	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・井関 OEM TJV985
MF1785M・ 1795M(WD)	1	イ	L=530	750	C	G			・ジョイント異音時 PTO 切 ・クイックヒッ チタイプの トップリンク・ ロアリンク ・水平制御なし ・井関 OEM TJX873・ 973(WD)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	350J	
							KG87	KGD91A	
MF4709	1	イ	L=640	730	C	G			
MF5710	1	イ	L=695	760	B	G			
MF5711SL・5713SL	2	イ	L=700	760	B	G			
MF5609・5610	1	イ	L=660	760	A	G			
MF6613	1	イ	L=715	730	C	G			
MF6455・6460・6470	1	イ	L=670	670	A	G		30	
MF6465・6475・6480	1	イ	L=720	730	A	G			
MF6485・6490	2	イ	L=900	800	C	G			
MF7614	1	イ	L=720	710	A	G			
MF7485・7490	1	イ	L=700	860	A	G		KGD106A に交換	
T4.95・4.105・4.115	1	イ	L=650	740	A	G			
T5.95・5.105・5.115	1	イ	L=620	700	B	G		30	
T6.140・6.150	1	□	L=770	790	C	G			
T5050・5060・5070	1	イ	L=595	700	B	G			
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta T6050Delta・6070Delta	1	□	L=760	790	B	G			
T6020Elite・T6060Elite T6030Plus・T6070Plus	1	□	L=790	800	B	G			
T6050RC・6070RC・ 6080RC	1	□	L=800	800	B	G			
T6080PC	1	□	L=800	800	B	G			
JD5100R	1	イ	L=740	700	A	G		30	
JD6130R(2017 ~)	1	イ	L=890	740	B	G			
JD6105R・6115R・ 6125R・ 6130R(~ 2017)	1	イ	L=890	740	B	G			
JD6115M・ 6125M(~ 2017)	2	イ	L=700	650	A	G		30	
JD6130M・6140M・ 6150M(~ 2017)	1	イ	L=940	700	B	G		30	

必要に応じて

2L
トラクタ別装着表

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	350J	
							KG87	KGD91A	
JD6090MC・6100MC・ 6110MC(～2017) JD6090RC・6100RC・ 6110RC(～2017)	1	イ	L=740	650	B	G		30	

フロントウエイト装着表

このフロントウエイト装着表は、作業性能を発揮するための必要ウエイト量を示します。

作業機を装着して道路走行する際は、表示のウエイト以上に必要な場合がありますので注意してください。

作業機を装着して道路走行する場合のウエイト量は下記ホームページより確認してください。

一般社団法人 日本農業機械工業会ホームページアドレス <http://www.jfmma.or.jp/>

下表には作業性能に最低限必要なフロントウエイト枚数を示しています。

また、"-" はフロントウエイト不要、グレー部は適応外を示します。

トラクタメーカーによってはバランス基準が異なりますので、必ず下記の適正フロントウエイト重量を搭載してください。

トラクタ型式によっては、オプションウエイト台が必要になります。詳しくはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

SRV T-0L/3L/4L

■株式会社クボタ

トラクタ 型式	MR										
	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H)・ 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H)・ 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV221 HST・KZT	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241 HST・KZT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HST・KZT			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST・KZT						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HST・KZT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV221ET	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241ET			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241AT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261AT			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT						45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HSWT・KZWT	80 kg ※ 1	30 kg ※ 1	30 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261 HSWT・KZWT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV281 HSWT・KZWT						-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4

トラクタ 型式	MR										
	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H)・ 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H)・ 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV301 HSWT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4

※ 1 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示します。(板金製フロントウェイト台:30kg と鋳物製フロントウェイト台:80kg のどちらかと、フロントウェイト:25kg/45kg の選択組合せのこと)

※ 2 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

トラクタ型式	M					
	100GE・110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 HST・KZT	-	-	45 kgx4	-	-	-
SRV241 HST・KZT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261 HST・KZT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST・KZT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HST・KZT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV221ET	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241ET	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241AT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261AT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HSWT・KZWT	-	-	45 kgx4	-	-	-
SRV261 HSWT・KZWT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV281 HSWT・KZWT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	-
SRV301 HSWT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式	YT					
	460A・465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV221 HST・KZT	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx8	50 kgx6	50 kgx6	30 kgx10

トラクタ型式	YT					
	460A・465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV241 HST・KZT		30 kgx8	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV261 HST・KZT		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV281 HST・KZT						
SRV301 HST・KZT						
SRV221ET	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV241ET		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV261ET		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281ET						
SRV241AT		30 kgx8	30 kgx9		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV261AT		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV281AT						
SRV301AT						
SRV241 HSWT・KZWT	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx8	50 kgx6	50 kgx6	30 kgx10
SRV261 HSWT・KZWT		30 kgx8	30 kgx9		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV281 HSWT・KZWT						
SRV301 HSWT						
SRV351 HSWT						

トラクタ型式	YT						
	488R	498R・ 4104R	488RD	498RD・ 4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV221 HST・KZT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV241 HST・KZT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261 HST・KZT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV281 HST・KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV301 HST・KZT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV221ET	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV241ET	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8

トラクタ型式	YT						
	488R	498R・4104R	488RD	498RD・4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV241AT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx6
SRV261AT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV281AT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV301AT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV241 HSWT・KZWT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV261 HSWT・KZWT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV281 HSWT・KZWT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV301 HSWT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV351 HSWT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8

※ 3 フロントウェイト台をオプションのウェイト台（最大 50 kg x 10 枚搭載）に変更のこと。

※ 4 有段変速仕様の場合は、（ ）内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■井関農機株式会社

トラクタ型式	TJV						
	655	755	655C	755C	755L	885・985	885C・985C
SRV221 HST・KZT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV241 HST・KZT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV261 HST・KZT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	45 kgx1
SRV281 HST・KZT						-	45 kgx1
SRV301 HST・KZT						-	45 kgx2
SRV221ET		45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV241ET		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV261ET		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281ET						-	45 kgx1
SRV241AT		45 kgx1		45 kgx3	-	-	-
SRV261AT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV281AT						-	45 kgx1
SRV301AT						-	45 kgx1
SRV241 HSWT・KZWT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV261 HSWT・KZWT		45 kgx1		45 kgx2	-	-	-
SRV281 HSWT・KZWT						-	-
SRV301 HSWT						-	45 kgx1

トラクタ型式	TJV						
	655	755	655C	755C	755L	885・985	885C・985C
SRV351 HSWT						-	45 kgx2

トラクタ型式	TJX						TA-C
	743 (WX)	743C (WX)	873・973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV221 HST・KZT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx1	45 kgx3	(1) ※ 5	50 kgx6
SRV241 HST・KZT	45 kgx2	45 kgx4	-	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261 HST・KZT	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx6
SRV281 HST・KZT			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV301 HST・KZT			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV221ET	45 kgx1	45 kgx3	-			(1) ※ 5	50 kgx6
SRV241ET	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261ET	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281ET			45 kgx2			45 kgx3 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV241AT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261AT	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV281AT			45 kgx1			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx6
SRV301AT			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV241 HSWT・KZWT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx1	45 kgx3	(1) ※ 5	50 kgx6
SRV261 HSWT・KZWT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	50 kgx6
SRV281 HSWT・KZWT			-			45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV301 HSWT			45 kgx1			45 kgx2	50 kgx6
SRV351 HSWT			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8

※ 5 安全フレーム仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■三菱マヒンドラ農機株式会社

トラクタ型式	GV					
	601	651	701	800(H)	900(H)・ 1000(H)	1050H
SRV221 HST・KZT	210 kg ※ 6	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4

トラクタ型式	GV					
	601	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H
SRV241 HST・KZT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HST・KZT			260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST・KZT				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV301 HST・KZT					45 kgx6	45 kgx4
SRV221ET	210 kg ※ 6	180 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241ET			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV241AT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261AT			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT				45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT					45 kgx6	45 kgx4
SRV241 HSWT・KZWT	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HSWT・KZWT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HSWT・KZWT				45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HSWT					45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT					45 kgx6	45 kgx4

トラクタ型式	GVK					GR	GCR
	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H	100F・110F	1130
SRV221 HST・KZT	300 kg ※ 6	300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV241 HST・KZT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261 HST・KZT		390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV281 HST・KZT			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV301 HST・KZT				45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV221ET		300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV241ET		350 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261ET		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8

トラクタ型式	GVK					GR	GCR
	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H	100F・110F	1130
SRV281ET			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241AT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV261AT		350 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV281AT			45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV301AT				45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241 HSWT・KZWT	300 kg ※ 6	300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV261 HSWT・KZWT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV281 HSWT・KZWT			45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV301 HSWT				45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV351 HSWT				45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8

※ 6 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示します。(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェイト 25 kg/45 kg の選択組合せのこと)

※ 7 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRV-2L

■株式会社クボタ

トラクタ 型式	MR										
	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H	800(H)-PC	900(H)・1000(H)-PC	1050H-PC
SRV221 HS・KZ・S	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HS・KZ・S			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS・KZ・S			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HS・KZ・S						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HS・KZ・S							45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4
SRV221EZ	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241EZ			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261EZ			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281EZ						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4

トラクタ 型式	MR										
	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H)・ 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H)・ 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV241A			80 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301A							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV201 CV・SV	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 CV・SV			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201J	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221J	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241J			180 kg ※ 1		260 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HJ・J			180 kg ※ 1		280 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4
SRV281 HJ・J						45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV301HJ							45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6

※ 1 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示します。
(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェイト:25 kg/45 kg の選択組合せのこと)

※ 2 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

トラクタ型式	M					
	100GE・110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 HS・KZ・S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241 HS・KZ・S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS・KZ・S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HS・KZ・S	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HS・KZ・S	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV221EZ	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241EZ	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261EZ	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281EZ	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241A	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301A	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV201 CV・SV	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-

トラクタ型式	M					
	100GE・110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 CV・SV	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201 J	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 J	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 J	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HJ・J	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HJ・J	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HJ	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式	YT					
	460A・465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV221 HS・KZ・S	50 kgx4 ※ 3	30 kgx8	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV241 HS・KZ・S		30 kgx9	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV261 HS・KZ・S		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281 HS・KZ・S						
SRV301 HS・KZ・S						
SRV221EZ	50 kgx6 ※ 3	30 kgx8	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV241EZ		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV261EZ		50 kgx8 ※ 3	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281EZ						
SRV241A		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV261A		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281A						
SRV301A						
SRV201 CV・SV	50 kgx4 ※ 3	30 kgx8	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV221 CV・SV	50 kgx4 ※ 3	30 kgx9	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV201 J	50 kgx6 ※ 3	30 kgx9	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV221 J	50 kgx6 ※ 3	30 kgx10	50 kgx6 ※ 3	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx8 ※ 3

トラクタ型式	YT					
	460A・465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV241 J		50 kgx8 ※ 3	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx10 ※ 3
SRV261 HJ・J		50 kgx8 ※ 3	50 kgx8 ※ 3		50 kgx8	50 kgx10 ※ 3
SRV281 HJ・J						
SRV301 HJ						

トラクタ型式	YT						
	488R	498R・ 4104R	488RD	498RD・ 4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV221 HS・KZ・S	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV241 HS・KZ・S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV261 HS・KZ・S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281 HS・KZ・S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV301 HS・KZ・S		50 kgx6		50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV221EZ	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV241EZ	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV261EZ	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV281EZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV241A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV301A		50 kgx6		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV201 CV・SV	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx4			
SRV221 CV・SV	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6			
SRV201 J	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV221 J	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV241 J	50 kgx6 (4) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV261 HJ・J	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV281 HJ・J	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10
SRV301 HJ		50 kgx6		50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10

※ 3 フロントウェイト台をオプションのウェイト台（最大 50 kg x 10 枚搭載）に変更のこと。

※ 4 有段変速仕様の場合は、（ ）内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■井関農機株式会社

トラクタ型式	TJV						
	655	755	655C	755C	755L	885・985	885C・985C
SRV221 HS・KZ・S	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV241 HS・KZ・S		45 kgx2		45 kgx3	-	-	45 kgx1
SRV261 HS・KZ・S		45 kgx3		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281 HS・KZ・S						-	45 kgx2
SRV301 HS・KZ・S						-	45 kgx2
SRV221EZ	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV241EZ		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV261EZ		45 kgx3		45 kgx4	45 kgx1	-	45 kgx1
SRV281EZ						-	45 kgx2
SRV241A		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV261A		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281A						-	45 kgx1
SRV301A						-	45 kgx2
SRV201 CV・SV	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV221 CV・SV	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV201 J	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV221 J	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV241 J		45 kgx3		45 kgx5	45 kgx1	-	45 kgx2
SRV261 HJ・J		45 kgx4		45 kgx5	45 kgx1	-	45 kgx2
SRV281 HJ・J						45 kgx1	45 kgx3
SRV301 HJ						45 kgx2	45 kgx3

トラクタ型式	TJX						TA-C
	743 (WX)	743C (WX)	873・973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV221 HS・KZ・S	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	50 kgx6
SRV241 HS・KZ・S	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV261 HS・KZ・S	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx6	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281 HS・KZ・S			45 kgx2			45 kgx3	50 kgx8
SRV301 HS・KZ・S			45 kgx3			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV221EZ	45 kgx2	45 kgx4	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6

必要に応じて
フロントウエイト装着表

トラクタ型式	TJX						TA-C
	743 (WX)	743C (WX)	873・973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV241EZ	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV261EZ	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx4 (3) ※ 5	45 kgx6	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281EZ			45 kgx3			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV241A	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261A	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV281A			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV301A			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV201 CV・SV	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	
SRV221 CV・SV	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	
SRV201 J	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV221 J	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV241 J	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx4 (3) ※ 5	45 kgx6	45 kgx3	50 kgx8
SRV261 HJ・J	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx7	45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV281 HJ・J			45 kgx3			45 kgx4 (5) ※ 5	50 kgx10
SRV301 HJ			45 kgx4			45 kgx4 (5) ※ 5	50 kgx10

※ 5 安全フレーム仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■三菱マヒンドラ農機株式会社

トラクタ型式	GV					
	601	651	701	800(H)	900(H)・ 1000(H)	1050H
SRV221 HS・KZ・S	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HS・KZ・S			260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS・KZ・S			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV281 HS・KZ・S				45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV301 HS・KZ・S					45 kgx6	45 kgx4
SRV221EZ	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241EZ			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4

トラクタ型式	GV					
	601	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H
SRV261EZ			280 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV281EZ				45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV241A			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV301A					45 kgx6	45 kgx4
SRV201 CV・SV	230 kg ※ 6	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 CV・SV			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201J	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221J	260 kg ※ 6	260 kg ※ 6	260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241J			300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV261 HJ・J			330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV281 HJ・J				45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6
SRV301HJ					45 kgx8	45 kgx6

トラクタ型式	GVK					GR	GCR
	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H	100F・110F	1130
SRV221 HS・KZ・S	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV241 HS・KZ・S		390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV261 HS・KZ・S		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281 HS・KZ・S			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV301 HS・KZ・S				45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV221EZ	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV241EZ		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV261EZ		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281EZ			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV241A		350 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261A		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV281A			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8

トラクタ型式	GVK					GR	GCR
	651	701	800(H)	900(H)・1000(H)	1050H	100F・110F	1130
SRV301A				45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV201 CV・SV	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	
SRV221 CV・SV		350 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	
SRV201J	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV221J	390 kg ※ 6	390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241J		440 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV261 HJ・J		440 kg ※ 6	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281 HJ・J			45 kgx10	45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx10
SRV301HJ				45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	50 kgx10

※ 6 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示します。(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェイト:25 kg/45 kg の選択組合せのこと)

※ 7 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRZ T-0L/3L/4L

■株式会社クボタ

トラクタ 型式	MR						M				
	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)- PC	1000(H)- PC	1050H- PC	100GE・ 110GE	115GE・ 125GE・ 135GE	110GE- PC	125GE- PC・ 135GE- PC	1060W
SRZ241 HST・KZT	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 HST・KZT	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 HST・KZT		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ241 ET	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 ET	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 ET		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4

※ 1 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式	YT						
	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRZ241 HST・KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRZ261 HST・KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ281 HST・KZT	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ241 ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRZ261 ET	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ281 ET	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10

※2 フロントウエイト台をオプションのウエイト台（最大 50 kg x 14 枚搭載）に変更のこと。

■井関農機株式会社

トラクタ型式	TJV				TJX		TJW		TA-C	
	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153・ 1233	1153C・ 1233C・ 1303C	1130	1380
SRZ241 HST・KZT	-	-	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 HST・KZT	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※3	45 kgx3 (4) ※3	-	-	50 kgx8	-
SRZ281 HST・KZT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	-	50 kgx8	-
SRZ241 ET	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※3	45 kgx3 (4) ※3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 ET	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※3	45 kgx3 (4) ※3	-	-	50 kgx8	-
SRZ281 ET	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4 (5) ※3	45 kgx4 (5) ※3	-	45 kgx1	50 kgx10	-

※3 安全フレーム仕様の場合は、（ ）内のフロントウエイト枚数を装着のこと。

■三菱マヒンドラ農機株式会社

トラクタ型式	GV			GVK			GR		GCR	
	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F・ 110F	115F・ 125F・ 135F	1130	1380
SRZ241 HST・KZT	45 kgx6 (4) ※7	45 kgx6 (4) ※7	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 HST・KZT	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ281 HST・KZT		45 kgx6	45 kgx6		45 kgx10 (8) ※7	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx8	-
SRZ241 ET	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx8	-

トラクタ型式	GV			GVK			GR		GCR	
	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F・110F	115F・125F・135F	1130	1380
SRZ261 ET	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ281 ET		45 kgx6	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-

※ 7 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRZ-2L

■株式会社クボタ

トラクタ型式	MR						M				
	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)-PC	1000(H)-PC	1050H-PC	100GE・110GE	115GE・125GE・135GE	110GE-PC	125GE-PC・135GE-PC	1060W
SRZ241 HS・KZ	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 HS・KZ	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 HS・KZ		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ301 HS・KZ		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx8 (6) ※ 1	45 kgx6	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ351 HS・KZ		45 kgx6	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx6
SRZ241 E	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 E	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 E		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ301 E		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4		45 kgx8 (6) ※ 1	45 kgx6	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ281 J		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ301 J		45 kgx6	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6
SRZ351 J		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	-	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx8

※ 1 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式	YT						
	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRZ241 HS・KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8

トラクタ型式	YT						
	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRZ261 HS・KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10
SRZ281 HS・KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10
SRZ301 HS・KZ		50 kgx8		50 kgx8	50 kgx6	50 kgx10	50 kgx10
SRZ351 HS・KZ		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx8	50 kgx10	
SRZ241 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ261 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10
SRZ281 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx10
SRZ301 E		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10	50 kgx10
SRZ281 J	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx10	50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10	
SRZ301 J		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10	
SRZ351 J		50 kgx10		50 kgx10 ※ 2	50 kgx8	50 kgx12	

※ 2 フロントウェイト台をオプションのウェイト台（最大 50 kg x 14 枚搭載）に変更のこと。

■井関農機株式会社

トラクタ 型式	TJV				TJX		TJW		TA-C	
	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153・ 1233	1153C・ 1233C・ 1303C	1130	1380
SRZ241 HS・KZ	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 HS・KZ	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ281 HS・KZ	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4 (5) ※ 3	45 kgx4 (5) ※ 3	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ301 HS・KZ		45 kgx2		45 kgx4		45 kgx5 (6) ※ 3	-	45 kgx2	50 kgx10	30 kgx1
SRZ351 HS・KZ		45 kgx4		45 kgx6		45 kgx7 (8) ※ 3	-	45 kgx4		30 kgx4
SRZ241 E	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 E	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ281 E	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx5	45 kgx5	-	45 kgx1	50 kgx10	30 kgx1
SRZ301 E		45 kgx2		45 kgx4		45 kgx5 (6) ※ 3	-	45 kgx2	50 kgx10	30 kgx2
SRZ281 J	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx5	45 kgx6 (7) ※ 3	45 kgx6 (7) ※ 3	-	45 kgx3		30 kgx3
SRZ301 J		45 kgx4		45 kgx6		45 kgx7	-	45 kgx3		30 kgx4

トラクタ 型式	TJV				TJX		TJW		TA-C	
	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153・ 1233	1153C・ 1233C・ 1303C	1130	1380
SRZ351 J		45 kgx5		45 kgx7		45 kgx9	45 kgx1	45 kgx5		30 kgx7

※3 安全フレーム仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■三菱マヒンドラ農機株式会社

トラクタ 型式	GV			GVK			GR		GCR	
	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F・ 110F	115F・ 125F・ 135F	1130	1380
SRZ241 HS・KZ	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx10	45 kgx10 (8) ※7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 HS・KZ	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ281 HS・KZ		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ301 HS・KZ		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx1
SRZ351 HS・KZ		45 kgx10	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx4
SRZ241 E	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10 (8) ※7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 E	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ281 E		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx1
SRZ301 E		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx12 (10) ※7	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx2
SRZ281 J		45 kgx10 (8) ※7	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx3
SRZ301 J		45 kgx10	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx4
SRZ351 J		45 kgx12	45 kgx10		45 kgx14 ※8	45 kgx14 ※8	45 kgx8	45 kgx6		30 kgx7

※7 H仕様の場合は、() 内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

※8 ウェイト台オプション（最大 45 kg x 14 枚搭載）により指定枚数を装着のこと。

異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因となります。

再使用せず、直ちに対策を行ってください。

本体各部	症 状	原 因	対 策
ギヤーケース	異音の発生	ベアリングの損傷	ベアリング交換
		ギヤーの損傷	ピニオンギヤーとベベルギヤーをセットで交換
		ギヤー同士のかみ合い不良	シムで調節
	オイル漏れ	入力軸：軸受け部オイルシールの損傷	オイルシール交換
		パッキンの劣化、損傷	パッキン交換
		カバー取付けボルトの緩み	ボルト増締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕深が深く、車速が速いなど負荷が大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
チェンケース	異音の発生	チェンの破損	チェン交換
		テンショナの破損	テンショナ交換
		スプロケットの損傷	スプロケット交換
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	オイル漏れ	フローティングシール、Oリング、パッキンの劣化、損傷	フローティングシール、Oリング、パッキン交換
		カバー取付けボルトの緩み	ボルトの増締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕深が深く、車速が速いなど負荷が大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
フレーム	カバーゴムの破損	耕うん時の石礫などによる損傷	カバーゴム交換
	エプロン作動不良	エプロンヒンジ部のセンターが出ていない	ボルトを緩めて調節
		可動部グリス切れ	グリス塗布
	ハネアゲロックピンの破損	エプロンをはね上げロック状態にしたままでの耕うん作業・路上走行	ハネアゲロックピンの交換
	コンプレッションロッドの曲がり		コンプレッションロッドの交換
	クイックアシストの作動不良	可動部グリス切れ	グリス塗布

本体各部	症 状	原 因	対 策
耕うん軸	異音の発生	軸受け部のベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕うん爪取付けボルトの緩み	ボルト締付け
		耕うん爪の変形によるカバーとの干渉	耕うん爪交換
	振動の発生	耕うん軸の曲がり	耕うん軸交換
		耕うん爪、爪軸へのワラ、草などのかかり	ワラ、草などの除去
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
	軸回転不良	チェンの切損	チェン交換
		駆動軸の折損	駆動軸交換
		ギヤーの破損	ギヤー交換
	オイル漏れ	フローティングシール、軸付きシールの損傷	フローティングシール、軸付きシールの交換
		パッキン、Oリングの劣化、損傷	パッキン、Oリング交換
	残耕の発生	耕うん爪の摩耗、折損	耕うん爪交換
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
	異常な土寄りの発生	耕うん爪の配列不良	爪配列の点検
ジョイント	異音の発生	グリス切れ	グリスアップ
		ジョイント折れ角が不適格	マッチング姿勢の矯正
		作業機の上げすぎ	リフト量の規制
	たわみ発生	シャフトのかみ合い幅不足	長いものと交換
	スプライン部のガタ	ノックピンとヨークの摩耗	交換

廃棄について

廃棄物などの不適切な処理は、法律により処罰されることがあります。保守時に発生した廃棄物の処置は、適切な処理をしてください。

注意事項

この作業機やその保守時に発生する廃棄物の処分は、国、または地方行政の法令の規制対象となるものがあります。

廃棄する際は、国または地方行政の法令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど適切な処理をしてください。

⚠ 注意



必ず実行

この作業機やその保守時に発生した廃棄物を廃棄するときは、国または地方行政の法令に従ってください。

* 間違った廃棄を行うと、作業機からオイルが漏れ、川・海に流れだし汚染することがあります。

ガススプリングの廃棄方法

⚠ 危険



必ず実行

ガススプリングはガスを抜いてから廃棄してください。

窒素ガスが高圧で封入しています。

* 爆発によりケガをする恐れがあります。



必ず実行

ガススプリングのガスを抜くときは以下を守ってください。

- ・ 押しつぶさない
- ・ 火に入れない
- ・ 指定の場所以外に孔を開けない
- ・ 切断しない

* 爆発によりケガをする恐れがあります。



必ず実行

ガススプリングの孔を開ける順番を必ず守ってください

* 爆発によりケガをする恐れがあります。

⚠ 注意



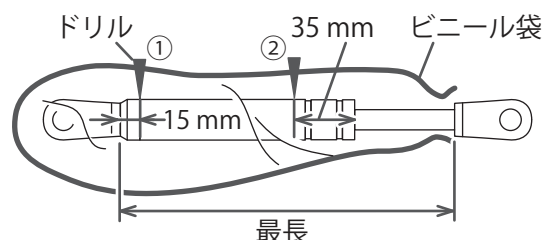
必ず実行

ガススプリングはビニール袋をかぶせてから孔を開けてください。

ビニール袋を使用しない場合は、メガネをかけて作業してください。

* オイルや切粉が飛び、目に入る恐れがあります。

- 1 ビニール袋をかぶせ、その上から 2 ~ 3 mm のドリルで①に孔を開けます。



- 2 ガス・オイルを抜きます。
- 3 ドリルで②の孔を開けます。
- 4 ガススプリングを廃棄します

必要に応じて
廃棄について

用語解説

ここでは用語について解説します。

お知らせ

- ・この取扱説明書に記載していない用語もあります。

アタッチメント

作業機に後付けする部品

オートヒッチ

ワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

クリーブ

超低速の作業速度

耕深

耕うんする深さ

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

ロアリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで、左右1本ずつある

チェックチェン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェン

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロアリンクと連結しているアーム

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

[illegible]

KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

インターネットでも弊社の情報がご覧いただけます。

<http://www.kobashiindustries.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎(0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎(0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎(028) 687-1600
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎(086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎(096) 286-0202